

字類辨正

朱起鳳著



[

MG
H124.1
8

基本知識
之一
朱起鳳著

字
類
辨
正

中國文化服務社



3 1764 3215 5

【部首檢字】

(一畫)

一 部

丅

万

、 部

凡

丿 部

乖

乘

乙 部

乙

之

乙

(二畫)

人 部

仇

仇

全

仇

伏

仗

休

三

四

四

五

六

四

六

六

七

八

部 首 檢 字 一、丿、乙 人

一

伏.....六

伏.....八

伏.....八

体.....九

佳.....〇

倅.....二

倅.....〇

偷.....三

入部

全.....五

儿部

元.....六

几部

几.....七

几.....七

凡.....七

刀部

券.....九

刺.....九

刺.....〇

力部

券.....九

口部

胃.....三

口部

印.....三

印.....三

卸.....三

卸.....三

卸.....三

卸.....三

十部

卑.....三七

丫部

冲.....三

冶.....三

凍.....一五

准.....元

清.....元

凉.....元

又部

段.....一〇

(三疊)

口部

哲.....一〇

晰.....一〇

商.....三

商.....三

啞.....三

囉.....三

嚙.....三

嘖.....三

嗒.....三

口部

回.....三

困.....三

函.....三

囡.....三

囧.....三

囧.....三

囧.....三

已部

已.....三

已.....三

已.....三

匕部

匕.....三

广部

庇.....三

庇.....三

宀部

官.....三

宦.....四

宦.....四

宮.....四

山部

嶽.....三

巾部

市.....四

市.....四

市.....四

帆.....四

帆.....四

帛.....六

帛.....四

尢部

尢.....四

尢.....四

小部

少.....四

大部

夫.....四

本.....三

央.....四

女部

嫖.....三

媪.....一五

土部

壬.....一元

圻.....壹

埤.....兜

堤.....八

埡.....一五

塚.....吾

墟.....五〇

士部

壬.....一元

壺.....五

壹.....五

壹.....五

廴部

廴.....四

延.....五

延.....五

延.....五

廴.....一〇

彳部

很.....五

得.....五

(四畫)

押.....六

抽.....六

伸.....六

格.....七

根.....七

移.....七

挺.....七

挺.....七

摠.....七

摔.....二

搨.....七

摠.....七

提.....七

措.....二七

揄.....一四

標.....八三

摠.....七

樓.....〇

摩.....八二

心部

忼.....八四

忼.....八四

恰.....七二

思.....八四

斤部

斤……………九

慄……………六

慄……………六

惛……………七

愉……………一四

惛……………七

悖……………二

恩……………六

悵……………七

恩……………七

恨……………六

斤部

斤……………九

斥……………九

无部

无……………一六

无……………一六

日部

暇……………九

眇……………九

昧……………九

皙……………三

皙……………三

晰……………三

皖.....九三

碎.....三

睛.....九三

啖.....九三

曉.....三

瞳.....九三

曬.....九三

月部

盼.....九三

朕.....九六

睟.....三

臚.....九三

欠部

次.....九七

欸.....九六

欸.....九六

欸.....九六

欸.....九六

歐.....一〇〇

支部

支.....一〇一

支部

支.....一〇一

支.....一〇一

敕.....一〇三

敕.....一〇三

敕.....一〇三

數.....一〇四

數.....一〇四

毆.....一〇一

彡部

段.....一〇五

段.....一〇六

殿.....一〇一

戈部

戈.....一〇四

戊.....一〇六

戊.....一〇六

戊.....一〇六

粹.....一〇二

粹.....一〇二

煉.....一〇六

煉.....一〇六

癸.....一〇六

癸.....一〇六

類.....一九

類.....一九

汎.....一〇二

汎.....一〇二

汎..... 一〇九

汎..... 一〇九

汎..... 一〇九

汎..... 一〇九

汎..... 一〇九

汎..... 一〇九

汎..... 一〇九

汎..... 一〇九

汎..... 一〇九

汎..... 一〇九

汎..... 一〇九

汎..... 一〇九

汎..... 一〇九

汎..... 一〇九

汎..... 一〇九

汎..... 一〇九

汎..... 一〇九

汎..... 一〇九

汎..... 一〇九

汎..... 一〇九

汎..... 一〇九

汎..... 一〇九

汎..... 一〇九

汎..... 一〇九

湓	涓	潛	凍	涼	清	淮	淪	淬	淬	凍	涎
.....
二四	二七	二七	二六	二六	二六	二九—二六	毛	〇	三	二五	二五
朴	本	木部		澧	澧	灌	滴	滴	潁	潁	榮
.....
二九	二三	二三	二三	二六	二六	二〇	二〇	二九	二九	二六	二九

東.....一三

東.....一三

柚.....六

楸.....六

杖.....一三

析.....六

杳.....一四

栢.....六

栢.....六

栢.....六

栢.....六

栢.....六

神.....六
一三

柚.....七〇

楸.....一三

染.....一三

染.....一三

格.....七

根.....七

移.....七

榮.....一六

穎.....一〇

標.....八

樓.....五

犬部

狎.....二七

狼.....二七

狼.....二七

止部

少.....四

(五畫)

疒部

疒.....四

疒.....二六

疒.....二六

疒.....四

玉部

王.....二九

玦.....二九

玦.....二九

琢.....二九

瑕.....二九

瑕.....二九

琢.....二九

白部

皀.....二九

皀.....二九

皀.....二九

石部

碎.....二

示部

祓.....二三

祓.....二三

祓.....二三

神.....二三

祐.....二三

祐.....二三

祐.....二三

祇.....二三

禰.....二三

禰.....二三

禰.....二三

禰.....二三

禰.....二三

禾部

秭.....二三

秭.....二三

秭.....二三

穎.....二三

穎.....二三

穎.....二三

界.....二三

目部

盱.....二三

暫	睽	昧	昧	眨	眈	販	眈	睇	盼	盱	盱
.....
三	七	九	九	一四	九〇	九〇	一三六	九六一四〇	九五一三九	一三七	一三七

肉部

(六畫)

盼	睽	瞳	曉	聽	贖	睽	睛	睽	睽	睽
.....
一四〇		九四	三四	一四一	一四二	九三	九三	一七六	九二	九二

聆.....一四〇

胃.....一四一

胃.....一四二

脛.....一四三

脛.....一四四

脛.....一四五

脛.....一四六

脛.....一四七

脛.....一四八

脛.....一四九

聵.....一五〇

聵.....一五一

聵.....一五二

羊部.....一五三

羊.....一五四

竹部.....一五五

第.....一五六

第.....一五七

筍.....一五八

筍.....一五九

筍.....一六〇

筍.....一六一

艸部.....一六二

艸.....一六三

艸.....一六四

艸.....一六五

荃	茶	筒	若	苦	荷	茶	芎	芄	芋	辛	辛
.....
一五四	一五三	一五一	一五〇	一四九	一五一	一五三	一四九	一四七	一四六	一四六	一四六

細	紬	糸部	禪	裸	襦	袷	袷	袷	茶	蕙	蕙
.....
一五二	一五二		一五一	一四四	一四三	一四二	一四一	一四〇	一三九	一三五	一三四

紳.....一五九

綱.....一五五

紉.....一五五

納.....一五五

綢.....一五五

網.....一五六

網.....一五六

縛.....一五七

縛.....一五七

總.....一五七

聿部

肄.....一五六

肆.....一五九

(七畫)

辵部

迳.....一五九

迳.....一五九

迳.....一六〇

迳.....一六〇

迳.....一六一

逢.....一六一

速.....一六一

逢.....一六二

速.....一六二

邊……………一六

邊……………一六

邊……………一六

邊……………一六

貝部

貶……………一四

言部

訐……………一六

訐……………一六

訐……………一六

訐……………一六

訐……………一六

詠……………一六

詠……………一七

詠……………一七

詠……………一七

詠……………一六

詠……………一六

詠……………一六

詠……………一六

詠……………一七

詠……………一六

詠……………一六

譽	一六	邛	二二
諡	一七	郤	二三
語	一七	郤	二三
設	一〇	郎	二五
諭	一七	郤	二三
調	一七	郤	二三
調	一七	郤	二四
調	一七	郤	二四
西部		郤	二四
醒	一四	隸部	
醒	一四	隸	一七
邑部		隸	一七

(八畫)

隸.....一七四

阜部

隄.....一八一

隹部

隹.....一八〇

睢.....一七九

(九畫)

頁部

須.....一七七

食部

餘.....一七六

餘.....一七五

(十畫)

髟部

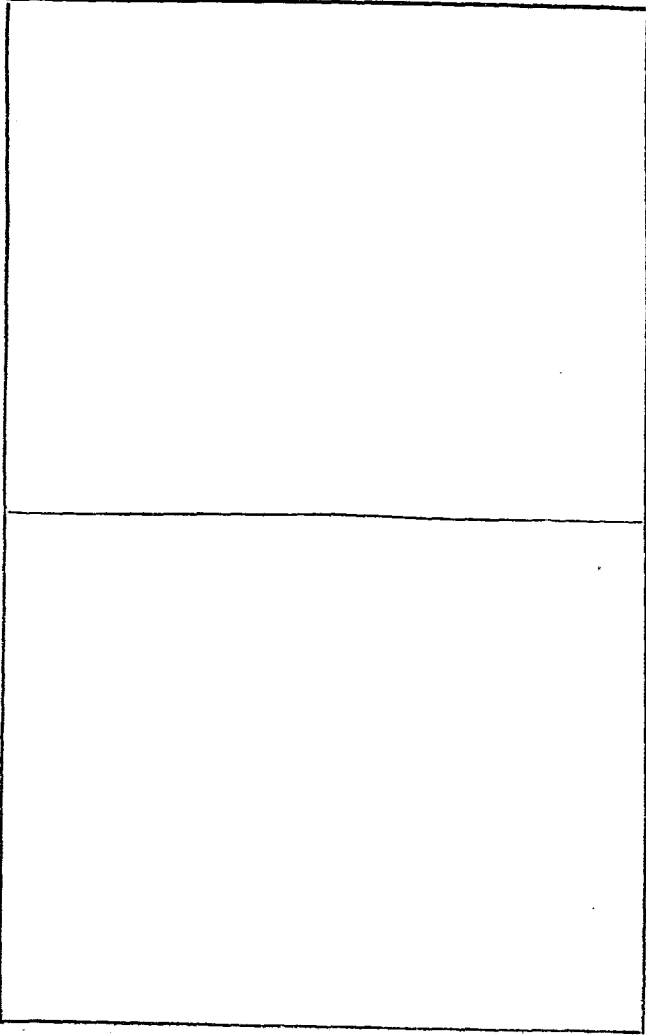
髟.....一七九

髟.....一七八

(十一畫)

麻部

麻.....一八二



【筆畫檢字】

(一畫)

乙.....三

之.....四

乙.....四

(二畫)

几.....一七

几.....一七

(三畫)

凡.....一六

凡.....一七

已.....三七

已.....三六

已.....三六

弋.....三六

尢.....四七

少.....四六

(四畫)

丐.....一

丐.....一

仇.....五

机.....六

元.....一六

筆 畫 檢 字 一 畫 二 畫 三 畫 四 畫

无	无	斤	斤	壬	壬	夫	少	尤	市	市	印
.....
二六	二六	允	允	三元	二元	四	四	四七	四	四	二
市	全	伙	伙	机	全	(五畫)	王	戈	女	支	支
.....
四四	五	七	六	六	四		二元	四	四	四	四

休	本	汎	汎	成	戊	斥	央	扑	本	帆
.....
八	三	一七	一七	一六	一六	九	九	九	三	豐

(六畫)

成	次	抽	扞	挖	延	帆	回	冲	伙	伙	伙
.....
一七	九	六	九	六	五	豐	三	三	八	八	六

戌.....一〇七

汎.....一〇九

汎.....一〇九

汎.....一〇九

束.....一三三

朴.....一五九

朮.....一四七

朮.....一四七

邛.....一三三

(七畫)

休.....九

卻.....三

冶.....二六

困.....三六

困.....三七

園.....三六

園.....三六

圃.....三六

庇.....四〇

延.....三三

延.....三三

延.....三三

扶.....三六

抉.....三六

忤	抆	技	技	扱	扱	折	搵	抚	抗	枕	抗
.....
忤	弄	查	查	矣	查	六	弄	弄	弄	弄	否

束	冲	沈	沈	沅	沅	次	汨	汨	沐	決	抗
.....
三三	六	一〇	一〇	一〇	一〇	九	二三	二三	一一	一〇	六四

地.....六一

杖.....二三

辛.....一四

辛.....一四

辛.....一四

辛.....一四

辛.....一四

芎.....一四

芎.....一四

(八畫)

乖.....一

佳.....九

券.....一九

刺.....一九

券.....一九

卑.....一七

却.....一三

園.....一七

官.....一四

帛.....一四

拆.....一三

挖.....一六

押.....一七

拓.....一七

刺	刺	一〇
(九畫)		
佳	佳	一〇
郤	郤	一三
郤	郤	一三
迳	迳	一四
迳	迳	一四
脛	脛	一四
脛	脛	一四
盼	盼	一六
盼	盼	一六
肝	肝	一六
肝	肝	一六
肝	肝	一七
胃	胃	一四
卽	卽	一五
卻	卻	一五
卻	卻	一五
緬	緬	一四
段	段	一〇
庇	庇	一四
宦	宦	一四
宦	宦	一四
帛	帛	一四
廻	廻	一〇
很	很	一五
搭	搭	一五

根	七
移	七三
思	六四
恨	六六
昧	九一
段	一〇五
段	一〇六
泊	一二四
柺	六九—一三七
拆	六二
柘	七一
招	七六

枸	七三
神	六九—一三五
柚	七〇
楫	一三三
柴	一三六
染	一三六
狼	一三五
疵	一四一
疽	一三六
疽	一三六
飯	九〇
祇	一三三

祇.....一三三

祇.....一三三

助.....九〇

盼.....九五—一三九

盼.....九六—一四〇

眈.....一三六

販.....九〇

胃.....一四三

胃.....一四三

茶.....一三三

荷.....一五一

苦.....一四九

若.....一五〇

苟.....一五一

迴.....一六〇

郎.....一五五

郟.....一三三

郟.....一三三

(十畫)

乘.....二

倅.....二

倅.....一〇

凍.....一五五

淮.....二九

涎	救	朕	懷	恩	挺	挺	宮	晰	哲	涼	清
.....
二五	一〇三	六	七	五	六	六	四	三〇	三〇	六	六

眨	稭	祇	祐	祐	祐	神	狼	移	根	格	涎
.....
一四	一三	一三	一四	一三	一三	一五	五	七	六	五	一五

郤	許	許	速	逢	迴	迴	荃	茶	耽	昧	昧
.....
二四	一五	一五	一六一	一六二	一六一	一六〇	一五四	一五三	一五九	一九一	一九一
悻	粹	摠	得	壺	埤	埤	商	商	偷	(十一畫)	郤
.....
二二	一一	七九	五八	五二	四九	三三	三三	三三	三三		二四

得	得	淬	淬	凍	救	款	皖	晰	暫	恩	惛
.....
毛	毛	一〇	一三	一二五	一〇三	九	二	三〇	三〇	六	毛

茶	蕊	蕊	筍	第	腥	朕	移	疵	涼	清	淮
.....
一五	一五	一五	一三	一四	一四	七	七	四	二六	二六	二九一六

詵	訢	訖	遠	逢	紉	綱	紳	細	紉	祗	祗
.....
一壹	一六	一六	一六	一六	一壹	一壹	一壹	一壹	一壹	一三	一壹

啐	愉	愉	揅	提	摠	壹	壹	愉	堤	媮	(十一畫)
.....
一三	一四	一四	一七	一六	一六	一三	一三	一五	一八	一五	

眈	皖	琢	湏	渝	清	清	漉	焯	款	皙	晴
.....
九二	九二	一〇	一六	一四	一七	一七	一六	一一	九	三	五

詠	訖	訴	貶	達	盪	網	納	筌	第	醉	皙
.....
一七	一七	一六	一四	一六	一四	一五	一五	一四	一五	二	三

誅.....一七

誼.....一六

隄.....一八

須.....一七

髡.....一九

(十三畫)

嗒.....三

塚.....三

愒.....七

慄.....六

睽.....九

煉.....一六

浴.....七

瑕.....一〇

瑕.....三一

皙.....三

碎.....二

裊.....三五

裸.....一四

稠.....三五

睢.....一六

睛.....九

睽.....九

脛.....一四

嶽	唯	唯	鬘	睢	達	邊	肆	肆	筵	筵
.....
三	三	三	一九	一七	一六	一四	一五	一五	一四	一四

(十四畫)

滴	滴	榮	榮	榮	敵	敵	歎	摟	標	摠	塿
.....
二〇	二〇	二六	二六	二六	一四	一三	一〇	一〇	一三	一六	一〇

灌.....二六

瑑.....三〇

禔.....八一

睽.....九三

裯.....一三五

裸.....一三四

網.....一五九

網.....一五九

醒.....一四三

(十五畫)

曉.....一四四

嗒.....一三三

摩.....六三

慄.....六六

數.....一〇四

數.....一〇五

歐.....一〇〇

歐.....一〇一

毆.....一〇一

頰.....一九

頰.....一九

頰.....二〇

標.....五

樓.....一五

穎	澧	腫	瞳	曉	慶	餘	肄	詔	謂	碁
.....
三〇	三三	三六	三六	三四	三二	一六	一七	一六	一六	一六

(十六畫)

曠	腫	曉	禪	饒	醒	諛	諱	諡	縛	曉
.....
一四	九四	三四	三六	一七	一四	一七	一六	一七	一七	三四

(十七畫)

聽……………一五

縛……………一七

眷……………一六

暑……………一六

諡……………一七

誦……………一七

諛……………一七

隸……………一七

隸……………一七

(十八畫)

贖……………一三

禪……………一六

總……………一五

謫……………一七

謫……………一七

(二十一畫)

澧……………一三

(二十二畫)

聽……………一四

(二十三畫)

躑……………一五

調……………一七

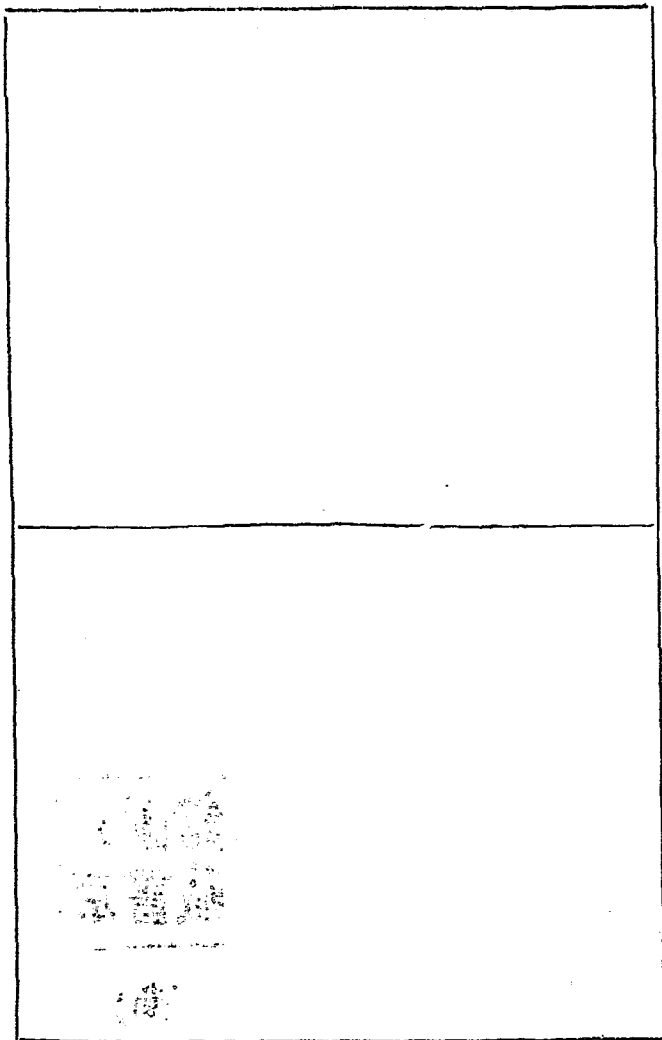
(二十四畫)

曬……………一五

調..... 三

年 畫 檢 字 二 十 四 畫

三



丐一丐

丐

居太切音蓋乞也見「集韻」
「晉書賈充傳」
「遠乎貽厥乃乞」
之徒
「文選陳琳傳」

袁紹檄豫州文「父嵩乞搆養」
又取也與也見「集韻」
又「集韻」居葛切音葛

義同（按亦作句漢書西域傳餒山谷之間乞句無所得）
又與漑通「新唐書杜甫傳贊」

「他人不足甫乃厭餘殘膏剩馥沾句後人多矣」
「劉豉至友傳」
「以是沾句所及人忘其

少」

丐

美辨切音晒不見也見「說文」
徐曰「左右壅蔽而不分也」
（按沔水顧晒字準此）

乖一乘

乖

公懷切音怪平聲戾也異也睽也背也見「玉篇」
「乖」部
「本作乖」
「漢書天文志」
「三能色

益君臣和不益為○戾」
「史記封禪書」
「秦始皇聞此議各○異難施用由是絀儒生」
「漢

書敍傳「官失學微。六家分○。」「易序卦傳」家道窮必○。故受之以睽。睽者○也。左傳昭三十年「伍員曰。楚執政衆而○。」漢書劉向傳「朝臣舛午。膠戾○刺。」吳越春秋闔閭內傳「窮劫曲云。王邪王邪何○烈。不顧宗廟聽讒孽。」

乘

食陵切。音繩。駕也。見「廣韻」。「易乾卦」時○六龍以御天。「南史宗懋傳」願○長風破萬里浪。又因也。「孟子公孫丑」雖有智慧。不如○勢。又治也。「詩豳風七月」亟其○屋。又勝也。「國語周語」○人不義。陵也。又計也。「周禮夏官蓐人」○其事。試其弓弩。以下上其食而誅賞。又石證切。音剩。車也。謂一車四馬也。「詩小雅采芑」元戎十○。以先啓行。又國君所乘之車曰○輿。「孟子梁惠王」今○輿已駕矣。又○駟。良馬名。「楚辭九歎憂苦」同驚羸與○駟兮。王注「駿馬也。」漢書王褒傳「駕騶駼。騶○且。王良執靶。韓哀附輿。」注「張晏曰。駕則且至。故曰○且。」按駟省爲且。因訛作且。張氏且讀如字。非是。又載也。取載事爲名。「孟子告子」晉之○。後世宗譜稱家○本此。又鳥雙曰○。列女傳仁智「唯鳩之鳥。猶未嘗見○居而匹處也。」文

選張華鶴鶴賦序「繁滋族類。○居匹游。」又訛作乖居。「淮南子秦族。」關雎興於鳥。而君子美之。爲其雌雄之不乖居也。補注。「王念孫曰。當作○居。」又丘名。「爾雅釋丘」。「如○者○丘。」郭注。「形如車○也。」按釋名。作藥丘。又縣名。春秋魯地。「禮檀弓」。「魯莊公及宋人戰於○丘。」按史記趙世家。訛作桑丘。又禪有淺深階級曰○。「傳燈錄」。「一小○。一大○。頓悟自心無漏智。此心卽佛。曰最上○。」又諸應切。音澄。姓也。見「集韻」。

乙—乙—乙

乙 益悉切。音駟。十幹名。東方木行也。見「正韻」。「爾雅釋天」。「太歲在○曰旂蒙。」「淮南子天文」。「卯在○曰旂蒙。」高注。「萬物遠蒙甲而出。」又讀書以筆誌其止處曰○。「史記東方朔傳」。「朔初上書。人主從上方讀之。止輒○其處。讀三月乃盡。」又塗○。「唐試士式」。「抹去譌字曰塗。字有遺脫。句其旁而增之。曰○。」「歐陽修詩譜補亡序」。「增損圖乙。」

（按卽塗○）又天○湯也。「荀子成相」：「十有四世，乃有天○是成湯。」又「爾雅釋魚」：「魚腸謂之○。」「禮內則」：「魚去○。」注：「魚餽必自腸始，形屈如○字。」又虎骨也。「茅亭客話」：「虎有威如○字，長三寸許，在脅兩旁皮下，取得佩之，臨官而能威衆，無官佩之，無憎疾者。」「蘇軾詩」：「得如虎挾○。」又神名。「史記孝武紀」：「天神貴在太○。」之，益悉切。音乙。玄鳥也。齊魯謂之○。見「說文」。「張融答周顛書」：「道佛兩殊，非鳥則○。」又乙黠切。音軋。「文選陸機文賦」：「理翳翳而愈伏，思○○其若抽。」李注：「○○難出之貌。」（按本作軋軋，羅肇觀雙柘枝賦，抽軋軋於蕙心。）

乙 於謹切。音隱。「玉篇下○部」：「○，匿也。於近切。」今作隱。

全—全

全 徒紅切。道書同字。見「正字通」。「盧○與馬異結交詩」：「○不○，異不異，是謂大○而小異。○自○，異自異，是謂○不往兮，異不至。」

〇

仇 諸兩切音掌。廣韻三十六養。〇。姓。梁公子。〇。晉後也。集韻同。又孟子母〇

氏。

仇 符威切音凡。揚子方言。〇。輕也。楚人相輕薄。謂之相〇。又集韻。〇。扶泛切音

梵。

伏—伏—仗

伏 徒蓋切音大。見廣韻。郭忠恕佩觿集。〇。海中地名。

伏 房六切音服。偃也。見廣韻。禮曲禮。寢母〇。又匿藏也。書大禹謨。嘉言

罔攸〇。左傳昭二十九年。若混棄之物乃坻〇。史記樂書。羽者嫗〇。漢

書董仲舒傳。賢知隱〇。呂氏春秋古樂。昔陶唐氏之始。陰多滯〇而沈積。又

屈伏也。左傳隱十一年。許既〇其罪矣。後漢書郎顛傳。消〇災眚。又三〇。

「史記秦記」：「秦德公二年，初。」注：「六月三〇之節，始自秦德公，周時無。」（按夏至後三庚爲初〇，第四庚爲中〇，立秋後初庚爲末〇。）又扶富切，讀若浮去聲，禽覆卵也。「漢書五行志」：「丞相府史家雄雞〇子。」「莊子庚桑楚」：「越雞不能〇鵠卵。」「揚子方言」：「雞〇卵而未孚，始化之時，謂之涅。」又鼻墨切，與匍通。「左傳昭十三年」：「懷錦奉壺飲冰，以蒲〇焉。」「越絕書請糴內傳」：「今越王籒〇約辭，服爲臣下，其執禮過，吾君不知省也。」「戰國秦策」：「媵地行匍〇，四拜自跪而謝。」

仗

直養切。音丈。又直亮切，讀若長去聲。劍戟總名。唐制，殿下兵衛曰〇。又玄〇道也。「淮南子原道」：「履危行險，無忘玄〇。」又憑倚也。「三國志魏書夏侯尚傳」：「執機柄者，有所委〇於上。」又「王肅傳」：「各展才力，莫相倚〇。」「魏書崔浩傳」：「少加倚〇，便足立功。」「文中子問易」：「王澤竭而諸侯〇義矣。」

伏—飲

伏

於紹切。音夭。「廣韻三十小○字注」。「○僑不伸」。「集韻」同。

伏

七四切。音刺。與飲同。「荀子勸學楊注」。「呂氏春秋。荆有○非。得寶劍於干越。」（按呂氏

春秋知分。作次非。淮南子道應汜論。並作飲非。漢書宣帝記如淳注。引呂氏作茲非。後漢書蔡邕傳。作飲飛。又馬融傳作茲飛。）

休—体

休

虛尤切。讀若朽平聲。美善也。慶也。見「集韻」。「書說命」。「實萬世無疆之○」。「詩商頌

殷武」。「何天之○」。又有也。「書呂刑」。「雖○勿○」。又○。儉也。「詩唐風蟋蟀」

「良士○○」。又息也。「禮月令」。「霜始降。則百工○」。按休假曰○沐。致仕曰○。並即

休息之意。又木名。「爾雅釋木」。「○。無實李」。又同喙。「左傳昭三年」。「民人痛疾。

而或瘼○之。」注。「瘼○。痛念聲」。又同煦。「禮玉藻」。「盛氣顛實揚○」。按揚○亦作揚詡。禮禮器。德發揚詡萬物。

齋箴「揚○勿矜」。按揚○亦作揚詡。禮禮器。德發揚詡萬物。）

体 蒲本切。讀若盆上聲。劣也。見「集韻」。又輶車之夫曰○夫。「通雅」。「唐懿宗咸通十二年。葬同昌公主。賜酒餅餠四十囊。駝以飢○夫。」注。「○夫。舉樞之夫。」（俗寫身體之體。省作○非是。）

佳——佳

佳 古賤切。音街。美也。好也。見「集韻」。漢書揚雄傳。「閨中容競。綽約兮。相態以麗○。」顏注。「言競爲○麗之態。以相傾也。」又「外戚孝武李夫人傳」。「延年侍上。起舞。歌曰。北方有○人。絕世而獨立。」又男子有美行者。亦稱○人。「三國志魏書曹爽傳裴注」。「魏氏春秋曰。爽旣罷兵。曰。我不失作富家翁。桓範哭曰。曹子丹○人。生汝兄弟。犢耳。」「晉書陶侃傳」。「王貢復挑戰。侃遙謂之曰。杜耽爲益州吏。盜用庫錢。父死不奔喪。卿本○人。何爲隨之也。天下甯有白頭賊乎。」又婦稱其夫曰○人。「唐武后蘇氏織錦迴文記」。「蘇氏織錦迴文。題詩二千餘首。計八百餘言。名曰璇璣圖。然讀者不能盡通。蘇氏笑而謂人曰。徘徊宛轉。自成文章。非我○

人莫之能解。」

隹

職追切。音錐。鳥之短尾總名也。象形。見「說文」。又鳥名。「爾雅釋鳥」：「○其鳩鴉。」邢疏。

「離一名鳩鴉。」詩曰：「翩翾者離。」毛傳：「離，夫不也。」又祖誄切。與離同。「莊子齊物論」：「山林之畏○。」劉注：「山林之隈僻角尖處。風所不到也。」

倅 — 淬 — 粹 — 粹 — 粹 — 粹 — 粹

倅

取內切。音淬。副也。見「說文」。又副車曰倅。「周禮夏官戎僕」：「掌王○車之政。」又「國

子存游○。使之修德樂道。」漢書趙充國傳：「○馬什之。」又郡○。官名。亦稱半刺。謂半刺史之職也。又藏沒切。音卒。「百人爲○。」見「集韻」。(按周禮作卒。)

淬

音同上。○劍燒而入水也。見「說文徐注」。又染也。「史記司馬相如傳」：「將割輪○。」

又寒也。見「揚子方言」。又卽聿切。音卒。「○沒水貌。」見「集韻」。又昨律切。音萃。流也。

焯

音同上。火入水也。見「玉篇」。「史記天官書」。「火與水合為○。」注。「火入水為○。」又

「刺客荆軻傳」。「得趙人徐夫人匕首。使工以藥○之。」索隱。「謂以毒藥染劍鏑也。」又

灼也。「荀子解蔽」。「有子臥而○掌。可謂能自忍矣。」（按新論。訛作碎。）又與淬通。「漢

書王褒傳」。「清水○其鋒。」顏注。「謂燒而內水中以堅之也。」（按文選聖主得賢臣頌。作

淬。）

捽

昨沒切。音存入聲。持頭髮也。見「說文」。又手持也。「漢書金匹磾傳」。「○胡投何羅殿

下。」注。「胡頸也。○其頸而投殿下也。」「淮南子汜論」。「溺則○其髮而拯。」又拔取也。

「漢書貢禹傳」。「農夫父子○山把土。手足胼胝。」又觸也。交對也。「國語晉語」。「戎夏

交○。」「莊子列禦寇」。「齊人之井飲者相○也。」「韓愈詩」。「雷電助撞○。」又昨律

切。音宰。亦持也。又蒼沒切。音猝。「○擦。行草聲。」見「集韻」。又蘇骨切。音宰。與「禮曲禮」

「卹勿之卹」同。摩也。

碎

蘇對切。音碎。礮也。見「說文」。又破也。「史記藺相如傳」。「相如因持璧卻立倚柱。曰。大

王必欲急臣。臣頭今與璧俱○於柱矣。」又瑣屑也。「漢書循吏黃霸傳」。「米鹽靡密。初若煩○。然霸精力能推行之。」「中說事君」。「謝莊王融。古之織人也。其文○。」

醉 子對切。音粹。周年也。見「說文」。又子生一歲曰○。「東京夢華錄」。「生子百日置會。謂之百○。至來歲生日。謂之周○。」「合璧事類」。「周歲陳設曰○盤。」

臍 此芮切。音羈。與臍同。小粟易斷也。見「說文」。又雖遂切。音遂。顏面澤也。一曰腦也。

倅——倅——倅——倅

倅 胡耿切。音幸。微○也。見「集韻」。「漢書陳湯傳」。「爭欲乘危微○。生事於蠻夷。」「莊子

在宥」。「此以人之國僥○。幾何僥○而不喪人之國乎。」又倅○。謂以口給而弋取富貴也。

亦作倅。史記有倅幸傳。

倅 音同上。○。很怒也。「孟子公孫丑」。「○○然見於其面。去則窮日之力而後宿哉。」

倅 音同上。本作倅。很也。見「說文」。「後漢書黨錮傳」。「○直之風。於斯行矣。」「楚辭離騷」

「鮫○直以亡身兮。」又「九章惜誦」。「行○直而不豫兮。鮫功用而不就。」王注。「言鮫行

○很勁直。恣心自用。不知厭足。」（按說文引楚詞作嫫。）

滓

胡頂切。音滓。溲○大水貌。見「廣韻」。「淮南子本經」。「四海溲○。」高注。「無畔岸也。」

又自然氣也。「莊子在宥」。「大同乎溲○。」物故自生。又「論衡談天」。「溲○濛濛。氣未分之額也。」

偷 渝 愉 掄 媮 媮

偷

他侯切。透平聲。苟且也。見「說文」。「左傳昭十三年」。「貳○之不暇。」「禮表記」。「安

肆日○。」「文選張衡西京賦」。「敬慎威儀。示民不○。」又薄也。「左傳襄三十一年」。「趙

孟之語○。」又盜也。「管子形勢解」。「○得利而後有害。○得樂而後有憂。聖人不為也。」

通作愉。「周禮地官司徒」。「以俗教民。則民不愉。」鄭注。「愉音愉。謂朝不謀夕也。」賈疏。

「○苟且也。」

渝

容朱切音俞。「爾雅釋言」○變也。「郭注」謂變易。「詩鄭風羔裘」○舍命不○。

又水名。「說文水部」○水在遼西臨渝。東出塞。「水經注」○宕渠郡蓋古賈國。今賈

城縣有○水。又州名。「廣韻十虞」○本巴國。漢為巴郡之江州縣。梁於巴郡置楚州。隋

改為○州。

愉

羊朱切音腴。悅也。見「玉篇心部」。「論語鄉黨」○私覿。○○如也。注「○○和悅之貌。」

又樂也。見「爾雅釋詁」。「詩唐風山樞」○他人是○。「文選張衡西京賦」○我有嘉賓。

其樂○○。又羊朱切。同飲。吳○吳歌也。「文選左思吳都賦」○吳○越吟。注「○與飲

同。」（按庚信哀江南賦作吳飲。）又勇主切。同窳。「爾雅釋詁」○勞也。注「今或作

窳。」疏「○懶也。勞苦者多懶○也。」

揄

容朱切音俞。引也。見「說文」。「史記貨殖傳」○長袂。「漢書禮樂志郊祀歌」○神之

○臨壇宇。又○揚。稱譽也。「文選班固西都賦序」○雍容○揚。著於後嗣。注「○引揚

舉也。」又擲○舉。手相戲弄也。「晉陽秋」○羅友曰。路逢一鬼。大見擲○。亦作邪○。後

漢書王霸傳「市人皆大笑舉手邪○之。」又夷周切音由本作抗「詩大雅生民」或春或○。「按擣米於臼曰春。自臼取出曰○。周禮地官舂人鄭注引詩作春抗。」又餘招切同禴。○狄后衣也。「禮玉藻」「夫人○狄。」疏「○讀如搖狄讀如翟。」「周禮天官內司服」「掌王后之六服其二曰○狄。」鄭注「狄當爲翟。雉名。江淮而南青質五色皆備成章曰搖。」又如招切同襜。袂襜劍衣也。亦作扶○。「文選左思吳都賦」「扶○屬襜。」注「劉涓林曰秦零陵令上書云荆軻挾匕首卒刺陛下陛下以神武扶○長劍以自救。」又徒侯切音投亦引也。「文選班固西都賦」「○文竿出比目。」又他侯切音偷垂也。「莊子漁父」「被髮○袂。」

媮

容朱切音俞薄也。一曰靡也。見「說文」。「左傳襄三十年」「晉未可○也。」「楚辭卜居」

「將從俗富貴以○生平。」又通偷。「文選張衡西京賦」「鑿戒唐人他人是○。」又通偷。「國語晉語」「○居幸生。」「漢書文帝紀」「○合苟從。」

媮

羊朱切音腴家也。「揚子方言」「秦晉之間家謂之媮。」

元—无—无

元 愚袁切。音原。始也。見「爾雅釋詁」。「易乾卦」。「○者。善之長也。」又首也。「書益稷」

「○首明哉。」又混。○天地之總名。「後漢書班固傳」。「外運混。○。」又「張衡傳」。「渾

○初基。」又黎。○百姓也。亦稱黎首。又號。○。「漢書郊祀志」。「大路所歷。黎。○不知。」「史

記秦始皇紀」。「○○之民。」「漢書武帝紀」。「燭幽隱。勸○○。」「公羊傳隱元年」。「○

年者何。君之始年也。」「漢書哀帝紀」。「改○易號。」又正月一日也。「書舜典」。「月正

○日。」又通原。水原也。「後漢書班固傳」。「○○本本。殫見洽聞。」

无 古文無。「易乾卦」。「○咎。」釋文。「○音無。易內皆作此字。」「藝苑雌黃」。「○亦作

亡。古皆用亡。○秦時始以蕃無之無。為有無之無。」又莫胡切。音模。南。○出釋典。見「廣韻」

无 居氣切。音寄。飲食氣逆不得息也。亦作无。今隸變作○。見「說文」

几—几

几 居里切。讀若寄上聲。踞几也。徐曰：人所凭坐也。見《說文》。徐注：「《書》：顧命。」「《憑玉》。」「《詩》：大雅行葦。」「或授之。」又案也。亦作机。《左傳》：昭五年。《設机而不倚。》又〇〇。安重貌。《詩》：豳風狼跋。《赤鳥〇〇。》

几 市朱切。音爰。鳥之短羽。〇〇然。見《說文》。又《六書精蘊》：「〇。擊兵也。象建于兵車而不用。故其首有垂旂形。執之前驅赴敵。則加又爲爰。」《韻會》：「有鉤挑者。爲几案之几。不鉤挑者爲〇。鳥短羽也。」（按〇即爰字之省。與爰通。）

凡

凡 符咸切。音帆。最括也。見《說文》。又大概也。《漢書揚雄傳》：「《諸略》舉〇。而客自覽其切焉。」顏注：「〇。大指也。」《文選杜預春秋左氏傳序》：「傳之義例。總歸諸〇。」又計數也。《漢書石奮傳》：「〇。號奮爲萬石君。」顏注：「〇。最計也。」又最〇。諸〇之最目也。《漢書西域傳》：「最〇國五十。」《申鑒時事》：「最〇有二十一首。」又〇庸。尋常之人也。《三

國志蜀書彭萊傳「僕於故州不免庸。」
 「崔駰達旨」隨時之宜道貴從○注「○常也。」
 又段借作妄漢書李廣傳「諸妄校尉以下材能不及中以軍功侯者數十人」
 注「張晏曰妄猶○也。」
 「史記齊悼惠王世家」人謂魏勃勇妄庸人耳何能為乎
 「宋威進孔叢子表」退省妄庸實深震悸
 「按並即○庸」

凡

胡官切音完彈○也凡物員轉者皆曰○見「正韻」
 「莊子徐無鬼」市南宜僚弄○而兩家之難解
 「漢書酷吏尹賞傳」長安少年羣輩相與為探○得赤○者斫武吏黑○者斫文吏白○者主治喪
 「淮南子要略」若轉○掌中足以自樂也
 又麪餅名牢○「東晉餅賦」四時從用無所不宜惟牢○乎
 又通作坵「列子黃帝」五六月爨坵而不墜則失者鎔銖
 「按莊子達生作累○」又通作柎烏桓東胡別名
 「後漢書明帝紀」烏桓滅緡咸來助祭
 又與坵通「淮南子倣真」揣○變化
 「按倣真下文轉坵剛柔揣○即轉坵」
 又與坵通讀○箭囊也本作續斂
 「後漢書南匈奴傳」弓鞬讀○
 「按廣雅釋器玉篇下皮部並作續斂」

券——券

券

區願切。音勸。契也。從刀尖聲。以木牘為要約之書。以刀割之。屈曲犬牙。見「說文」。釋名釋

書契。「○。卷也。相約束。纏繞以為限也。」史記田完世家。「公常執左○以責秦韓。」

又「平原君傳」。「事成。執右○以責。」後漢書祭遵傳。「丹書鐵○。藏於無窮。」

券

渠卷切。讀若權去聲。勞也。見「說文」。「正字通」。「○與契券之券異。券從刀。此從力。」

(按今俗相承作倦)

刺——刺

刺

七四切。讀如此去聲。直傷也。見「說文」。「公羊傳僖二十四年」。「○之者何。殺之也。」

又剗除之曰○。「儀禮士相見禮」。「庶人則曰○草之臣。」又采取之也。「漢書郊祀志」

「○六經中作王制。」又譏諷也。「漢書劉向傳」。「譏○王氏。」後漢書蔡邕傳。「譏

○公卿。」（按亦作譏切。）「漢書翟方進傳」：「陽朔中，京兆尹王章譏切大臣。」又「梅福傳」：「福孤遠，又譏切王氏，故終不見納。」又書姓名於奏白曰：「後漢書文苑譚衡傳」：「陰懷一。」既而無所之，至○字漫識。」又訊決也。「周禮秋官司○」：「掌三○。」一訊羣吏，二訊羣臣，三訊萬民。」又針滯也。「史記貨殖傳」：「○繡文，不如倚市門。」又偵伺也。「漢書燕刺王旦傳」：「陰○候朝廷事。」又撐也。「史記陳丞相世家」：「平乃○船而去。」又○。多言貌。「管子心術」：「焉能去○。」為粵粵乎。「韓愈送殷員外序」：「丁甯顧婢子，語○不能休。」

刺

即達切。音辭。戾也。見「說文」。「漢書劉向傳」：「朝臣舛午，膠戾乖○。」又「杜欽傳」：「外戚親屬，無乖○之心。」「文選張衡南都賦」：「天地睢○。」「鹽鐵論非鞅」：「弧○之鑿。」雖公輸子不能善其柄。「太玄經倭」：「屈角直足，不伎○也。」「焦氏易林豫之臨」：「一夫兩心，岐○不深。」又撥○。張弓聲。「後漢書張衡傳」：「響威弧之撥○。」「文選思立賦」：「作拔○。」又潑○。魚躍聲。「杜甫詩」：「船尾魚跳潑○鳴。」「辛棄疾詞」：「錦鱗潑○滿籃。」

魚。」又作躒。○「李白詩」。「躒」○銀盤欲飛去。」

印—邛

印

魚剛切。讀若謬平聲。我也。見「說文」。「詩邛風匏有苦葉」。「招招舟子。人涉○否。人涉○

否。○須我友。」「爾雅釋詁」。「○我也。」郭注。「○猶映也。語之轉耳。」（按○亦作映。）

「後漢書南蠻傳」。「映徒。」注。「女人自稱映我也。」又作陽。「爾雅釋詁」。「陽。予也。」

郭注。「魯詩云。陽如之何。今巴濮之人自呼阿陽。」又與昂通。高也。亦仰也。「詩大雅卷阿」

「顛顛○○。」「漢書食貨志」。「萬物○貴。」顏注。「○物價起。」又「楊惲傳」。「奮輿低

○。」又意氣奮發也。「漢書王章傳」。「今疾病困屢。不自激○。乃反涕泣。何鄙也。」又與

仰通。「詩大雅瞻○」。「瞻○昊天。」「漢書王褒傳」。「偃○屈申若彭祖。」又「貨殖傳」

「頰有拾○有取。」「荀子議兵」。「上足○則下可用。」注。「古仰字。」

邛

渠容切。音登。地名。在濟陰縣。見「說文。」又臨○縣名。屬蜀郡。「史記司馬相如傳」。「素

與臨○令王吉相善。」又○嶧山名。「漢書王尊傳」王陽爲益州刺史行部至○嶧九折阪。「史記淮南厲王長傳」請處蜀郡嚴道○郵。「後漢書郡國志」蜀郡嚴道有○夔九折坂。」又丘名。「詩陳風防有鵲巢」○有旨苕。」又勞也病也。「詩小雅巧言」匪其止共維王之○注「譏人不能共職徒爲王病也。」又「小旻」我視謀猶亦孔之○注「惑於邪謀不能斷以從善故致亂也。」又姓周有○疏見「列仙傳」

邵—邵

邵 時照切音劭高也見「說文」揚子法言孝至「年彌高而德彌○者是孔子之徒與」

「南史宋文帝紀」或雅量高○風鑒明遠。」又人名「晉書刑法志」散騎常侍劉○

（按劉○字孔才取高才之義三國志魏書本傳作劉劭荀彧傳注作劉邵並誤）

邵 市照切音紹邑名見「廣韻」左傳襄二十三年「齊侯伐晉成鄆○」又通召「史

記秦紀」齊桓公伐楚至○陵」（按左傳僖四年作召陵）又「白起傳」雖周○呂望

之功不益於此矣。」又「李斯傳」：「不然，斯之功且周○列。」（按禮樂記：史記淮陰侯傳並作周召。）

却—郤

却 乞約切。與郤同。退也。「史記天官書」：「免而卑者○。」

郤 乞逆切。音隙。與郤同。地名。見「集韻」。又同隙。間隙也。「漢書張釋之傳」：「雖錮南山猶有○。」「史記田完世家」：「與齊悼公有○。」「管子君臣下」：「兄弟無間○。讒人不敢作矣。」

卻—郤

卻 乞約切。讀若羌。入聲。節欲也。見「說文」。又不受也。「孟子萬章」：「○之○之爲不恭。」又退也。「漢書爰盎傳」：「及坐。郎署長布席。盎引○慎夫人坐。」顏注：「○謂退而卑之也。」又仰也。「儀禮士昏禮」：「啓會○于敦南。」注：「謂仰於地。」亦作郤。見「史記天官書」。

郤

乞逆切。音隙。晉大夫叔虎邑也。見「說文」。又同隙。空隙之地曰○地。「禮曲禮」：「諸侯相見於○地曰會。」「墨子兼愛」：「譬之猶駟馳而過○也。」「莊子知北遊」：「人生天地之間，若白駒之過○，忽然而已。」釋文：「○本作隙。孔也。」又鴻○。陂名。「後漢書鄧晨傳」：「晨與鴻○陂數千頃。」又骨肉之交也。「莊子養生主」：「批大○，導大窾。」又嫌隙也。「史記曹相國世家」：「參始微時，與蕭何善，及為將相，有○。」

郤

郤

香衣切。音希。骨節間也。見「集韻」。

郤

抽遲切。音絺。周邑也。在河內野王縣。見「說文」。又姓也。「正字通」：「○與郤別。郤說晉大夫郤穀之後。○鑿。漢御史大夫○慮之後。姓源既異。音讀各殊。後世因俗書相混。不復分郤○為二。」「陸龜蒙詩」：「一段清光染○郎。」亦誤讀也。

郎

卽 節力切。音稷。卽食也。一曰就也。見《說文》。《漢書高帝紀》「使陸賈○授璽綬。」顏注。「○就也。」《爾雅釋詁》「○尼也。」郭注。「尼近也。」疏。「○今相近也。」又○時猶俗言

頃刻也。《漢書蘇武傳》「○時誅滅。」（按○亦作則。）《漢書王莽傳》「應聲滌地。則時成創。」顏注。「則時猶卽時也。」又燭炬之燼曰○。《管子弟子職》「左手執燭。右手執○。」

又通積。○。充實也。《漢書禮樂志》「磬磴○○。師象山則。」註。「積實之盛。類於山也。」（按廣韻。隸作卽。玉篇。今作卽。）

郎 盧當切。音廊。魯地名。《春秋隱元年》「費伯帥師城○。」又官名。《韻會》「秦初置○

中令。」又男子之稱。《唐書房玄齡傳》「高孝基曰。僕聞人多矣。無如此○者。」又婦稱其夫曰○。《晉書列女謝道蘊傳》「天壤之間。乃有王○。」又僕稱主亦曰○。《唐書宋璟傳》「鄭善果曰。中丞奈何卿○。璟曰。君非其家奴。何○之云。」

冲—冲

冲 昌中切。音充。鑿冰聲也。〔詩〕豳風七月。〔二〕之日。鑿冰○○。〔

冲 持中切。音蟲。涌搖也。見〔說文〕。又虛也。〔老子〕。〔大盈若○○〕。又和也。〔蕭瑟詩〕

〔無累在淵○○〕。〔駱賓王詩〕。〔月桂朗○○襟〕。又飛也。〔史記〕滑稽淳于髡傳。〔一飛

○天〕。又稚也。〔書〕盤庚。〔肆予○○人〕。又垂飾貌。〔詩〕小雅蓼蕭。〔儻革○○〕。

冶—沿—沼—汨

冶 以者切。音野。消也。從火台聲。見〔說文〕。鑄匠曰。○〔漢書〕董仲舒傳。〔金之在鎔。惟○者

之所鑄〕。又〔陶〕而成之。〕又妖○。女態。〔史記〕司馬相如傳。〔妖○嫺都〕。〔易〕繫辭。〔

○容誨淫〕。〔後漢書〕蔡邕傳。〔女○容而淫〕。亦作野。〔列女貞順傳〕。〔避嫌遠別

終不野容〕。又作豔。〔抱朴子〕博喻。〔嫫母宿瘤。惡見西施之豔容〕。〔按〕冶野同音。豔則

音之轉也。〕

治 直之切。音持。水名。出東萊曲城陽丘山。南入海。見〔說文〕。又理也。〔周禮〕天官太宰。〔以

九職任萬民。七曰嬪婦化。○絲枲。」又直利切。音穉。亦理也。「周禮春官大宗伯」○其大體。」又有所求乞也。「周禮地官旅師」○凡新眡之○皆聽之。」又道家靜室曰杜○見「六朝詩話。」又唐人避諱。段作理。或作化。又作政。「後漢書蔡邕傳」○理亂相承。」又「應劭傳」○夫時化則刑重。時亂則刑輕。」又「仲長統傳」○政亂從此周復。」古文作亂。形與亂似。因訛爲亂。「論語泰伯」○武王曰。予有亂臣十人。」（按左傳昭二十四年杜注。武王言我有○臣十人。雖少同心也。是原文作○也。）

沿 余專切。音鉛。緣水而下也。見「說文」。「書禹貢」○于江海。」又循也。「禮樂記」○故

明王以相○也。「疏」○謂因而更改也。「文選陸機文賦」○或○波而討源。」

沼 之少切。讀若昭。上聲。池也。一說圓曰池。方曰○。見「說文」。「詩召南采蘋」○于○于沚。」

「孟子梁惠王」○文王以民力爲臺爲○。」

洒 他各切。音託。落也。礎也。見「玉篇」○又當各切。音衍。滴也。「崔實農家諺」○上火不落。下

火滴○。」又章也切。音者。與藉同。「詩秦風終南」○顏如渥丹。」釋文「韓詩作渥○。」（按

韓詩外傳二作渥。釋文引作渥。蓋內傳與外傳異文。

清——清

清 七正切。讀若清去聲。寒也。見「說文」。禮曲禮「凡為人子之禮。冬溫而夏○。」註「○以致其涼。」

清 七情切。音圉。澂水之貌。見「說文」。詩鄭風溱洧「劉其○矣。」又視明也。「詩鄭風君子偕老」。「子之○揚。」又目下爲○。「詩齊風猗嗟」。「美目○兮。」

涼——涼

涼 呂張切。音良。薄寒爲○。見「韻會」。漢書五行志「龍○冬殺也。」顏注「○薄也。」呂惠卿貽王安石書「內省○薄。尙無細故之嫌。」今作涼。

涼 音同上。冷也。「禮月令」。「孟秋之月。○風至。」又扇名○友。「清異錄」。「○友招清風。」

指扇也。又力仗切。音諒。與亮通。佐也。〔詩大雅大明〕「○彼武王。」又郎宕切。音浪。本作閩。○風山名。〔淮南子墜形〕「縣圃○風焚桐。在昆侖閩闔之中。」

准——淮

准 主尹切。讀若腫上聲。平也。見〔說文〕。本作準。〔莊子天道〕「平中○。大匠取法焉。」〔正字通〕「字林準與○同。正韻軫準○二字並存。當卽準字重文。」〔二老堂雜誌〕「勅牒準字去十爲○。或謂本朝因寇準爲相而改之。又云會公亮蔡京父皆名準而避。其實不然。予見唐誥已作○。又收五代堂判亦然。」

淮 乎乖切。音懷。水名。出南陽平氏桐柏大復山。東南入海。見〔說文〕。〔風俗通山澤〕「○。均也。均其務也。」〔釋名釋水〕「○。圍也。圍繞揚州分界。東至於海也。」

晰——晰

晰

陟鑿切。音斯。「廣韻十五鑑○字注」。「嘲○鳥鳴也」。「楚辭九辯」。「鷓鴣啼○而悲鳴」。

又聲繁細貌。「白居易琵琶行」。「豈無山歌與村笛。嘔啞嘲○難為聽」。(按文選潘岳藉

田賦。簫管嘲啞以啾嘈兮。又笙賦。哇咬嘲啞。豈何察慧。啞啞兩字。並與○字通。)

晰

征例切。音制。與哲同。「詩小雅庭燎」。「庭燎○○」。傳。「○○明也」。或作晰。見「類

篇」。

哲—哲—哲—哲—哲

哲

陟列切。音蜚。「爾雅釋言」。「○智也」。「書舜典」。「濬○文明」。「又說命」。「知之曰

明○」。「揚子方言」。「○知也。齊宋之間謂之○」。「逸周書諡」法「聰明叡○曰獻」。(按

獨斷上作睿智。)又通折。「漢書于定國傳」。「哀鰥○獄」顏注。「知獄情也」。(按○即

折字。哀鰥即哀矜。謂以哀矜之心折獄也。顏注非是。)

哲

征例切。音制。○○星光也。「詩陳風東門」。「明星○○」。傳。「猶煌煌也」。又之列切。音

折。昭。明也。見「說文」。

皙 思積切。音析。「正韻」。「會點字」○。本從白。論孟史記皆譌從日。今不可改。故收入。「正

字通」(按從白者為白色之皙。從日者為明辨之○。二字義各異也。)

皙 先的切。音錫。人色白也。見「說文」。「左傳昭二十六年」。「有君子白○鬢須眉」。「周禮

地官大司徒」。「其民○而瘠」。又叶征例切。音制。「詩鄘風君子偕老」。「象之掃也。揚且之○也」。

皙 丑例切。音懣。「玉篇」。「○皙也」。「廣韻」。「○目光也。又目明也」。「又征例切。音制。

與黓同。

商——商

商 式陽切。音觴。度也。見「廣韻」。「易兌」。「○兌未寧」注。「○量裁制之謂」。「禮曲禮」

「棄魚曰○祭」注。「○猶量也」疏。「祭用乾魚。量度燥溼得中而用之也」。「宋書謝靈運

傳論「○推前藻」。「北史崔孝芬傳」。「○權古今」又五音中之金音也。「禮月令」
「其音○」。「漢書律曆志」。「○之爲言章也。物成孰可章度也。」又行貨曰○。「易復」
「○旅不行」。「周禮天官太宰」。「○賈阜通財賄」又國名。「詩○頌譜」。「○者契所
封之地。」又「集韻」諸良切。音章。「書費誓」。「我○賚汝。」

商

丁歷切。音的本也。見「廣韻」。又「集韻」施隻切。音釋和也。又與滴同。「周禮夏官挈
壺氏」賈疏。「掌刻漏」。釋文。「漏下三○爲昏。○古滴字。」（按古有銅壺滴漏之法。以斟時
刻。三商。卽漏三滴也。儀禮士昏禮鄭注。日入三商爲昏。疏馬氏云。日未出。日沒後。皆二刻半。前後
共五刻。云三商者。據整數而言也。商乃商字之訛。嗣後宋夏竦蓮華漏銘。五夜持宵。三商定夕。注
蘇子美亦云。三商而眠。高春而起。明張自烈正字通。商乃漏箭所刻之處。古以刻鑄爲商。所云商
金商銀是也。刻漏者。刻其痕以驗水。並沿襲鄭注而加以附會者。茲特糾正之。）

嗒

嗒 託合切。音榻。〔廣韻嗒字注〕「○然。忘懷也。」〔莊子齊物論〕「○然似喪其耦。」

（按或省作答。見集韻。）

嗒 同塔。見〔篇海〕。

噍——噍——噍

噍 遵綏切。音追。〔玉篇口部〕「○撮口也。」又蘇回切。音穠。促飲也。見〔集韻〕。〔王仁裕

詩〕「芳尊每命管絃○。」又祖回切。音摧。嗟也。又祖猥切。音摧。口醜也。並見〔集韻〕。

噍 卽古嚼字。疾爵切。音嚼。〔淮南子主術〕「噍者可令○筋。而不可使有聞也。」今本〔淮南

子〕訛作噍。〔易林蒙之離〕「噍跛摧筋。」又訛作摧。並非是。（按周禮冬官考工記弓人筋

欲敵之敵。注。鄭司農云。嚼之當熟。賈疏云。筋之摧打嚼齧。欲得勞敵。是嚼筋一法。古早有之。謂搓

打之使柔熟也。）

嶽 卽委切。音嵩。〔韻會〕「嶽○山曲也。」又嶽○山貌。〔文選揚雄甘泉賦〕「雲譎波詭。

摧○而成觀。」注。「謂山林叢集也。」（按或作佳。見莊子齊物論。）

曉——曉——曉——曉

曉 馨玄切。音勝。懼也。見「說文」。「詩豳風鴟鴞」。「予維音○○」。「傳」。「○○懼也」。「爾雅

釋訓」作憺憺。音義同。

曉 馨烏切。音露。上聲。明也。見「說文」。「曙也。見「玉篇日部」。「又知也。見「揚子方言」。「史記

西南夷傳」。「指○南越」。「又猶白也」。「漢書元后傳」。「未○大將軍」。

曉 烏侯切。音歐。「玉篇目部」。「○深目貌」。「按今俗稱○裏眼。本此。」

曉 馨么切。音憺。豕肉羹也。見「說文」。「禮內則」。「腳腫○醢」。「釋文」。「○豕羹也」。

回——回

回 戶恢切。音迴。從口中象○轉之形。見「說文」。「又違也」。「詩大雅旱麓」。「求福不○」。「禮

禮器」。「禮釋」。「增美質」。又邪也。「左傳文十八年」。「靖譖庸」。「古文苑秦惠文王
詛楚文」。「康」。「無適」。「同道」。又迴旋也。「詩大雅雲漢」。「昭」。「于天」。又屈也。「後
漢書盧植傳」。「申宥」。「枉」。又遲。「踟躕也」。後漢書光武十王傳。「光武不忍遲」。者
數歲。「史記孔子世家」。「余祇」。「留之不能去云」。索隱。「祇敬也。言祇敬遲迴不能去之」。
又徘徊。猶遲也。「文選張衡思玄賦」。「馬倚輪而徘徊」。又這。猶言此。「侯鯖錄」
「杞人楊朴被召。其妻作詩送之云。今日捉將官裏去。這斷送老頭皮」。亦作遮。「元稹詩」
「自識君來三度別。遮」。「白盡老髭鬚」。又胡對切。音績。「漢書食貨志」。「渭漕」。「遠」。又
「趙充國傳」。「遠千里」。顏注。「謂路迂也。音胡悔反」。又畏避也。「漢書酷吏王
溫舒傳」。「卽有避」。夷之亦滅宗。顏注。「避」。謂不盡意捕擊也。「音胡內反」。又「趙廣
漢傳」。「見事風生。無所」。「避」。後漢書左雄傳。「奏案貪猾二千石。無所」。「忌」。又五
官切。音刑。與園同。「荀子儒效」。「圖」。「天下於掌上。而辨白黑」。楊注。「圖。謀也。轉也。言圖
謀運轉天下之事。如在掌上也」。

囿 [正字通] 〇俗回字。〔鄞本監韻〕回作〇。非〇古回字也。

囿 — 囿

囿 五官切。音阮。與刑同。圭角泯鑠也。見〔正韻〕。〔莊子齊物論〕「五者〇而幾向方矣。」〔後

漢書孔融傳贊〕「豈有員〇委曲。可以每其生哉。」

囿 [正字通] 〇與模同。見〔漢碑〕。

困 — 水 — 困

困 苦悶切。讀若坤去聲。故廬也。從木在口中。見〔說文〕。〔六書本義〕「木在口中。木不得申。

借爲窮〇病〇之義。」又卦名。〔易序卦〕「升而不已則〇。」〔書大禹謨〕「不廢〇

窮。」〔史記范雎蔡澤傳贊〕「二子不〇隄。惡能激乎。」又疲劇也。〔後漢書耿純傳〕「昨

夜〇乎。」又不通也。〔禮中庸〕「或〇而知之。」又亂也。〔論語子罕〕「不爲酒〇。」

又爲人所隄亦曰○。「左傳宣十四年」○獸猶鬪。況國相乎。」

涿 烏圓切。音黠。今作淵。回水也。見「說文」。「元包經」。「物萌於○」。又「文選郭璞江賦」

「潰滉○泫。」注。「深廣貌。」

困 區倫切。音箇。廩之圖者。見「說文」。「詩魏風伐檀」。「胡取禾三百○兮」。「國語周語」

「市無赤米。而○鹿空虛。」韋注。「圓曰○。方曰鹿。」（按吳越春秋句踐伐吳外傳。作國廩。）

「禮月令」。「修○倉」。「管子八觀」。「○倉空虛」。又神○山名。「山海經北次三經」

「神○之山。黃水出焉。」又輪○。屈曲貌。「史記鄒陽傳」。「蟠木根柢。輪○離詭。」（按新論

輶光。作輪箇。文選枚乘七發。作輪箇。）

已—已—已

已 居里切。音紀。身也。見「廣韻」。「書大禹謨」。「舍—從人」。「禮坊記」。「君子貴人而賤

○。先人而後○。」「論語子路」。「共○正南面而已矣。」又私也。「論語顏淵」。「克○復

禮爲仁。」又紀也。「詩小雅節南山」。「式夷式○無小人殆。」箋「爲政當用平正之人。用能紀理其事也。」又天干名。「爾雅釋天」。「太歲在○曰屠維。」「禮月令」。「季夏之月其日戊○。」注「○之爲言起也。」又古曆三月三日稱上○。「後漢書禮儀志」。「是月上○。官民皆絜於東流水上。曰洗濯祓除。去宿垢疾。爲大絜。」（按上○之○。本用天干之○。如上丁上辛之例。後人作地支之巳誤。）又戊○。官名。「後漢書西域傳」。「元帝置戊○校尉。」又體○。私也。「山居新語」。「嘗見周草窗家藏徽宗在五國城寫歸御批。有云可付與體○人者。卽所謂梯○人。」「心史」。「元人謂自○物曰梯○物。」「元典章」。「押馬人員。于中夾帶梯○馬匹。出使經過州縣。要做梯○人情。」又口已切。音起。與杞同。「詩商頌長發」。「韋顧既伐。昆吾夏桀。」箋「顧昆吾。皆○姓也。」

已 養里切。音以。止也。畢也。訖也。見「玉篇」。又成也。「易損卦」。「○事遄往。」又往事也。「漢書賈誼傳」。「夫三代之所以長久者。其○事可知也。」又去也。棄也。「書堯典」。「試可乃○。」又不許之辭。「史記游俠傳序」。「○諾必誠。」亦作以。「文選枚乘七發」。「決絕以

諾。」又息也。「詩周頌維天之命」於穆不○。」又語終辭。「漢書梅福傳」亦無及○。」又踰時曰○而。「史記高祖紀」○而有娠。」

巳 詳子切。音似已也。四月陽氣已出。陰氣已成。萬物皆成文章。故○爲蛇象形。見「說文」。「史記律書」○者。言陽氣之已盡也。「爾雅釋天」太歲在○曰大荒落。「增韻」陽氣生子。終于○者。終已也。象陽氣既極。回復之形。故又爲終已字。今俗以有鉤挑者爲終已字。無鉤挑者爲辰○字。是蓋未知其義也。」

弋—戈

弋 與職切。音翊。繳射也。見「玉篇」。「周禮夏官司弓矢」贈矢弗矢。用諸○射。「詩鄭風女曰鷄鳴」○曼與雁。「漢書藝文志兵技巧家」蒲苴子○法四篇。「文選張衡西京賦」蒲且發○高鴻。」又概也。「爾雅釋宮」雞棲於○爲櫟。」又黑色也。「漢書東方朔傳」孝文皇帝之時。身衣○緜。」又左○官名。「漢書百官表」少府屬有左○。

太初元年。更名爲飲飛。掌○射。又鳥○國名。文選揚雄長楊賦。登南山。瞰鳥○。又與弋通。漢書外戚傳。孝武鉤○趙婕妤。武帝巡狩過河間。使使召之。既至。女兩手皆拳。上自披之。手即時伸。號曰拳夫人。居鉤○宮。

戈 古禾切。音鍋。平頭戟也。見說文。禮曲禮。進○者。前其鏹。後其刃。書牧誓。稱爾○。注。短兵也。又亥○。星名。史記天官書。外爲盾。天鋒。集解。曹灼曰。一名亥○。按文選張衡西京賦。建亥弋。弋字當作○。此形之誤。又戎字之訛。管子心術。惡氣迎人。害於○兵。按內業。作戎兵。

庇—疵—疵

庇 必至切。讀若比去聲。○廕也。見爾雅釋言。左傳襄三十一年。大官大邑。身之所○也。國語晉語。木有枝葉。猶○蔭人。戰國趙策三。席隴畝而廕○。桑陰移而天下傳。通作庇。莊子養生主。懸將莛其所賴。

庇 七賜切。音刺。耕具也。見「玉篇」。又人名。「竹書紀年」：「穰○帥師。及鄭孔夜戰于梁。赫。」

鄭師敗遁。」又與耜通。「周禮冬官考工記」：「車人為耒○。長尺有一寸。」注：「鄭司農云。」

○耒下歧也。」

疵 必至切。音閉。脚冷溼病。見「集韻」。又人名。「漢書衛青霍去病傳」：「雁○為輝渠侯。」

注：「○音庇。廕之庇。」又與庇通。「後漢書清河孝王慶傳」：「魂靈有所依○。」

疵 才支切。音玼。病也。見「說文」。「易繫辭」：「悔吝者。言乎其小○也。」「左傳僖七年」：「子取予求。不女○環也。」

「漢書景十三王傳」：「有司吹毛求○。」亦作玼。「後漢書黃憲傳」：「去玼吝。」

又作些。「漢書王莽傳」：「故知我國有些災。」或作疝。「一切經音義二」：「○古文疝同。」

「說文」：「云疝瑕也。」

官—宮

官 沽歡切。音觀。吏事君也。見「說文」。又職也。「書咸有一德」：「任○惟賢材。」又「周官」

「○不必備。惟其人。」又朝廷治事處曰○。「禮玉藻」。「在○不俟履。」「漢書賈誼傳」。「學者所學之○也。」顏注。「○謂○舍。」又「劉歆傳」。「諸子傳說猶廣立於學○。」（按韓延壽傳廣立學宮宮當作○。乃字形之訛。）又事也。「禮樂記」。「禮明樂備。天地○矣。」又身有五○。「孟子離婁」。「耳目之○。不思而蔽於物。」

宮

居中切。音弓。室也。見「說文」。「釋名釋宮室」。「○穹也。屋見垣上穹隆然也。」「禮儒行」。「儒有一畝之○。」又至尊所居之稱。「史記秦紀」。「斬年○。」「三輔黃圖」。「祈年○。穆公所造。」（按古者貴賤皆稱○。帝王始得稱○。自秦始皇始。）又宗廟亦曰○。「詩召南采蘋」。「予以用之。公侯之○。」又五音之一。「漢書律曆志」。「○中也。居中央。暢四方。倡始施生。爲四聲綱。」又古五刑之一。「禮文王世子」。「公族無○刑。」又環也。「爾雅釋山」。「大山○。」又樂懸名。「周禮春官小胥」。「天子○懸。」注。「四面懸也。」又蠶事曰○事。「大戴禮夏小正」。「三月。妾子始蠶。執養○事。」

宦—宦

宦 胡慣切。音患。仕也。見「說文」。「禮曲禮」：「○學事師，非禮不親。」「說苑敬慎」：「官怠

於○成。」（按鄧析子轉辭，作患生於官成。文子符言，作學敗于官茂。韓詩外傳八，作官怠於有成。並字形之訛。）「史記平準書」：「市井之子孫，亦不得仕○為吏。」又「張蒼傳」：「韋玄

成自游○而起至丞相。」又學也。「左傳宣二年」：「○三年矣。」注：「學職事為官也。」

又凡事人者皆曰○。「左傳僖十七年」：「子圉西質，妾為○女焉。」注：「○謂○事於秦為妾也。」又中官曰闕○。「後漢書袁紹傳」：「袁紹謀誅闕○。」

宦 延知切。音怡。室之東北隅也。見「說文」。「爾雅釋宮」：「室東北隅謂之○。」注：「李巡曰：東北陽氣始起，育養萬物，故曰○者養也。」

市—市—市

市

作答切音狹。周也。從反之而周也。見「說文」。「廣雅釋詁」：「○徧也。」「文選張衡西京賦」：「列卒周○。」通作匝。「史記高祖紀」：「黎明圍宛城三匝。」

市

分物切音弗。鞞也。上古衣蔽前而已。○以象之。天子朱○。諸侯赤○。大夫蔥衡。從巾。象連帶之形。見「說文」。「廣韻八物」：「說文曰：○鞞也。鞞上同。」（按禮玉藻作鞞。）又音活切。

音鑑。○。草木盛貌。見「集韻」。又「玉篇」：「○甫味切音沸。蔽○小貌。」（按詩召南作蔽芾。）

蔽芾。

市

時止切音恃。買賣所之也。見「說文」。「易繫辭」：「日中為○。致天下之民。聚天下之貨。交易而退。各得其所。」「周禮地官司○」：「五十里有○。」又「大○日昃而○。百姓為主。朝○。朝時而○。商賈為主。夕○夕時而○。販夫販婦為主。」「史記平準書注」：「古未有○。若朝聚井汲。便將貨物於井邊貨賣。曰○井。」又買也。「論語鄉黨」：「沽酒○脯不食。」「管子侈靡」：「○也者勸也。勸者所以起本。」又天○。○稷。並星名。見「史記天官書」。又軍○。亦星名。見「漢書天文志」。又新○。縣名。屬鉅鹿郡。見「漢書地理志」。

帆一帆

帆 渠伊切音耆。〔集韻五支〕「伊○古天子號。」本作耆。〔禮明堂位〕「土鼓黃桴鞀籥。」

伊耆氏之樂也。〔又〕「竹書紀年」「炎帝神農氏。其初國伊。又國耆。合而稱之。又號伊耆氏。」

又作祁。〔史記五帝紀索隱〕「堯。帝嚳之子。姓伊祁氏。〔詩含神霧〕「慶都與赤龍合。」

昏。生赤帝伊祁堯也。〔又作祈。〕「魏書高祖紀」「懷州民伊祈苟初。自稱堯後。應王。聚衆於。」

重山。」

帆 符炎切音凡。舟上幔以○風。見〔集韻〕。〔後漢書馬融傳〕「張雲○。」〔晉書顧愷之傳〕

「假還仲堪以布○借之。」〔按世說新語作布願。〕又石帆。海草名。〔文選左思吳都賦〕

「石○水松。」劉注。〔石○生海嶼石上草類也。〕又扶泛切音梵。〔釋名釋船〕「隨風張。」

幔曰○○汎也。使舟疾汎汎然也。〔韓愈除官赴闕詩〕「無因○江水。」注。〔洪興祖曰。○。」

船使風也。〕又作紉。見〔玉篇〕。

帛

帛

旁陌切。音白。繒也。見「說文」。「易賁卦」。「東○彘彘」。「左傳閔二年」。「大○之冠」。

「戰國策楚策」。「昔者令尹子文。緇○之衣以朝」。「周禮地官媒氏」。「凡嫁子娶妻。入幣

純○無過五兩」。「鄭注」。「純實緇字也。納幣用緇。婦人陰也」。「後漢書班超傳」。「超乃使使

多齎錦○。遺月氏王」。「又練素也」。「後漢書鄧皇后紀」。「必書功於竹○」。「又通作白」。「說

苑反質」。「齊桓公大白之冠」。「又訛作泉」。「管子輕重丁」。「天下諸侯。載黃金珠玉五穀

文。采布泉輸齊」。「按通典食貨十三。引此作布○」。

帛

研計切。音詣。法也。見「集韻」。「莊子應帝王」。「汝又何○以治天下。感予之心為」。「注」。「言

皆放之自得之場。則不治而自治也」。「釋文」。「○音藝。司馬云。法也」。

尤

外戚班倅仔傳。不廢捐於罪郵。亦即罪尤也。

少—少

少 書沼切。讀若燒上聲。不多也。從小ノ聲。見「說文」。「禮禮器」。「禮有以○為貴者」。「國

語楚語」。「私欲弘侈。則德義鮮○」。「史記貨殖傳」。「虞不出則財匱○」。「北史隋煬帝

紀」。「若有糧食乏○者。則賑給之」。「又短也。嘗人曰○之」。「史記蘇秦傳」。「素習知蘇秦皆

○之」。「又失照切。讀若燒去聲。老之對也」。「戰國秦策」。「周書有言。美女破○。美男破老」。

（按逸周書武稱。美男破老。美女破舌。舌乃○字之訛。）又副貳也。「書周官」。「○師○傳

○保。曰三孤」。「又與幼通」。「歐陽修蔡君山墓誌銘」。「父不哭子。老不哭○。嗟夫君山。而不

得壽」。「又與小通」。「漢書武帝紀」。「○吏犯禁」。「注」。「○吏。小吏也」。「又「匈奴傳」。「今

以○吏之敗約」。「顏注」。「○吏。猶小吏也」。

少 他達切。音撻。蹈也。從反止轉注。本作少。見「說文」。「佩觿集」。「少。申兆翻。不多也。○。他末

翻踏也。步字從此。

夬 — 央

夬 古壞切。音噲。分決也。見「說文」。「易說卦傳」：「○。決也。剛決柔也。」又古穴切。音決。所以闔弦者。見「集韻」。（按即詩小雅車攻。決拾既休之決。）

央 於良切。音秧。中也。見「廣韻」。「詩秦風蒹葭」：「宛在水中○。」又半也。「詩小雅庭燎」：「夜如何其。夜未○。」又盡也。「漢書外戚李夫人傳」：「惜蕃華之未○。」又廣也。「文選司馬相如長門賦」：「覽曲臺之○○。」又於京切。音莢。○○。旂旂貌。「詩小雅采芣」：「旂旂○○。」

埤 — 埤

埤 都果切。音采。堅土也。見「說文」。又水埤也。「淮南子齊俗」：「狙貉得○。防弗去而緣。」

又「說林」：「窟穴者託○防便也。」高注：「○防，高處隄防也。」又「說山」：「泰山之容，巍巍然高，去之千里，不見○垝，遠之故也。」高注：「○垝，猶席（同塵）翳也。○讀似望，作江淮間人言，能得之也。」（按高氏注：○讀如墜塵之墜，此方言之異，論衡說日，作○塊，餘文略同。）

塿 同塿，神陵切，音乘，稻田畦也，見「集韻」。或作塿，塿，並同。

樓——樓——樓

樓

郎口切，音簍，小阜也，見「廣韻」。揚子方言：「小冢謂之○。」晉書陸玩傳：「培

○無松柏。」（按左傳襄二十四年，作部婁。）亦作樓，「淮南子原道」：「連樓。」高注：「樓讀陪樓，無松柏之樓。」

樓

樓

盧侯切，音樓，曳聚也，見「說文」。孟子告子：「五伯者，○諸侯以伐諸侯者也。」又「踰

東家牆而○其處子，則得妻。」揚子方言：「婁，持謂之○。」爾雅釋詁：「蒐○聚

也。」郭注：「○猶今言拘○聚也。」

樓

盧侯切。音婁。重屋也。見「說文」。「爾雅釋宮」。「狹而修曲曰○」。又偵敵之車也。「六

韜軍略」。「視城中則有飛○」。左傳宣十五年「解揚登諸○車。呼宋人而言之」。又

城樓曰譙○。又曰戍○。「三國志吳書孫權傳」。「治城郭。起譙○」。儲光義送別詩「寒

雲隱戍樓」。又山之銳者曰岑○。「孟子告子」。「方寸之木。可使高於岑○」。又草名。「爾

雅釋草」。「栝○。果羸之實」。又道家稱兩肩爲玉○。「蘇軾雪詩」。「凍合玉○寒起粟」。又離○。衆木交加貌。「文選王延壽魯靈光殿賦」。「嶽岑離○」。

壺——壺——壺

壺

洪孤切。音胡。夏商曰尊彝。周制用○。有方圓之異。見「正韻」。「左傳昭十五年」。「樽以魯

○」。又投矢之具。古賓主宴飲相與娛樂。設○一。以次投矢於其中。勝者酌酒飲不勝者。禮有

投○篇。又官名。「周禮夏官」。「挈○氏」。又睡○。「晉書王敦傳」。「敦酒後輒詠魏武

樂府。以如意擊唾○爲節」。又通胡。卽葫蘆瓜也。「詩豳風七月」。「八月斷○」。鶡冠

子學問。〔中流失船。一〇千金。〕又訛作臺。〔禮檀弓。〕魯婦人之鬢而弔也。自敗于臺始也。〔注。〕臺音狐。〔按左傳襄四年。敗於狐駘。國人逆喪者皆鬻。狐當作臺。故誤作臺。若作狐字。與臺形相隔甚遠。即無由誤爲臺駘矣。〕又臺字之訛。〔後漢書郡國志。〕太原郡榆次有鑿。〔注。〕史記曰。韓魏殺智伯。埋于鑿之下。〔按史記春申君傳。戰國秦策四。均作鑿臺。〕

壺 苦本切。音個。〔爾雅釋宮。〕宮中街謂之。〔詩大雅既醉。〕其類維何。室家之。〔

漢書敘傳。〕。〔〇闡恣趙。朝政在王。〕唐書德宗賢妃韋氏傳。〕宮。事無不聽。〔

壹 於悉切。音一。專一也。見〔廣韻。〕。〔孟子公孫丑。〕志。則動氣。氣。則動志也。〔又合

也。〕荀子王霸。〕。欲調。天下。制秦楚。則莫若聰明君子矣。〔史記張儀傳。〕混。諸侯。〔

漢書董仲舒傳。〕。有所統。爲羣儒首。〔又霍光傳。〕總。海內。〔又醇厚也。〕史

記曹相國世家。〕。載其清淨。民以寧。〔又閉塞也。〕管子形勢。〕。臣下賦歛競得。使民

偷。〔又泰。天神也。〕漢書揚雄傳。〕。上象泰。之威。〔

廷—延—延—延—廷—廷

廷

唐丁切音亭。朝中也。見「說文」。「論語鄉黨」。「其在宗廟朝」。「疏」。「朝」。「布政之所」。

又縣。○「後漢書郭太傳」。「母欲使給事縣」。「注」。「蒼頡篇曰。直也」。「風俗通」。「○

正也。言縣。○郡。○朝。○皆取平均正直也」。「又通作庭」。「漢書游俠郭解傳」。「不敢乘車入

其縣庭」。「又訛作延」。「墨子號令」。「若無符。皆詣縣延問其所使」。「又掖」。「宮中旁舍。妃

嬪居之」。「漢書杜延年傳」。「宣帝養於掖」。「又○尉」。「漢書百官表」。「○尉秦官」。「注

「○平也。治獄貴平。故以為號」。「廣韻」。「○者。平也」。

延

諸盈切音征。行也。見「說文」。「又與征字通」。「漢書孝景功臣表」。「亞谷侯廬賀。○和二

年。坐受衛太子節掠死」。「按史記表。作征和」。

延

夷然切音經。長行也。見「說文」。「又進也」。「禮射義」。「孔子使子路執弓矢出」。「射」。

又長也。「揚子方言」。「○永長也。凡施於年者謂之○。施於衆長謂之永」。「文選班固西京

賦「歷十二之○祚。」又遠也。「史記蒙恬傳」○「○裘萬餘里。」又納也。「史記梁孝王世家」○「招○四方豪傑。」又淹久也。「左傳襄十四年」○「晉人謂之遷○之役。」又引身也。「文選張衡西京賦」○「遷○邪睨。」又募道也。「左傳隱元年」○「隧而相見。」注「隧若今○道。」又通甃。盤屈曰宛。「文選揚雄甘泉賦」○「颺翠氣之宛○。」注「宛○長曲貌。」又以淺切音演。冕上覆也。「禮玉藻」○「天子玉藻十有二旒。前後遂○。」又延面切。音羨。言互相周通也。「文選張衡西京賦」○「重闈幽闔。轉相踰○。」

延 抽連切。音挺。安步○○也。見「說文。」

迤 想氏切。音徙。迤也。見「集韻。」「正字通」○「一作逶。今通用徙字。」

迂 于況切。音旺。欺也。見「集韻。」「詩鄭風揚之水」○「人實○女。」左傳定十年「是○吾兄也。」又往也。「左傳襄二十八年」○「君使子展○勞于東門之外。」又恐懼也。「文選司馬相選如長門賦」○「魂○○若有亡。」

選司馬相選如長門賦「魂○○若有亡。」

很——狠——狠

很

胡懇切。讀若痕。上聲。不聽從也。一曰行難也。見《說文》。《國語吳語》：「今王將○天而伐齊。」韋注：「○違也。」又剛復不馴曰○戾。《史記張儀傳》：「趙王之○戾無親。大王之所

明見。」《三國志魏書董卓傳評》：「○戾賊忍殘虐不仁。」又諍訟也。《禮曲禮》：「○毋求勝。」注：「○聞也。謂爭訟也。」又俗作狠。《孟子》：「好勇鬪○以危父母。」又訛作恨。

《吳越春秋句踐入臣外傳》：「言悲辭苦。羣臣泣之。雖則恨愴之心。莫不感動。」

狠

牛閑切。音訐。本作獠。或作獠。犬鬪聲也。從犬良聲。見《說文》。《廣韻》：「獠。犬鬪聲。或作○。」《玉篇犬部》：「獠。犬爭貌。通作○。」又《集韻》：魚巾切。義同。又口很切。音懇。本作狠。齧也。

又下報切。音憫。猛也。

狼

盧當切。音郎。○似犬。銳頭白頰。高前廣後。從犬良聲。見《說文》。《爾雅釋獸》：「○。牡羴牝○。」注：「牡名羴。牝名○。」《詩齊風還》：「並驅從兩○兮。」又○戾。乖背也。《文選馬融

長笛賦「乍時驟以○戾」。又多也。「孟子滕文公」樂歲粒米○戾。注「猶○藉也。」
 (按鹽鐵論未通樂歲粒米梁厲。即○戾。又貪戾也。「古文苑賈誼旱雲賦」陰陽分而不相得兮。更惟貪婪而○戾。又交橫也。「淮南子覽冥」孟嘗君為之增歎歇。流涕○戾不可止。又○藉。散亂不整齊也。「史記滑稽淳于髡傳」杯盤○藉。又「周禮秋官條○氏鄭注」○○○扈道上。疏「○○○扈道上者。謂不獨之物在道。猶今言○藉也。」
 「孟子告子」養其一指。而失其肩背。而不知也。則為○疾人也。朱注「○善願。疾則不能。故以為失肩背之喻。」(按○疾之疾。即戾字之訛。謂乖背不循理也。朱注非是。又博○地名。「漢書張良傳」秦皇帝東遊至博○沙中。顏注「○音浪。」(按史記本作浪。)

得——得——得

得 多則切。音德。行有所○也。見「說文」。又德也。「韻會」凡有求而獲皆曰○。又賦受曰○。「易乾卦」知○而不知喪。「禮曲禮」臨財毋苟○。「孟子盡心」求則

○之。」又貪也。「論語陽貨」及其老也。戒之在○。又與人契合曰相○。「文選王褒
聖主得賢臣頌」聚精會神。相○益章。」又唐人稱特地爲○○。「釋貫休詩」千水千
山○○來。」又段借作德。「賈誼新書數寧」立經陳紀。輕重周德。」按漢書賈誼傳。作
同○。「後漢書黃憲傳論」將以道周性全。無德而稱乎。」又訛作中。「周禮地官師氏」
「掌國中失之事。以教國子弟。」鄭注。「故書中爲○。」杜子春云。「當爲○。記君○失若春秋
是也。」又訛作見。「國策趙策」攻戰踰年。歷歲未見一城也。」按史記趙世家。作未○。
蓋○字篆文作曷。省寸卽見。漢書張良傳。果○穀城山下黃石。史記留侯世家。作果見。其誤與此
同。

得

的則切。音德。「玉篇」。「○水也。一曰水貌。」又「廣韻」。「○丁力切。音滴。」義同。

得

他德切。音忒。拳打也。擊也。挨也。見「玉篇」。

得

「廣韻」。「○他德切。音忒。得也。」

扑—朴

扑

普木切。讀若鋪入聲。小擊也。與支同。見「集韻」。『史記刺客荊軻傳』「高漸離舉筑○秦

皇帝不中。」又杖也。『書舜典』「○作教刑。」傳「○。榎楚也。不勤道業則撻之。」『史記

陳涉世家』「執敲○以鞭笞天下。」（按賈誼新書過秦上作搞○。）亦作撲。『後漢書荀

悅傳』「桎梏鞭撲以加小人代其刑也。」（按申鑒政體作○。）

朴

匹角切。音璞。木皮也。見「說文」。『按即藥中之厚○。』又同樸。實也。『漢書禮樂志序』

「欲黎庶敦○。」又同璞。玉之在石中者。『史記范雎傳』「楚有和○。」

扞—抗—抗—抗—抗

扞

五忽切。音兀。動也。見「說文」。『詩小雅正月』「天之○我。如不我克。」『周禮冬官考工

記輪人』「輻廣而鑿淺。則是以大○。」注「○。搖動貌。」

抗 陟甚切。讀若謹上聲。深擊也。見《說文》。又食荏切。音甚。《揚子方言》：「秘。推也。」

「列子黃帝」：「攬秘挨。亡所不為。」

抗 五官切。音皖。挫也。見《廣韻》。又○弊。消耗也。《史記平準書》：「百姓○弊以巧法。」

「漢書吾丘壽王傳」：「海內○敝。巧詐並生。」又作抗。《鹽鐵論刺復》：「百姓不堪抗弊。」

而從法。《按抗弊即○弊。字形之訛。》又五換切。同玩。《史記扁鵲傳》：「案○毒熨。」注。

「○。謂按摩而玩弄身體使調也。」

抗 苦浪切。音抗。扞也。見《說文》。又舉也。《禮文王世子》：「周公○世子法於伯禽。」又《樂

記》：「歌者上如○。下如墜。」又剛也。《漢書陳萬年傳》：「○直數言事。刺譏近臣。」《後

漢書朱穆傳》：「美韓稜之○正。」又以手舉物曰○。《淮南子說山》：「百人○浮。不若一

人挈而趨。」又敵也。《史記劉敬傳》：「豈嘗聞外孫敢與大父○禮者哉。」

抚 俗撫字。見《篇海》。

抚 許既切。音飭。與概同。見《集韻》。

挖—挖—挖

挖

古忽切。音骨。摩也。見「廣韻」。『漢書禮樂志』：「○嘉壇。椒蘭芳。」顏注：「摩。拭其壇。」『文選左思吳都賦』：「挂○而為創瘡。」又許訖切。音迄。○然。奮舞貌。『莊子讓王』：「子路○然執干而舞。」（按公羊傳宣六年。作佗。呂覽慎人。訛作抗。）

抗

古代切。音槩。磨也。『淮南子要略』：「禹燒不暇。潰濡不給。○」

挖

湯何切。音佗。曳也。見「說文」。『漢書嚴助傳』：「○舟而入水。」『文選揚雄校獵賦』：「○蒼豨。」（按今相承作拖。或作地。）

地—地

地

鐸我切。音挖。讀若脆上聲。離也。亦析也。『詩小雅小弁』：「伐木掎矣。析薪○矣。」（按說文。引詩作地。字從木。今陸德明所定本作○。音異。字異。而義則同。）又丑豸切。讀若侈。字亦作侈。

或作據。今俗有作扯者。別體字。

柅 弋之切。音移。木名。爾雅釋木。柅。郭注。白椴也。又同籬。一切經音義十四。

「通俗文曰。柴垣曰。」

折——析——拆——坼

折

旨熱切。音浙。拘也。見集韻。詩鄭風將仲子。無我樹杞。國語周語。體

解節。而共飲食之。於是乎有俎。又斷決也。書呂刑。哀矜獄。亦作哲。漢

書子定國傳。作哀鰥哲獄。又損益得中曰中。史記孔子世家贊。中國言六藝

者。中於夫子。亦作拊。楚辭九章惜誦。令五帝以拊中兮。洪補注。拊與同。

又曲也。禮玉藻。還中矩。漢書灌夫傳。吾益知吳璧中曲。又磬。謹

敬貌。禮曲禮。立則磬。垂佩。又屈也。史記越世家。節下賢人。又挫也。

史記項羽紀。諸侯吏卒乘勝輕辱秦吏卒。漢書蒯通傳。北不救。後漢

書馮異傳「虜兵挫○」。又直指他人過失也。「史記公孫弘傳」不肯面○庭爭。又毀也。「漢書高帝紀」常從王媼武負貫酒。兩家常○券棄責。又天壽曰短○。「書洪範」凶短○。「漢書五行志」兄喪弟曰短。父喪子曰○。又田黎切。音題○。安舒貌。「禮檀弓」吉事欲其○○爾。又思積切。音錫。與析通。「後漢書方術」像傳。「其先張江者。封○侯。因氏焉。」（按後漢書郡國志有析縣。無○縣。析縣屬弘農郡。像之先。蓋以邑為氏者。通志氏族略作析像。姓氏尋源作析象。是字從木旁斤。無疑也。）

析

思積切。音錫。破木也。見「說文」。又分也。「漢書孔安國傳」老弱分○也。又剖也。「陶潛移居詩」疑義相與○。又星次名。「史記律書」寅曰○木。又國名。「書

禹貢」支渠搜。「史記五帝紀索隱」作鮮支。云鮮○音相近。古讀鮮為斯。「後漢書西羌傳」作賜支。又相支切。音斯。「周禮天官鹽人」饋食之豆脾○。

析

他各切。音託。判也。夜行所擊也。本作擗。亦作擗。見「說文」。「易繫辭」重門擊○。以待

暴客。「孟子萬章」抱關擊○。亦作擗。「漢書王莽傳」重門擊擗。又「貨殖

傳「抱關擊楯」又作櫟。「周禮夏官挈壺氏」聚櫟。鄭注「擊櫟。兩木相敲。行夜時也。」

坼

恥格切。音坼。裂也。「易解卦」雷雨作而百果草木皆甲○。亦作甲宅。見「揚雄蜀都賦」

抉——玦

抉

娟悅切。音決。挑也。見「說文」。「韓愈送窮文」摘○杳微。又「進學解」爬羅剔

○。又通決。縱弦驅也。「周禮夏官繕人」繪弋○拾。「戰國楚策」其君好發者其臣○拾。

玦

古穴切。音決。玉佩也。見「說文」。「史記項羽紀」范增數以手循○示項羽。「漢書五

行志」佩之金○。又通決。射者著於右手大指。以鉤弦者。「禮內則」右佩○。「按亦作璫。」

扶—玦

扶 防無切。音符。佐也。一曰相也。見「說文」。「論語季氏」：「顛而不○。」「禮內則」：「出入

則或先或後而敬○持之。」「春秋繁露」：「深察名號弗○將。則顛陷猖狂。安能善。」又緣

也。「國語晉語」：「侏儒○虛。」又揚舉也。「文選左思吳都賦」：「○揄屬鏤。」又通楓。

逆風曰○搖。「莊子逍遙遊」：「搏○搖羊角而上者九萬里。」又通膚。鋪四指曰膚。「韓非

子揚權」：「上失○寸。下得尋常。」「廣韻十虞○字注」：「公羊傳云。○寸而合。」注云：「側

手曰○。」（按公羊傳僖三十一年作膚寸）又通匍。手行曰匍匐。「左傳昭二十一年」：「○

伏而擊之。」「禮檀弓」：「詩云。○服救之。」（按詩邶風谷風作匍匐）又通蟠。「漢書天

文志」：「暑長為潦。短為旱。奢為○。」又曰「○發為蟠。齊魯之間聲如舖。」

玦 風無切。音膚。石之次玉者。「春秋繁露」：「對膠西王譬猶玦○。比於美玉也。」「玉篇上

玉部」：「○甫紆切。」「山海經」：「云會稽之山。其下多○石。」

技—技

技 渠綺切。讀若奇上聲。巧也。見「說文」。「禮王制」。「作奇○奇器以疑衆」疏。「若公輸般

請以機竅。指其人巧。謂之奇。○指其機竅。謂之奇器」。「漢書藝文志」。「○巧者習手足。便器

械。積機關。以立攻守之勝者也。」又能也。「書秦誓」。「斷斷兮。無他○。」「漢書佞幸傳」

「鄧通無他○能。」「淮南子道應」。「失其宗本。○能雖多。不若其寡也。」亦作伎。「淮南

子繆稱」。「度伎能而裁使之者。聖人也。」

技 匹角切。小擊也。與擗同。亦作朴。又翹移切。音岐。不端也。見「集韻」。

扳—扱

扳 逋還切。音班。挽也。援也。見「廣韻」。「公羊傳隱元年」。「諸大夫○隱而立之。」又扱班

切。同攀。「史記灌夫傳」集解。「駟案漢書音義曰。秃老翁言嬰無官位○援也。」（按漢書伏

虔注作版授。楚辭哀時命。往者不可援兮。蘇軾無沮善論。聖人畏之。設為高位重祿。以待能者。使天下皆得踴躍自奮。援而來。

扱

測洽切。音鍤。收也。見說文。周禮地官廩人。接盛。鄭注。接讀為。以授春人

春之。又拜手至地曰。儀禮士昏禮。婦拜地。注。猶男子稽首。又與插通。

詩周南采芣。薄言擷之。傳。在曰。禮問喪。上衽。又許及切。音扱。

斂取也。禮曲禮。以箕自鄉而之。又訖立切。音急。廣雅釋詁。引也。按今

亦作扱。漢書劉向傳。禹稷與臯陶傳相扱引。不為比周。又後漢書五行志。

鴻都羣小傳相扱引。

招一 招

招

之遙切。音昭。手呼也。見說文。詩邶風匏有苦葉。舟子。傳。號召之貌。

疏。號召必手招之。王逸云。以手曰。以口曰召也。又來之也。書說命。旁俊又。

又求也。漢書季布傳：「辯士曹丘生數○權顧金錢。」注：「○求貴人威權，因以請託也。」又冒也。孟子盡心：「既入其彗，又從而○之。」注：「○，羈其足也。」又祈堯切。音翹。舉也。國語周語：「齊國子立於淫亂之國，而好盡言以○人過，怨之本也。」按後漢書鍾皓傳：昔國武子好昭人過，以致怨。注：「昭者明著之辭，言好盡己之言，以明著人過也。字作昭，義兩通。」又揭也。莊子駢拇：「有虞氏○仁義以撓天下。」又時昭切。與韶同。史記五帝紀：「禹乃與九○之樂。」注：「卽舜樂。韶韶九成，故曰九○。」山海經大荒西經：「夏后開始歌九○於大穆之野。按本作大韶。」獨斷上：「舜曰大韶，一曰大○，亦作大馨。」周禮春官大司樂鄭注：「大馨，舜樂也，言其德能紹堯之道也。」又注：「九馨當讀爲大韶，字之誤也。」莊子至樂：「奏九馨以爲樂。」釋文：「馨一作韶。」

招 市昭切。音韶。樹搖貌。見說文。又市沼切。音紹。廣雅釋器：「浴牀謂之○。」玉篇中木部：「○，時招切。」淮南子：「死而棄其○簣，絡牀爲○。」按原文奔作弄，簣作責。今改。亦作招。淮南子說山：「死而棄其招簣，不怨人取之。」高注：「招簣，稱死者浴牀。」

上之極也。實讀功績之績也。」

押——押——押——神

押

烏甲切。音壓。署也。今人言文字○署是也。見「集韻」。唐書百官志「中書省舍人以六

員分○。尚書六曹。佐宰相判案同署乃奏。」又官名「唐書百官志」金吾天子○衙。」

又花○。「魏書崔玄伯傳」尤善草隸行○之書。為世摹楷。「按自寫其名。令人不能辨認。

俗稱花○。即古之行○也。」又簾○也。「歐陽修詩」枉將玳瑁雕為○。」又管領也。「唐

書百官志」朝會監察御史二人○班。」又檢○。與檢柙同。猶規矩也。「漢書揚雄傳」蠢

迪檢○。「顏注」檢○。猶隱括也。」本作檢柙。「後漢書仲長統傳」中世之選三公也。務

於清慤謹慎。循常襲故者。是婦女之檢柙。鄉曲之常人耳。」又與狎通。「漢書息夫躬傳」羽

檄重迹而○至。」注「相因而至也。」又與壓通。「韓愈詩」故將豪榭○城闔。」

押

試刃切。讀若申去聲。展也。○物長也。見「集韻」。又癡鄰切。與伸同。引戾也。見同上。

柶 轄甲切。音洽。檻也。以藏虎兇。見「廣韻」。「管子中匡」。「生縛管仲。而○以子齊」。又同

匣。「漢書佞幸董賢傳」。「珠襦玉○」。「莊子刻意」。「有干將之劍者。○而藏之」。又香

木名。「文選左思吳都賦」。「木則楓○豫章」。

柶 失人切。音申。「爾雅釋木」。「自斲曰○」。「容齋隨筆」。「木絕于申。故○字之訓爲自

斲」。

抽—柚

抽 救鳩切。音蓼。搯字重文。或從由引也。見「說文」。「莊子天地」。「挈水若○。其名爲棹」。

「釋名釋綵帛」。「柚。○也。○引絲端出細緒也」。「文選陸機文賦」。「思之之其若○」。

又拔也。除也。「詩鄭風清人」。「左旋右○」。「揚子方言」。「○讀也」。「詩鄘風牆有茨」。

「中葍之言。不可讀也」。「傳讀○也」。「按說文○作搯。古讀書亦作搯書」。「許慎說文敘」。

「漢尉律諷籀書九千字是也。此○字所由與搯通也」。「亦作柚」。「漢書谷永傳」。「燕見柚

繻。顏注。抽引其端緒也。〔廣韻十八尤〕。〇或作紬。紬引其端緒也。又通作由。〔書立政〕。克由繻之。〔按由繻與紬繻同。〕

柚。爰救切。音右。果名。〔書禹貢〕。厥包橘。錫貢。傳。大曰橘。小曰〇。〔呂氏春秋本味〕

〔果之美者。有雲夢之〇。〕又夷周切。音由。竹名。〔文選左思吳都賦〕。〇梧有篁。亦

作由。〔齊民要術〕。引南方草木狀。由梧竹長三四丈。圍一尺八九寸。出交趾。又位六切。

音逐。杼。織具也。〔詩小雅大東〕。杼〇其空。〔後漢書劉陶傳〕。杼〇空於公私之求。亦作軸。〔三國志吳書賀邵傳〕。百姓羅杼軸之困。

拓一柘

拓。之石切。音隻。拾也。陳宋語。或作撫。見〔說文〕。〔文選張衡思玄賦〕。〇若華而躊躇。注。

〔〇猶折也。〕〔楚辭〕。日折若木以拂日。又他各切。音託。手承物也。見〔集韻〕。〔李山

甫詩〕。一〇織痕更不收。注。大曆四年。崇徽公主道汾州。以手掌〇石壁。遂有手痕。今靈

石有公主手痕碑。」又開也。廣也。「漢書揚雄傳」。「○迹開統」。「後漢書虞詡傳」。「開
○土宇」。「又」。「竇憲傳」。「恢○境宇」。「三國志魏書明帝傳」。「闡○洪基」。「晉書紀瞻
傳」。「六合闡○」。「又落○不拘謹貌」。「北史楊素傳」。「少落○有大志不拘小節」。「亦
作○落」。「晉書劉曜載記」。「性○落高亮與衆不羣」。「又○落猶言踳踳」。「漢書揚雄傳」
「何爲官之○落也」。「顏注」。「○落不耦也」。

柘

之夜切。音蔗。桑屬。見「說文」。「禮月令」。「季春命野虞毋伐柘○」。「又」。「投壺」。「矢以

○若棘毋去其皮」。「又與蔗同」。「文選司馬相如子虛賦」。「甘○巴苴」。「按漢書司馬相
如傳作諸○」。「史記」。「作諸蔗」。「漢書禮樂志」。「泰尊○漿析朝醒」。「楚辭招魂」
「膾鼈炮羔有○漿些」。「王注」。「取諸蔗之汁爲漿飲也」。「洪補注」。「曰○一作蔗」。「按宋史
樂志飲之不煩。又有蔗漿」。「杜甫詩」。「飽食不須愁內熱。大官還有蔗漿寒」。「柘蔗同音通
用。」

拾—恰

拾

郎丁切。音零。手懸捨物也。見「玉篇手部」。

恰

古憐字。「管子侈靡」。「愛氣」注。「愛〇之氣」。「楚辭九懷通路」。「惆悵兮自〇」。

拘—枸

拘

恭于切。音駒。止也。見「說文」。又執也。「易隨卦」。「〇係之」。「書酒誥」。「盡執〇以歸于周」。又曲礙也。「漢書司馬遷傳」。「使人〇而多畏」。又居侯切。音鈎。擁也。「禮曲禮」。「必加帶於箕上。以袂〇而退」。又同句。曲也。「荀子哀公」。「魯哀公問舜冠於孔子。孔子對曰。古之王者。有冒而〇領者矣。」（按尚書大傳略說作句領。）又「宥坐」。「夫水其流也埤下。裾〇必循其理。似義」。楊注。「〇讀爲鈎。曲也」。又求於切。音渠。「莊子達生」。

「吾處身也。若櫟株〇」。

枸

俱羽切。音矩。木名。見「說文」。『詩小雅南山有臺』。『南山有〇』。『史記西南夷傳』。『蜀出〇醬』。索隱。『劉德云。〇樹如桑。其椹長二三寸。味酢。取其實以為醬。美』。亦作蒟。『文選左思蜀都賦』。『蒟醬流味於番禺之鄉』。又古后切。音苟。『爾雅釋木』。『〇櫬』。郭注。『今〇杞也』。疏。『一名苦杞。一名地骨。服之輕身益氣』。又居侯切。音鈎。『文選宋玉風賦』。『枳〇來巢』。李注。『〇曲也。橘屈曲也』。亦作枳椇。『古今注草木六』。『枳椇子一名樹蜜。一名木饒。實形拳曲。花在實外。味甜美。如餠蜜』。又作積楸。『說文禾部』。『積楸。木也』。『繫傳』。『積楸。曲曲不伸之意也。積楸之果。其狀詰屈。亦取此為名』。又訛作稽楸。『急就篇』。『沽酒釀醪稽楸程』。『按枳枸之枸。說文讀古侯切。字與棋通。仍以讀俱羽切為是。稽楸即積楸之誤。形相近也』。又恭于切。音拘。『揚子方言』。『〇篋。車弓也。自關而西。謂之〇篋』。

移——移——移

移

丑豸切。讀若禡。上聲。與禡同。亦作地。析也。見「集韻」。又去也。『莊子庚桑楚』。『介者〇

畫外非譽也。」注。「介者別人畫文采之飾也。貌既虧殘。故○而棄之。」

移 余之切。音移。棠棣也。見「說文」。「爾雅釋木」。「棠棣○」。郭注。「樹似白楊。江東呼夫○」。

（按廣韻五支作扶○）。又○中監。漢官名。「漢書蘇武傳」。「○中監蘇武留單于庭十九年。乃還。」又○楊木名。見「古今注」。又播○亦木名。見「林邑記」。

移 余支切。音匪。不相倚○也。見「說文」。又遷也。「書多士」。「○爾遐遜」。又轉也。「管

子地數」。「伊尹善通○輕重」。又延也。「禮大傳」。「絕族無服」。疏。「在旁而及曰○。

言不延○及之」。又官文書也。「後漢書光武紀」。「於是致僚屬作文○」。注。「文書○於

屬縣」。又敬余切。音修。「禮表記」。「衣服以○之」。注。「○讀如水汜○之○。猶廣大也」。

又以鼓切。音異。「禮郊特牲」。「以○民也」。注。「○之言羨也」。疏。「以蜡祭豐饒。皆醉飽

酒食。使人歆羨也。」

格——格

格

古伯切。音格。擊也。又鬪也。止也。見《說文》。《三國志魏書任城王傳》：「手○猛獸。」《荀

悅漢紀孝武紀六》：「主人公○鬪死。」《按漢書武五子傳作格》。《易林》：「訟之豫。」《弱

雞無距與鵠○鬪。》又曷各切。音鶴。《集韻》：「根○牽引也。」《增韻》：「吳楚俗謂牽引

前卻為根○。」

格

古柏切。音隔。木長貌。見《說文》。又至也。《書堯典》：「○于上下。」又木也。《書舜典》

「○汝舜。」又《益稷》：「祖考來○。」又感通也。《書說命》：「○于皇天。」又窮究其

理也。《禮大學》：「致知在○物。」又登也。《書呂刑》：「乃命重黎。絕地天通。罔有降○。」

又法式也。《禮緇衣》：「言有物而行有○也。」又抵牾不入也。《禮學記》：「發然後禁。

則扞○而不勝。」又正也。《書回命》：「繩愆糾繆。○其非心。」又頑梗不服也。《荀子議

兵》：「服者不禽。○者不赦。」又敵也。《史記張儀傳》：「驅羣羊攻猛虎。不○明矣。」又

標準也。《後漢書傅奕傳》：「朝廷重其方○。」《晉書庾亮傳》：「風○峻整。」又《爾雅

釋詁》：「○陞也。」又資○。《唐書裴光庭傳》：「吏部求人。不以資考為限。所獎拔惟其才。

光庭懲之。乃爲循資○。又古落切。音各。樹枝也。見「集韻」。史記律書「角者言萬物皆有枝○如角也。」又「司馬相如傳」。「夭蟺枝○」。又銅○也。炙火其下。令罪人行其上。謂之炮○。「漢書谷永傳」。「榜箠瘡於炮○」。顏注。「炮○紂所作刑也。」按史記殷紀周紀並訛作炮烙。又燔肉之器。亦稱炮○。「韓非子喻老」。「紂爲肉圃。設炮○」。又阻○也。「史記梁孝王世家」。「竇太后議○」。注。「如淳曰。絞閣不得下」。又「淮南王安傳」。「廢○明詔」。按漢書作○明詔。顏注。「○音閣。謂被閣不行之」。又杙也。「莊子胠篋」。「削○維落置罟之知多。則獸亂於澤矣」。文選左思吳都賦「峭○周施」。又○五角戲名。「漢書吾丘壽王傳」。「以善○五召待詔」。又作假。「詩商頌那」。「湯孫奏假」。釋文。「假鄭作○升也」。又「烈祖」。「謾假無言」。釋文。「謾鄭音○至也」。按禮中庸引詩作奏假。「晏子春秋外篇」。「引詩作奏謾」。又與革通。「後漢書霍譖傳」。「幽靈感革。天應枯旱」。按卽感○。

根

根

胡恩切。音痕。急引也。見「集韻」。『增韻』「吳楚俗謂牽引前卻爲○格」。『唐書裴度傳』

「爲姦儉○抑」。又「崔威傳」「裴度自表求覲。李逢吉悉力○卻之」。『朱子語類』漢

書引「繩排○不附已者。今人誤讀○爲根。○格猶云抵拒擔閣也。引繩排○。如以繩扞拒然。」

根

古痕切。音跟。木株也。見「說文」。『左傳隱六年』「如農夫之務去草焉。絕其本○。勿使能

殖」。『漢書敘傳』「形氣發於○。抵兮」。『文選何劭游仙詩』「○。抵無雕落」。『管子地

形』「地者。萬物之本原。諸生之○苑」。『三國志蜀書蔣琬傳』「今魏跨帶九州。○。蕃滋蔓」。『

大戴禮少間』「凡草木○。斲傷。則枝葉必偏枯」。又金○。車名。『後漢書輿服志』「天

子車金○」。又竹○。杯名。『庾信報惠酒詩』「山杯捧竹○」。又門之鋪首銅鑲。曰倉琅

○。『漢書五行志』「木名倉琅○」。又天○。氏星也。『左傳桓十四年』「天○。見而水涸」。『

又雲○。山名。『宋孝武登作樂山詩』「積水溺雲○」。又○。據盤踞之義。謂如植物之託

根於地也。〔漢書霍光傳〕「黨親連體。○據於朝廷。」又○究。尋究也。〔宋無詩〕「○究嬰兒後。參同混沌初。」又○嗣。猶言苗裔。〔漢故相小史夏堪碑〕「零陵太守之○嗣也。」

又根字之訛。〔漢書灌夫傳〕「及資嬰失勢。亦欲倚夫引繩排○。生平慕之後棄者。」注。〔孟康曰。○者。○格。引繩以彈排擯○格之也。師古曰。言嬰與夫共相提挈。有人生平慕嬰夫。後見其失職。而頗慢弛如此者。共排退之。不復與交。譬如相對挽繩。而○格之也。今吳楚俗猶謂牽引前卻爲○格。宋初曰。○格二字。疑皆從手。〕〔按史記作批。○當作排根。格字并當作格。見根字注。〕

挺——挺

挺 式連切。音羶。長也。見〔說文〕。〔晉書食貨志〕「○亂江南。」又取也。〔揚子方言〕「凡

取物而逆。楚或謂之○。」又遁也。〔賈誼治安策〕「主上有敗。則因而○之矣。」

挺 徒鼎切。讀若庭。上聲。拔也。見〔說文〕。〔漢書師丹傳〕「○力田。」注。〔特拔異力田之人。

優寵之也。〕〔晉書宣帝紀論〕「以天○之資。應期受命。」又寬也。〔禮月令〕「仲夏○

重囚。又引也。〔漢書劉屈氂傳〕「○身逃。」注「獨引身而逃難也。」又他鼎切。讀若廳上聲。直也。〔漢書蓋寬饒傳〕「君子直而不○。」又荔。○香草名。〔禮月令〕「荔○出。」又與庭通。十庭爲束也。〔儀禮鄉飲酒禮〕「薦脯五○。」注「○猶臠也。」

摠——摠

摠 蘇叢切。音摠。手進物也。見〔集韻〕。又祖動切。同摠。俗作摠。摠非。

摠 苦骨切。音窟。〔廣雅釋詁〕「○擊也。」〔揚子方言〕「南楚相推搏曰○。」

摠 祖動切。本作摠。〔玉篇手部〕「○將領也。」又兼持也。〔禮樂記〕「冕而○于。」又

結也。〔楚辭離騷〕「○余鬱乎扶桑。」

提——隄——堤——提

提 田黎切。音題。挈也。見〔說文〕。〔詩大雅抑〕「言○其耳。」〔禮曲禮〕「○者當帶。」

又舉也。「漢書東方朔傳」：「舉籍阿城以南，盤屋以東，宜春以西。」○封頃畝。「顏注」：「○封，亦謂○舉四封之內，總計其數也。」（按○亦作堤，廣韻五支堤字注，堤封頃畝，漢書作○，顏師古曰：「○封者，大舉其封疆也。」）又攝○，星名，見「史記天官書」。又挾○，著名，見「禮曲禮注」。又嬰孩可○，挈者曰孩○。「孟子盡心」：「孩○之童。」「漢書賈誼傳」：「孩○有識。」（按顏氏家訓作咳唵。）又佛道之覺悟曰菩○。「金剛經」：「須菩○於意云何。」又僧寺別名拓○。「翻譯名義」：「拓○者，楚言拓闢○，奢華言四方生物也。後魏創立伽藍，爲拓○境。後人傳寫，以拓爲招，止稱招○。」「謝靈運山居賦」：「建招○於幽峯，冀振錫之息肩。」自注：「招○，謂僧不能常住者，可持作坐處也。」「杜甫詩」：「已從招○游，更宿招○境。」又辰之切音時，朱○，縣名，出善銀。「漢書食貨志」：「朱○銀重八兩爲一流。」又常支切，音匙，鳥羣聚貌。「詩小雅小弁」：「弁彼鸞斯，歸飛○○。」又大計切，音第，擲也。「史記絳侯世家」：「太后以冒絮○文帝。」「戰國策秦策」：「侍醫夏無且以其所奉藥囊○荆軻。」又杜奚切，通媵○○，安謐也。「詩魏風葛屨」：「好人○○。」又通題，屋椽之端曰椽題。「史記仲尼弟子

傳正義引「韓詩外傳」云「堂高九仞，榱○三尺。」

隄 都黎切。音低。防也。與堤同。「禮月令」。「修利○防」。「史記封禪書」。「河溢臯陸○繇不

息」。又橋也。「爾雅釋宮」。「○謂之梁」。注。「即橋也」。又○上。春秋周地。見「左傳昭

二十六年」。又高○平○。漢縣名。見「漢書地理志」。

堤 都奚切。音氏。物之下安者曰○。「淮南子詮言」。「瓶甌有○」。又勻規切。音畦。沐○。郡名。

見「集韻」。又大○。地名。在襄陽。「韓愈送李遜赴襄陽詩」。「風流峴首客。花豔大○倡」。

又典禮切。音底。滯也。樂土過水曰○。亦作底。

禔 章移切。音支。福也。安也。「漢書司馬相如傳」。「中外○福」。「按史記作提福」。又烝夷

切。同禔。「史記韓長孺傳」。「○取辱耳」。注。「○一作祗」。「按祗○古通。易復卦。無祗悔。王肅

陸續本作○悔。是其證。」

摩—麾

摩

眉波切音磨。研也。見說文。易繫辭。剛柔相。禮學記。相觀而善之謂。

又迫也。後漢書董卓傳。乘金華青蓋。時人號竿。車言其服飾近天子也。戰國秦

策。於是乃燕鳥集闕。見說趙王於華屋之下。又按醫術名。素問血氣形志論。

治之以按膠藥。又孟子梁惠王。為長者折枝。趙注。折枝案。又滅也。

陳之東鄙曰。見揚子方言。又戰國秦策。簡練以為揣。又登梵語。華言淫也。

楞嚴經。釋迦徒弟阿那。遇登伽女。攝入淫室。將毀戒體。注。登伽名鉢吉帝。淫女

也。又男子稱登伽。女子稱登祇。注。淫男淫女也。

麾

吁為切音攜。旌旗之屬。所以指也。見玉篇。三國志魏書夏侯淵傳。大破韓遂軍。

得其旌。史記淮陰侯傳。雖有舜禹之智。吟而不言。不如瘖聵之指也。荀子成

相。呂尚招殷民懷。楊注。指揮也。亦作揮。抱朴子擢才。儀蕭曹之指揮。

又作攜。後漢書皇甫嵩傳。指攜足以振風雲。注。攜即麾字。古通用。

標一標

標 婢小切。讀若瓢。上聲。擊也。見「說文」。又「爾雅釋詁」：「○蓋落也。」又拊心貌。「詩

邶風柏舟」：「寤辟有○。」又紕招切。音漂。亦擊也。「左傳哀十二年」：「長木之斃。無不○也。」又卑遙切。音飄。麾也。「孟子萬章」：「○使者出諸大門之外。」「公羊傳莊十三年」

「曹子○劍而去之。」又刀末曰○。「漢書谷永傳」：「當陽數之○季。」顏注：「言○末之季世也。」又「王莽傳」：「及至青戎○末之功。」

標 卑遙切。音森。木末也。見「集韻」。「管子霸言」：「大本而小○。」「淮南子天文」：「物類

相動。本○相應。」又高枝也。「莊子天地」：「上如○枝。」又表也。「禮投壺」：「司射請

為勝者樹○。」「文選孫綽遊天台山賦」：「赤城霞起而建○。」注：「建○立物以為之表識也。」又「遊天台山賦序」：「名○於奇紀。」注：「○書也。」又○置位置也。「晉書劉惔傳」：「惔以第一流高自○置。」「世說德行」：「李元禮高自○持。欲以天下名教是非為己

任。〔按後漢書孝桓紀訛作○特。名教作風教。〕

忼——忼

忼

五換切。音玩。貪也。見〔說文〕。〔左傳昭元年〕。〔趙孟主民。○歲而惕日。〕疏。〔○惕。皆貪也。言貪翫歲日也。蓋貪生之意。〕〔國語晉語〕。〔今○日而澌歲。怠偷甚矣。〕章注。〔○偷也。澌。遲也。〕

杭

苦朗切。讀若康上聲。慨也。見〔說文〕。又感傷也。〔漢書高帝紀〕。〔乃起舞。○慨傷懷。泣數行下。〕又意氣感激不平也。〔漢書司馬遷傳〕。〔而沉於○慨之士乎。〕〔晉書夏統傳〕。〔子路見夏南。憤恚而○慷。〕

思——恩——恩

思

息茲切。音司。睿也。見〔說文〕。〔書洪範〕。〔○曰睿。〕又念也。慮也。釋理爲○。見〔六書

總要。「易繫辭」：「天下何○何慮。」漢書揚雄傳：「輟而覃○。」又「劉向傳」：「專積○於六經。」文選蘇武詩：「惟念當離別，○情日以新。」注：「良曰，念離別之後，相○之情，日新也。」辭源詁作恩情。又願也。「詩大雅文王」：「○皇多士。」箋：「○願也。」正義：「以意之所○，必情之所願。」又道德純備謂之○。「書堯典」：「欽明文○安安。」按後漢書鄧皇后紀注引尚書考靈臞，作文基晏晏。又謀慮不愆曰○。見「逸周書諡法解」又語已辭。「詩周南喬木」：「不可休○。」又「大雅抑」：「神之格○，不可度○，矧可射○。」又語起辭。「詩大雅○齊」：「○齊大任。」又「魯頌泮水」：「○樂泮水。」又相吏切。音四。「文選揚雄甘泉賦」：「儲精垂○。」又憂也。「詩小雅雨無正」：「鼠○泣血。」按亦作里。十月之交，悠悠我里。傳：里病。雲漢云：如何里箋。里憂。並與○字通。爾雅釋文引舍人注云：癯瘡，皆心愛憊之病。說文：心部，悝字注：一曰病也。是正文作瘡，通作悝。里爲省字。○則詛字也。又桑才切。音肥。多鬚貌。「左傳宣二年」：「宋城者謳曰：于○于○。棄甲復來。」

恩 烏痕切。音蔥。惡也。從心因聲。徐曰：因心爲○。見「說文」。「漢書司馬相如傳」：「湛○濛濛。」

「文選曹植七啓」：「然主上猶以沈○之未廣，懼聲教之未厲。」
「文選蘇武詩」：「結髮爲夫妻，○愛兩不疑。」又「曹植詩」：「與君初定情，結髮○義深。」
又叶衣延切。香烟，「後漢書文苑趙壹傳，窮鳥賦」：「鳥也雖頑，猶識舊○。內以書心，外以告天。」

愬 音聰，急也。「晉書王彪之傳」：「無故○。先自猖獗。」

恨—愬

恨 胡良切。音根。怨也。從心艮聲。一曰怨之極也。見「說文」。「漢書杜鄴傳」：「內無感○之隙。」

（按即憾○。）「管子版法」：「無憾○之意。」
「三國志蜀書劉巴傳」：「巴不得反，使遂遠適交趾。先主深以爲○。」
又悔也。「史記李將軍廣傳」：「羌降者八百餘人，吾詐而盡殺之。至今大○。」
又猜也。「文選鮑昭白頭吟」：「何慙宿昔意，猜○坐相仍。」
（按廣雅釋詁：慙○也。猜，慙古通用。）
見「一切經音義三」：「正字通」：「○與憾聲義微別。憾意淺，○意深。憾音輕，○音重。」

愼 力讓切。音亮。○。惆悵也。〔文選蘇武詩〕「○○不能辭。」又〔班彪北征賦〕「遊子悲其故鄉兮。心愴○以傷懷。」〔按廣雅釋詁。曉曉。悲也。與愴○同。〕又眷眷也。〔後漢書陳蕃傳〕「天之於漢。○○不已。」〔三國志蜀書法正傳〕「願念宿遇。瞻望○○。」

愼—滔

愼 他刀切。音滔。說也。從心。滔聲。見〔說文〕。又慢也。〔書湯誥〕「無卽○淫。」〔國語魯語〕「夜傲百工。使無○淫。」又久也。〔詩豳風東山〕「○○不歸。」又疑也。〔左傳昭二十七年〕「天命不○久矣。」〔按文選張衡西京賦引。作不滔。左傳昭二十六年。又哀十七年。並作不滔。〕又藏也。〔左傳昭三年〕「以樂○憂。」又叶他侯切。音偷。過也。〔詩唐風蟋蟀〕「蟋蟀在堂。役車其休。今我不樂。日月其○。」

滔 土刀切。音叨。水漫漫大貌。見〔說文〕。〔書堯典〕「浩浩○天。」又流貌。〔詩齊風載驅〕「汶水○○。」又水名。〔穆天子傳〕「庚辰。至于○水。」又九土之一。〔淮南子墜形〕

「南戎州曰○土。」又徒刀切。音陶。聚也。「莊子田子方」○乎前而不知其所以然。」又
慢也。與愔通。「左傳昭二十六年」○士不濫官不○。」

慄—慄

慄 力質切。音栗。懼也。見「爾雅釋詁」。「書大禹謨」○夔夔齊○。」又慄○。悽愴貌。「楚辭

宋玉九辯」○慄○兮若在遠行。登山臨水送將歸。」通作慄○。「漢書外戚孝武李夫人傳

悼李夫人賦」○慄○不言。」

慄 相玉切。音粟。詭隨也。見「類篇」。「玉篇上心部○字注」○慄承上顏色也。「廣韻

呢字注」○楚詞云。呢訾○斯。王逸謂承上顏色也。「文選屈原卜居」○作慄斯。「楚辭」作

粟斯。(按○慄雙聲。與呢訾啞啞突梯滑稽同。文選作慄。楚辭作粟。並字形之誤。)

斤—斤—斥

斤

舉欣切。音筋。斫木也。見「說文」。又權輕重之器。「漢書律曆志」：「○者明也。十六兩成

○者。四時乘四方之象也。」又居歛切。音靳。明察也。「詩周頌執競」：「○○其明。」

斤

古文斗字。見「字彙補」。

斥

昌石切。音尺。逐也。遠也。見「廣韻」。「史記淮南王安傳」：「王使郎中令○免。欲以禁後。」

正義：「言屏○免郎中令官。而令後人不敢效也。」「後漢書陳蕃傳」：「宗族門生故吏。皆○

免禁錮。」又鹽池曰○。「書禹貢」：「海濱廣○。」（按史記夏紀作渴。）「荀悅漢紀孝文

紀」：「除山川坑○城池邑居園圍街路三千六百井。」（按漢書刑法志作沈○。）又指也。

「後漢書孔融傳」：「擬○乘輿。」又度也。偵度敵情者曰○候。「漢書賈誼傳」：「○候望

烽燧不得臥。」又○土。墉土也。「漢書惠帝紀」：「視作○土者將軍四十金。」又「張湯傳」

「治方中。」注：「蘇林曰：天子豫作陵。諱之。故言方中。或言○土。」又充○多也。「左傳襄三

十一年」：「寇盜充○。」注：「充滿○見言其多。」又廣也。「史記司馬相如傳」：「除邊關

之益○。」

𦉳—𦉳—𦉳

𦉳 補縮切。音版。大也。見「說文」。「詩大雅卷阿」。「爾土字〇章」朱注。「〇章大明也。或曰

〇當作版。版章猶版圖也。」又普版切。音版。人名。「左傳襄二十二年」。「鄭游〇將如晉」

居韋切。音駝。與歸同。〇依佛家語。「李旛禪房聞梵詩」。「頓令心地欲〇依」

𦉳 普班切。音攀。多白眼也。見「說文」。「正字通」。「膜侵睛謂之〇睛」

𦉳—𦉳

𦉳 呼骨切。音忽。尙冥也。見「說文」。「漢書郊祀志」。「〇爽」顏注。「謂日尙冥。蓋未明之時

也。」又「敘傳」。「〇昕寤而仰思兮」。「按古文苑蔡邕青衣賦。𦉳昕將曙。雞鳴相催。從勿誤。」

𦉳 莫佩切。音妹。目冥遠視也。見「說文」。「廣雅釋訓」。「〇〇視也」又荒〇。恍惚也。「古

文苑劉歆遂初賦」。「飄寂寥以荒〇」又莫八切。音儻。視也。見「集韻」

昧—昧—昧

昧

莫佩切音妹。爽且明也。一曰闇也。見《說文》。《易屯卦》。《天造草》。《書堯典》。《宅

西》曰。谷。又《太甲》。先王。爽丕顯。《廣雅釋訓》。〇〇。暗也。《史記司馬相

如傳》。阻深闇。得耀乎光明。《晉書文苑成公綏傳》。何一元之芒。又《阮种

傳》。臣誠蒙。所以為罪。《後漢書蔡邕傳》。親曖之利。又《清河孝王慶傳》。冒

〇于諱。

昧

音同上。目不明也。見《說文》。《左傳僖二十四年》。目不別五色之章為。〇。

昧

莫撥切音末。目不明也。見《說文》。又彌列切。同蔑。地名。《公羊傳隱元年》。公及邾儀

父盟于。〇。《春秋》作蔑。又巨。〇。水名。《水經注》。巨洋水。袁宏謂之巨。〇。王韶之謂之

巨蔑。〇。又人名。《公羊傳文七年》。晉先。〇。以師奔秦。《春秋》作先蔑。

皖——皖——皖

皖

戶管切。音浣。縣名。〔後漢書馬援傳〕「攻沒○城」注。○。縣名。屬廬江郡。

皖

戶版切。讀若還上聲。明星也。見〔廣韻〕。又胡官切。音桓。地名。在舒。〔宋史黃庭堅傳〕「初

遊灊○。樂其林泉之勝。」注。〔灊山一名○公山。〕

皖

戶版切。音莞。大目也。見〔說文〕。又實貌。〔詩小雅杕杜〕「有○其實。」又明星貌。〔詩

小雅大東〕「○彼牽牛。」又美好貌。〔禮檀弓〕「華而○。大夫之簣與。」〔詩邶風凱風〕

「眼○黃鳥。」傳。〔好貌。〕又○○。窮視貌。〔莊子天地〕「○○然在纏繳之中。而自以為

得。」又蝸○。目疾也。〔淮南子俶眞〕「夫樗木色青翳。而羸瘡蝸○。此皆治目之藥也。」〔按

太平御覽鱗介部。引作蝸睨。羸下有蠶字。〕注。〔蠶。細長螺也。〕

晴——睛

晴 疾盈切。音情。雨止也。見「玉篇」。「荀悅漢紀孝武帝紀」。「天○晏然無雲」。「北史孝行

皇甫遐傳」。「晴霽則營墓」亦作醒。「漢書天文志」。「天醒而見景星」。「史記天官書」

「作天精」又作天清。見「漢紀孝成帝紀」又作天星。見「春秋繁露止雨」

睛 咨盈切。音精。目珠子也。見「玉篇」。「三國志吳書孫皓傳」。「歸命侯橫○逆視」。「師曠

禽經」。「鳩鵲○交而孕」。「韓愈月蝕詩」。「念此日月者。為天之眼○」

睽——睽——睽

睽 去圭切。音恢。違也。「梁何遜詩」。「一朝異言宴。萬里就○違」

睽 苦圭切。音奎。目不相視也。見「說文」又異也。「宋史沈起傳」。「內自○疑」又張目

貌。「韓愈鄆州谿堂詩」。「萬目○○」又楚邑名。「左傳僖二十七年」。「楚子使子文治

兵于○」

睽 渠龜切。音葵。「集韻」。「臙○醜也」。「淮南子修務」。「噉○哆囁。籛條威施。雖粉白黛黑

弗能爲美者。嫫母。卮。惟也。

瞳—瞳—瞳

瞳 他東切。音通。○瞳。日欲明也。見「說文」。○文選陸機文賦「情○瞳而彌鮮」。注「○瞳。

欲明也。」又「正韻」徒紅切。音同。或作眈。

瞳 徒紅切。音同。月初出也。見「集韻」。○文選潘岳秋興賦「月○瞳以含光兮」。注「○瞳。

欲明也。」○韓愈謁衡嶽廟詩「星月掩映雲○瞳。」

瞳 徒紅切。音同。目珠子也。見「玉篇目部」。○史記項羽本紀贊「舜目蓋重○子。又聞項羽

亦重○子。」○淮南子修務「舜二○子。是謂重明。」又無心直視之貌。「莊子知北遊」

「女○焉如新生之犢。」

矚—矚

曬 所寄切。音曬。暴也。見「說文」。「漢書景十三王傳」。「臣聞白日○光。幽隱皆照。」又「宣

帝紀」。「薄室」顏注。「取暴○為名耳。」「揚子方言七」。「膊○晞。暴也。暴五穀之類。秦晉

之間謂之○。」又「方言十」。「晞○乾物也。揚楚通語也。」「顏氏家訓書證」。「暴○

字與暴疾字相似。惟下少異。」又所賣切。音齷。暴乾物也。見「玉篇」今讀承之。

曬 所綺切。音曬。視也。見「玉篇」。「中論通塞」。「登峯而長○。」「張淵觀象賦」。「○目八

荒。」「文選謝惠連詠牛女詩」。「瞬目○會穹。」又所蟹切。音灑。亦視也。「後漢書馬融傳」

「目○鼎俎。」又鄰知切。與離同。「集韻五支」。「○瞽。古明目者。孟子作離婁。」

盼—盼—盼

盼 逋還切。音班。通作頰。布也。賜也。「禮王制」。「名山大澤不以○。」注。「○讀為班。」

盼 匹稠切。讀若攀去聲。目黑白分明也。見「玉篇」。「詩衛風碩人」。「美目○兮。」又顧也。

「宋書謝晦傳」。「同破齒○。」「文選宋玉神女賦」。「目若微○。精彩相接。」又符分切。

音汾。隣。○天且欲明也。〔楚辭九懷昭世〕「進隣○今上丘墟。」又人名。〔史記楚世家〕

「齊將田○子。」〔戰國魏策〕「犀首田○欲得齊魏之兵以伐趙。」

盼 胡計切。音係。恨視貌。見〔說文〕。〔三國志魏書許褚傳〕「褚瞋目○之。」又勤苦貌。〔孟

子滕文公〕「使民○○然。將終歲勤動。而不得養其父母。」

朕——朕

朕 直稔切。音隹。我也。見〔說文〕。〔爾雅釋詁〕「○。我也。」注。〔古者貴賤皆自稱○。〕疏。〔大

禹謨云。帝曰。○宅帝位。禹曰。○德罔克。屈原亦云。○皇考曰伯庸。秦始皇二十六年。定為至尊之

稱。漢因不改。以迄于今。〕又丈忍切。音紉。〔周禮冬官考工記函人〕「既其○。欲其直也。」

注。〔○。謂革制。〕又朕字之訛。〔史記秦始皇紀〕「天子稱○。固不聞聲。」索隱。〔一作固

聞聲。言天子常處禁中。臣下屬望。纔有兆○。聞其聲耳。不見其形也。〕〔淮南子俶眞〕「欲與物

接。而未成兆○。」

睽 丈忍切。讀若陳上聲。目精也。見「說文」。「周禮春官」。「瞽矇」鄭注。「無目○謂之瞽。有目○而無見。謂之矇。」「新序雜事一」。「師曠侍坐。平公曰。子生無目○。甚矣子之墨墨也。」「廣韻十六軫○字注」。「吉凶形兆。謂之兆○。」亦作莫○。「列子黃帝」。「壺子曰。向吾示之以太沖莫○。」（按莊子應帝王作莫勝。）

次一 次

次 七四切。音飲。○第也。凡言等第自上而下。皆曰○。「左傳襄二十四年」。「太上有立德。其○有立功。其○有立言。」又師止曰○。「書泰誓」。「惟戊午。王○于河朔。」又官○。「書胤征」。「畔官離○。」「左傳襄二十三年」。「恪居官○。」又凡舍皆曰○。「左傳襄二十六年」。「師陳焚○。」杜注。「○舍也。焚舍示必死。」又安行旅之處為旅○。「易旅卦」。「旅即○。」又幄也。「儀禮士冠禮」。「賓就○。」鄭注。「○門外更衣處。必帷幕簞席為之。」又星之躔舍也。「禮月令」。「日窮于○。」又中也。「莊子田子方」。「喜怒哀樂。不入於胸

○。又急遽苟且之時曰造。後漢書吳漢傳：「漢為人質厚少文，造不能以辭自達。」亦作草。春秋隱四年杜注：「遇者，草之期，二國各簡其禮，如道路相逢者然。」疏：「草，猶造也。」又通。陸津私切音咨。易夫卦：「其行且。」又通刺。史記酷吏杜周傳：「內深骨。」

次 徐連切音啞。今作涎。慕欲口液也。見說文。揚子方言：「繫裕謂之襜。」郭注：「即小兒衣也。」廣雅釋器：「繫裕，襜衣也。」按衣，今俗謂之圍襜。著小孩頸之下，胸之前，所以承潑唾者。凡羨字盜字進此。

欸——款——欸

欸 於開切音哀。訾也。一曰然也。見說文。揚子方言：「○欸，然也。南楚凡言然者，曰○。或曰欸。」按一切經音義引蒼頡篇作啞訛。又歎聲。楚辭九章涉江：「○秋冬之緒風。」又倚亥切。讀若哀上聲。○乃，棹歌聲也。柳宗元詩：「烟銷日出不見人，○乃一聲山水綠。」

又作款。〔元結款乃曲序〕。〔大歷初，結爲道州刺史，以軍事詣郡，逢春水，舟行不進，作款乃曲，令舟子歌之，以取適於道路云。〕。〔程大昌演繁露〕。〔元次山款乃曲，殆舟人於歌聲之外，別出一聲，以互相其歌也。〕。〔按從矣從欠，俗款字。〕 亦作鶻。〔史灋湘詩〕。〔聞歌鶻乃深峽裏。〕 或作鶻迺。〔劉蛻詩集〕。〔有湖中鶻迺歌。〕

款

苦緩切。音款。意有所欲也。見〔說文〕。〔謝靈運詩〕。〔語往實〇然。〕注。〔〇然，謂如其所欲。〕 又誠也。愛也。〔漢書匈奴傳〕。〔懷〇誠之心。〕 又〔司馬遷傳〕。〔誠欲効其〇〇之愚。〕。〔晉書傅咸傳〕。〔苟明公有以察其慳〇言豈在多。〕 又叩也。〔史記商君傳〕。〔〇關請見。〕。〔呂氏春秋愛士〕。〔夜〇門而謁。〕 又〇曲。委曲也。〔後漢書光武紀〕。〔文叔少時謹，與人不〇曲，惟直柔耳。〕 又刻也。〔漢書郊祀志〕。〔鼎細小，又有〇識。〕 又緩也。〔後漢書馬援傳〕。〔御〇段馬。〕注。〔〇猶緩也。〕 又空也。〔爾雅釋器〕。〔鼎〇足者謂之鬲。〕疏。〔〇者空也，言其足中空也。〕 又孔也。〔莊子達生〕。〔〇啓寡聞之夫。〕注。〔〇空也，啓，開也，如空之開，所見小也。〕。〔按空與孔字同，今謂一孔小儒，本此。〕 又〇冬，奔名。〔西

京雜記「董仲舒對雨雹問。○冬花於嚴寒。」亦作款凍。「抱朴子廣譬」。「凝冰慘烈而不
能凋款凍之華。」又作穎凍。見「爾雅釋草」。

歎 思萃切。音崇。問也。見「玉篇」。(按字當從又作歎。說文。楚人謂卜問吉凶曰歎。玉篇入欠部。
誤。)

歐—毆—毆

歐 烏后切。音毆。今相承作嘔。吐也。見「說文」。「漢書嚴助傳」。「○泄霍亂之病。相隨屬也。」

「山海經海外經」。「薄魚一目。其音如○。」郭注。「如人○吐聲也。」又海外○絲之野。在大
踵東。有女子跪。據樹○絲。又烏侯切。音鷗。與謳同。氣出而歌也。見「廣韻」又刀名。「後
漢書袁紹傳」。「伏首○刀。」又「袁敞傳」。「○刀在前。棺絮在後。」又姓也。○冶子。古之
善鑄劍者。「吳越春秋闔閭內傳」。「干將者。吳人也。與○冶子同師。俱能為劍。」(按亦作區。
淮南子覽冥。區冶生而淳鉤之劍成。)

毆

曲紆切。音區。今作驅。逐也。〔周禮夏官方相氏〕「以索室○疫。」〔漢書主父偃傳〕「夫匈奴行盜侵○。所以爲業。天性固然。」又〔晁錯傳〕「○略畜產。」又行也。〔漢書韓安國傳〕「深入長○。」顏注。○與驅同。又〔賈山傳〕「馳○射獵。一日再三出。」又軍隊前行者曰先○。〔漢書郊祀志〕「前○失道。」

毆

於口切。音嘔。捶擊物也。見〔說文〕。〔北史楊汪傳〕「與人羣鬪。拳所○擊。無不顛踣。」〔按後漢書多訛作歐。孝明八王傳。歐擊吏人。〕又〔梁冀傳〕「歐擊吏卒。」並偏旁之誤。又〔廣韻四十五厚〕「毆。擊也。俗作歐。」

支——支——攴

支

章移切。音扃。去竹之枝也。從手持半竹。見〔說文〕。又庶也。〔詩大雅文王〕「本○百世。」傳。○子也。又持也。〔左傳定元年〕「天之所○。不可壞也。」又度也。〔晉書職官志〕「度○尙書。」又券也。〔韓愈寄崔立之詩〕「當如合分○。」注。今時人謂析產符

契爲分○帳。」又○離。殘缺也。「莊子人間世」「夫○離其形者。猶足以養其身。終其天年。又況○離其德者乎。」又十二○辰名。「皇極經世」「十干。天也。十二○地也。○干配天地之用也。」又析○國名。見「書禹貢」。又令○亦國名。「國語齊語」「制令○。」（按管子小匡作制洽○。）又鮮○。絹名。見「漢書司馬相如傳顏注」。又荔○。果名。「後漢書和帝紀」「南海獻荔○。」「文選左思蜀都賦」「側生荔○。」「干祿字書」「離○俗作荔枝。」又桃○。竹名。「文選左思蜀都賦」「靈壽桃○。」劉注。「桃○竹屬也。可以爲杖。」又與肢通。「易坤卦」「美在其中。而暢於四○。」又與掩通。「漢書司馬相如傳」「鮮○黃礫。」注。「鮮○即今梔子樹。」

支 普木切。音撲。小擊也。見「說文」。石經作攴。見「五經文字」。『集韻』或作撲朴。

攴 「正字通」「九經字樣攴。今依石經作○。與攴別。」郭忠恕佩觿「攴用○代攴。將无混无。若斯之流。便成兩失。」

敕—敕

敕

測革切。音策。擊馬也。見「說文」。與策通。見「類篇」。

敕

蓄力切。音勅。試也。見「說文」。「爾雅釋詁」：「○勞也。」注：「○者相約○也。亦為勞苦。」

「史記樂書」：「余每讀虞書至於君臣相○。」「漢書明帝紀」：「明○百寮。」「後

漢書光武紀注」：「漢制度曰：帝之下書有四。其四曰誠○。謂○刺史太守。」又謹也。「漢書

元后傳」：「不如御史大夫音謹○。」「後漢書馬援傳」：「猶為謹○之士。」

敲—敲

敲

口交切。音敲。橫槌也。徐曰：「從旁橫擊也。」見「說文」。又擊也。「左傳定二年」：「奪之杖

以○之。」「文選賈誼過秦論」：「執○扑以鞭笞天下。」注：「短曰○。長曰扑。」又「揚子

方言」：「楚凡棄物謂之○。」

敵

吉嶽切。音覺。與較通。〔戰國策中山策〕「司馬憲曰。臣願之趙。觀其地形險阻。人民貧富。君臣賢不肖。商○爲資。未可豫陳也。」〔按商○即商較。猶今言商略。晉書文苑伏滔傳。試商較而論之。是其理也。〕

數—數

數

所主切。音數。計也。見〔說文〕。〔詩小雅何人斯〕「心焉○之。」〔禮儒行〕「遽○之。不能終其物。悉○之。乃留。更僕未可終也。」又責也。〔左傳昭二年〕「使吏○之。」注。責○其罪。又色句切。音揀。算○也。計之有多少曰○。〔易繫辭〕「極○知來之謂占。」〔後漢書律曆志〕「隸首作○。」又色角切。音朔。頻○也。〔禮祭義〕「祭不欲○。○則煩。」〔論語顏淵〕「事君○。斯辱矣。朋友○。斯疏矣。」〔後漢書龐參傳〕「徭役煩○。」又蘇谷切。音速。〔禮樂記〕「衛音趨○煩志。」注。趨○讀爲促速。聲之誤也。〔史記賈生傳〕「淹○之度兮。語余其期。」〔集解〕「徐廣曰○速也。」又趨玉切。音促。細也。〔孟子梁惠王〕「○

罟不入洿池。」又所錄切。讀若松入聲。汲水疾也。「莊子天地」：「○如沃湯。」

歎 郎豆切。音漏。「集韻五十候○字注」：「○歎。小兒凶惡。」又「歎字注」：「○歎。凶蠱也。」

段—段—段

段 徒玩切。音緞。推物也。一曰分○也。帛二曰緡。分而未麗曰匹。既麗曰○。見「說文」。「文選張

衡四愁詩」：「美人贈我錦繡○。」又款○。緩也。「後漢書馬援傳」：「御款○馬。」又餞

○。戲劇名。「輟耕錄」：「餞○亦院本之意。但差簡耳。取其如火餞易明而易滅也。」「夢梁錄」

「雜劇先做尋常熟事一○。名曰盪○。」又蠻獠稱丈夫也。「北史蠻獠傳」：「獠無名字。以

長幼次第呼之。丈夫稱阿謨阿○。」又與嬾通。卯不成也。「管子五行」：「羽卯者不○。」

又與鍛通。鍊也。「周禮冬官考工記」：「○氏爲鑄器。」又通殿。脯也。「禮昏義」：「質明。贊

見婦於舅姑。婦執筭棗栗○脩以見。」「儀禮士昏禮」：「受筭○脩。」（按禮內則。郊特牲作

殿。穀梁傳莊二十四年作鍛。公羊傳作斷。）又殷字之訛。「漢書酷吏咸宣傳」：「楚有○中

杜少。(按史記酷吏楊僕傳作股中)「漢書藝文志易家」「京氏〇嘉十二篇」(按儒林傳京房授東海殷嘉作殷字是)

段 古馬切音賈借也見「說文」。「集韻三十五馬」「〇或作段」

段 何加切音遐「集韻九麻」「〇姓也春秋傳晉有〇嘉通作瑕」

戊 戊 戊 戊

戊 莫候切音茂十幹之中物皆茂盛也見「正韻」。「爾雅釋天」「歲在〇曰著雍月在〇曰厲」。「詩小雅吉日」「吉日維〇」朱注「〇剛日也凡外事用剛日」(按五代史梁開平元年改日辰〇字為武避諱也後人讀〇音為武其說由此)

戊 王伐切音越威斧也杖而不用明神武不殺也見「韻會」。「周禮夏官大司馬」「右乘〇」注「〇所以為將威也」又星名「漢書天文志」「東井西曲星曰〇」又傷成〇注「賊傷之占先成形於〇也」

戍

傷遇切。讀若輸去聲。守邊也。見「說文」。爾雅釋言「戍。遏也。」注「守所以止寇

賊。」詩王風揚之水「不與我○申。」又「小雅采芣」我○未定。靡使歸聘。」

戍

雪律切。音恤。滅也。九月陽氣微。萬物畢成。陽下入地也。見「說文」。爾雅釋天「太歲在

○曰闍茂。」史記天官書「闍茂歲歲陰在○。」

沈—汎

汎

居洧切。音軌。水厓枯土也。見「說文」。又側出泉曰○泉。爾雅釋水「○泉穴出。穴出

仄出也。」注「李巡曰。水旁出名曰○。」詩小雅大東「有冽○泉。」列子黃帝「○

水之滯爲淵。」後漢書黃憲傳「郭林宗過袁閔。不宿而退。或以問林宗。林宗曰。奉高之器。

譬諸○濫。雖清而易挹。」按後漢紀孝靈紀作汎濫。世說德行同。

汎

居里切。音已。水涯也。見「正韻」。

汎

汎

孚楚切。音汜。浮貌。一曰任風波自縱也。見《說文》。《詩·邶·風·柏舟》：「亦○其流。」《左傳·僖十三年》：「秦輸粟於晉，命之曰○舟之役。」《漢書·揚雄傳》：「馳江潭之○溢兮。」又浮泛也。《史記·韓非傳》：「○濫博文。」（按韓非子說難作米鹽博辯。）又《揚子方言》：「○剽，輕也。」又扶中切。音馮。亦浮也。《文選·司馬相如上林賦》：「○浮泛濫。」又扶法切。音乏。○澹，波急聲也。《文選·王褒洞簫賦》：「又似流波，泡澹○澹。」

汎

息音切。音信。灑也。見《說文》。《漢書·司馬相如傳》：「汎盡○掃前聖數千載功業。」《管子·弟子職》：「○拊正席，先生乃坐。」房注：「○拊，謂○水而拊之。」

汎

胡官切。音桓。○瀾，泣貌。《文選·陸機吊魏武帝文》：「涕垂睫而○瀾。」又《歐陽建臨終詩》：「揮筆涕○瀾。」亦作萑。《漢書·息夫躬傳》：「涕泣流兮萑蘭。」注：「臣瓚曰：萑蘭，泣涕闌干也。」

沆—沆—沆—沆

沆

愚衰切。音元。水名。出牂牁故且蘭。東北入江。見《說文》。《楚辭·九歌·湘夫人》：「○有芷兮。」

禮有闌。思公子兮未敢言。

沆

胡朗切。音航。莽。○大水也。見《說文》。《文選·張衡西京賦》：「顧臨太液。滄池濛○。」又

水深廣貌。《文選·左思吳都賦》：「瀕溶○濛。」又廣大貌。《文選·揚雄羽獵賦》：「鴻濛○。」

茫。《文選·左思吳都賦》：「瀕溶○濛。」又廣大貌。《文選·揚雄羽獵賦》：「鴻濛○。」

氣也。《東方朔七諫》：「含○○以長生。」又口浪切。音元。○碭。白氣也。《漢書·禮樂志·郊祀

歌》：「西顛○碭。」

沆

以轉切。音亮。水名。出河東東垣王屋山。見《說文》。《書·禹貢》：「道○水。東流為濟。」通

作亮。《釋名·釋州國》：「亮州。取亮水以為名也。」又作衍。《水經注》：「濟水東南注。分為

二水。一水東南流。俗謂之衍水。即○水也。衍○聲相近。」又作聯。《山海經·北山經》：「王屋

之山。聯水出焉。郭注。聯。聲相近。又作澗。玉篇。澗水出王屋山。又愈水切。讀若唯。溶。水流澗谷中也。文選。司馬相如上林賦。溶淫澗。又。水流貌。漢書禮樂志。四塞。

沈 于求切。音尤。水名。在高密。見集韻。又。文選。枝乘七發。魚鼈失勢。顛倒偃側。○。○。浚浚。蒲伏漣延。注。○。○。浚浚。魚鼈顛倒貌。

決—決

決 古穴切。音缺。水名。出廬江。婁縣南大別山。見水經注。又。行流貌。管子。君臣下。○。之則行。又。判也。禮曲禮。○。嫌疑。又以齒斷物也。禮曲禮。濡肉齒。乾肉不齒。○。又。別也。亦作訣。漢書蘇武傳。李陵與蘇武去。又。絕也。漢書司馬遷傳。不能引。○。自裁。又。開也。儀禮鄉射禮。袒。○。遂。又。曹。刑官也。後漢書黃昌傳。習文法。仕郡為曹。又。呼訣切。音血。疾飛貌。亦作決。莊子逍遙遊。起

而飛搶榆枋。」又苦穴切音闕與缺同。「史記秦始皇紀」：「譬猶騁六驥過隙也。」又涓惠切音桂。○驟疾貌。「莊子齊物論」：「麋鹿見之而驟。」

泱

於良切音央。滂也。雲起貌。見「說文」。又水深廣貌。「詩小雅瞻彼洛矣」：「維水○○。」

又盛大貌。「左傳襄二十九年」：「○○乎大風也哉。」（按史記齊世家作洋洋。）又烏朗切。○滂廣大貌。「漢書司馬相如傳」：「過乎○○之壑。」（按文選上林賦作○滂。）「後漢書馮衍傳」：「瞻河華之○○滂。」又湏。○水流疾貌。「文選郭璞江賦」：「湔湏○○。」又與英通。「文選潘岳射雉賦」：「天○○以垂雲。」

沐

沐

莫卜切音木。濯髮也。見「說文」。「詩衛風伯兮」：「豈無膏○○。」「後漢書濟北惠王壽傳」

「頭不枇○○。」又治也。「禮檀弓」：「夫子助之○○槨。」又潤澤之意。「後漢書明帝紀」：「冬無宿雪。春不煖○○。」又軼。○國名。「墨子節葬」：「昔者越之東有軼○○之國者。」（按

列子湯問作輒木。博物志作駭。○意林引列子作輒。○又細雨曰溟。○與霰霰通。○太玄經少。○上九。密雨溟。○潤于枯瀆。○

沫

食律切。音術。水名。出漢中房陵。東入江。見說文。○周禮夏官職方氏。○青州其浸沂。○又瀾。○喘啞貌。○揚子方言十。○瀾。○遑遑也。江湘之間。凡窘猝怖遽。謂之瀾。○

汨——汨——泊

汨

莫狄切。音覓。長沙。○羅淵。屈原所沈之水。見說文。○史記屈原傳。○於是懷石遂自投。○羅以死。○玉篇水部灑字注。○灑。水名。在長沙羅縣。○又古忽切。音骨。治也。○作書篇名。今亡。○孔安國尚書序。○帝釐下土方。設居方。別生分類。作。○作。○治。作興也。言治民之功與。故爲。○作之篇。○又通也。○國語周語。○決。○九川。○又亂也。○書洪範。○陳其五行。○又水聲。○文選木華海賦。○滋。○滋。○琴苑要錄。○伯牙心悲。延顛四望。但聞海水。○沒。山林宵冥。○又避暑錄。○今人言。○沒。當是浮沈之意。○杜甫

詩「○沒一朝伸。」蘇軾題跋「楊公凝式。可謂書之豪傑。不爲時世所○沒者。」又胡骨切。音摺。涌波也。「莊子達生」與齊俱入。與○僧出。「郭注」回伏而涌出者。○也。」

泊

子筆切。音颺。水流也。見「廣韻」。「楚辭九章懷沙」浩浩沅湘。分流○兮。又疾貌。「揚子方言」「○遙。疾行也。南楚之外曰○。或曰遙。」文選司馬相如上林賦「澤沸窆○。」

又鼓動貌。「文選揚雄甘泉賦」帷珊環其拂○兮。又淨貌。「文選王延壽魯靈光殿賦」「○磴磴以璀璨。」又○越。光明貌。「文選何晏景福殿賦」羅疏柱之○越。又與

骨通。「霏雪錄」骨董乃方言。初無定字。東坡嘗作骨董羹。晦庵語錄只作○董。今亦稱古董。字

（按骨○同音。古骨音之轉。或謂卽古銅之變音。韓駒詩。莫言衲子籃無底。盛取江南骨董歸。字作骨董。）

泊

白各切。音薄。止也。舟附岸曰○。見「廣韻」。「白居易詩」遇勝時停○。「庾信哀江南賦」「下亭漂○。」又恬靜無爲曰澹○。「老子」「○乎其未兆。」又飛走衆多曰紛○。

「文選張衡西京賦」「霰繚紛○。」又水波貌。「漢書禮樂志」「○如四海之池。」又

同薄。「論衡命祿」。「祿衰命○」。又「率性」。「稟氣有厚○」。又「匹陌切音拍漠○竹密貌本作嶼岫」。「文選王褒洞簫賦」。「密漠○以嶽嶽」。又泊柏小波也。「文選木華海賦」。「潤泊柏以池殿」。

泪——泊

泪 力遂切音類目液也見「廣韻」今作淚。

泊 具冀切音暨與漑通灌釜也見「說文」。又潤也。「管子水地」。「越之水重濁而○」。

又同暨及也。「莊子寓言」。「曾子曰吾及親仕三釜而心樂後仕三千鍾不○吾心悲」。「文選張衡東京賦」。「百僚師師於斯胥○」。又几利切音暨肉汁也。「左傳襄一十八年」。「去其肉而以其○饋」。

涎——涎

涎

徐連切音啞。古文作次。沫下垂也。引申為歆羨之義。〔柳宗元招海賈文〕「更笑迭怒垂○

閃舌兮。〔杜甫飲中八仙歌〕「道逢麴車口流○。通作涎。〔賈誼新書匈奴〕「一國

聞之者見之者垂涎而相告。又與涎同。迪○。迪邇相連貌。〔文選木華海賦〕「迪○八裔。〔

涎

徒鼎切音挺。波直貌。〔爾雅釋水〕「直波為徑。郭注言徑○也。又堂練切音電。○○。光

澤貌。見〔漢書五行志〕

凍——凍——凍——凍

凍

都籠切音東。水名。〔說文水部〕「○水出發鳩山入于河。〔山海經北次三經淮南子墜

形〕並作漳水。〔爾雅釋天〕「暴雨謂之○。注。江東呼夏月暴雨為○雨。〔廣韻

一東〕「瀧○沾漬。〔玉篇人部〕「儻○儻劣貌。又顛○草名。〔爾雅釋草〕郭注。

「顛○款○也。紫赤葉生水中。〔按即款冬。見本草〕

凍

妬甕切音棟。冰也。水因冷凝結也。〔古文苑劉歆遂初賦〕「薄涸○之凝滯兮。又冷也。

「左傳昭三年」 「三老○餒」 「國語齊語」 「君如加惠於臣使不○餒」 「荀子富國」 「百姓無○餒之患」 「釋名釋長幼」 「九十曰○梨皮有斑點如○梨色也」

煉 郎甸切。同練。煮絲絹熟也。見「玉篇水部」。 「周禮冬官考工記」 「榬氏○絲」。 又通煉。

「漢冀州從事郭君碑」 「服職鍛○」

煉 郎甸切。音練。鑠治金也。見「說文」。 「論衡談天」 「女媧氏銷○五色石以補蒼天」。 「盧

照鄰釋疾文」 「何煨○之如彼」。 又郎盱切。音彰。本作爛。或作爛。爛。見「集韻」。

淮——淮

淮 乎乖切。音懷。水名。出南陽平氏桐柏大復山。東南入海。見「說文」。 「釋名釋水」 「○圍

也。圍繞揚州分界。東至於海也」。 「左傳昭十二年」 「有酒如○。有肉如坻。寡君中此。為諸侯

師」。 (按○讀為淮叶韻。)

濯 取悔切。音瓘。深也。見「說文」。 「詩小雅小弁」 「有○者淵」。 又折貌。「文選傅毅舞賦」

「○以摧折。」又壞貌。「後漢書崔駰傳」。「王綱○以陵遲。」又涕垂貌。「文選陸機吊魏武帝文」。「指季豹而○焉。」又鮮明貌。「詩邶風新臺」。「新臺有洒。」韓詩作○。

涪——涪——涪

涪 去急切。音泣。「說文水部」。「○幽溼也。徐曰：今人言涪○也。」（按皮日休桃花賦：玉露厭

涪。又六書故涪泗淹溼狀，亦作涪，並即涪○倒文。）

涪 去急切。音泣。藁汗也。見「集韻」。「禮少儀」。「凡有○者不以齊。」又迄業切。音怯。又迄

洽切。音恰。義並同。

措 烏感切。庵上聲。藏也。手覆也。見「廣韻」。又烏紺切。音暗。掩也。見「集韻」。又於咸切。豔

平聲。「揚子方言」。「○滅也。荆楚曰○。」

榮——榮——榮

滎

戶扇切。音螢。絕小水也。見「說文」。又水名。「周禮夏官職方氏」：「豫州其川○滎。」

又縣名。「史記范雎傳」：「王下兵而攻○陽。則鞏成臯之道不通。」又媯營切。音滎。○滎。汲

浪涌起貌。「文選郭璞江賦」：「漩澗○滎。」

燐

懸扇切。音螢。屋下燈燭光也。見「說文」。「漢書敘傳」：「守突與之○燭。」顏注：「○○小

光之燭也。」又光也。「史記趙世家」：「美人○○兮。顏若若之榮。」又明貌。「杜牧阿房

宮賦」：「明星○○。」又炫惑也。「史記吳王濞傳」：「○惑天子。」「莊子人間世」：「而

目將○之。」注：「使人眼眩也。」又聽○疑惑也。「莊子齊物論」：「是黃帝之所聽○也。」

崔注：「聽○小。明不大了也。」亦作營。「北史甄琛傳」：「至使朝廷識者聽營其間。」又

作營。「韓愈送文暢師北遊詩」：「僧時不聽營。若飲水救渴。」注：「疑惑也。」又○惑。星名。

「史記天官書」：「察剛氣以處○惑。」正義：「○惑為執法之星。」「漢書天文志」：「○惑

出則有大兵。」亦作營。「漢書李尋傳」：「營惑往來亡常。」

榮

于平切。音營。桐木也。見「說文」。又屋栝之兩頭起者為○。「禮要大記」：「升自東○降

自西北○。」又○華。「爾雅釋草」。「木謂之華。草謂之○。」又辱之反也。「老子」。「知其○守其辱。」「史記商君傳」。「有功者顯○。」又葬○。奔名。卽木槿也。「文選郭璞遊仙詩」。「葬○不終朝。」又血也。「三國志魏書劉劭傳注」。「文章敍錄。杜摯爲詩曰。被此篤病久○衛久不安。」又同營。「呂氏春秋士容」高注。「蓋以巧媚自○衛也。」又采字之訛。「史記趙世家」。「成侯二十年。魏獻○椽。因以爲檀臺。」（按○椽卽椽椽。亦作采椽。采乃木名。可以爲椽者。索隱以○椽爲地名。非是。）

穎—穎—穎—穎

穎

余頃切。音穎。水名。「周禮夏官職方氏」。「荊州其浸○湛。」「呂氏春秋離俗」。「卞隨乃自投於○水而死。」（按水經○水注引呂氏作灑水。莊子讓王作稠水。）

穎

古迴切。音炯。火光也。見「說文」。「詩小雅無將大車」。「無思百憂。不出于○。」傳「○光也。」「楚辭九思哀歲」。「神光兮○○。」

穎

映迴切。音頰。足几也。一曰篋也。見「集韻」。又庾頰切。音頰。木名。一曰錐柄。見同上。又舉影切。音景。警枕也。見「類篇」。

穎

余頃切。音頰。禾末也。見「玉篇」。一曰詩大雅生民。一曰實。實粟。傳。一曰垂也。一曰周書序。一曰唐叔得禾。異畝同。傳。一曰穗也。一曰警枕也。禮少儀。一曰杖琴瑟。一曰又筆頭也。韓愈有毛穎傳。又錐銚也。一曰史記平原君傳。一曰譬若錐之處囊中。乃脫而出。一曰人才出衆亦曰。一曰晉書王戎傳。一曰幼而悟。神采秀徹。一曰文選陸機文賦。一曰拔尤取。

滴

滴

丁歷切。音的。水注也。見「說文」。一曰拾遺記。一曰香露。一曰瀝。一曰夢溪筆談。一曰士人宋述家有一珠。映空而觀。則末底一點凝翠。或謂之翠珠。一曰亦作瀧。見「廣韻」。一曰又作滌。見「法華經」。

滴

尸羊切。音商。水名。見「集韻」。一曰又與滂通。一曰流蕩貌。一曰列子力命。一曰齊景公遊於牛山。

北臨其國城而流涕曰。美哉國乎。鬱鬱芊芊。若何○○去此國而死乎。〔按晏子春秋諫上於滂滂。〕

澧——澧

澧

盧啓切。音禮。水名。出南陽雒衡山。見〔說文〕。〔書禹貢〕。岷山導江。東別爲沱。又東至於

○。〔又通醴。〕〔列子殷湯〕。〔甘露降。〕○泉涌。〔

澧

敷馮切。音豐。水名。出扶風郿縣東南。見〔漢書地理志〕。〔書禹貢〕。〔○水攸同。〕亦作

豐。〔詩大雅文王有聲〕。〔○水東注。〕

本——本

本

補袞切。讀若奔。上聲。木下曰○。從木一在其下。草木之根柢也。見〔說文〕。〔左傳昭元年〕

〔木水之有○原。〕〔文選班固西都賦〕。〔元元○○。〕〔殫見洽聞。〕又始也。〔禮禮器〕。〔反

○修古不忘其初。」又下也。「爾雅釋器疏」：「柢○也。凡物之○必在底下。」又「左傳注」：「豫爲後地曰張○。」又同奔。「集韻二十三魂」：「○通昆切。同奔。喻德宣譽曰○走。」

本 他刀切。音叨。進趨也。從十。猶兼人也。見「說文」。又往來見貌。亦作丰。

束——束

束 七賜切。音刺。木芒也。徐鍇曰：草木之○。藜藿。二文音義並同。見「說文」。(按刺。藜。策。棘。字。準此。)

束 書玉切。音棟。縛也。一曰○薪也。見「說文」。「詩周南野有死麕」：「白茅純○。」又五疋爲○。「禮雜記」：「納幣一○。」又五十矢爲○。「詩周頌泂水」：「○矢其搜。」又脯十挺曰○。「禮檀弓」：「○脩之間不出境。」又○帶脩飾。亦曰○脩。「漢書王莽傳」：「竊見安漢公自初○脩。」顏注：「○脩。謂初學官之時。」又春遇切。音戍。約也。「周禮春官司約注」：「言語之約○。」約。音要。「漢書高帝紀」：「待諸侯至。定要○耳。」(按史記作約○。)

杖一杖

杖

特計切音第樹貌見說文玉篇木部徒計切木盛貌詩唐風杜

有之杜傳特生貌又訛作狄顏氏家訓書證詩云有之杜江南本並木

傍施大說文曰樹貌也在木部韻集音次第之第而河北本皆為夷狄之狄讀亦如字此大誤

也釋文云杜本或作夷狄字非也下篇同又訛作杖唐書李林甫傳時選人嚴迴判

語有用杜二字者林甫不識字謂吏部侍郎韋陟曰此云杖杜何也陟俛首不敢言又

唐左切音舵船尾小梢也見玉篇淮南子說林心所說毀舟為心所欲毀鐘為鐸

杖

直兩切音丈所以扶行也見說文禮王制五十於家六十於鄉七十於國

八十於朝又喪服小記父喪直竹也母喪削桐也荀子君道卿相輔

佐人主之基也不可不早具也廣韻三十六養字注呂氏春秋曰拄而問其兄

弟按今本呂氏春秋異用置而問曰子之兄弟不有善乎又同仗直亮切讀若丈去

聲持也。「書牧誓」。「王左○黃鉞。」又憑倚也。「三國志吳書樓玄傳」。「材幹之事足委○者。無勝於樓玄。」「晉書桓謙傳」。「兄弟顯列。桓玄甚倚○之。」

杳——杳

杳 烏皎切。音宵。冥也。見「說文」。「論衡道虛」。「西窮乎○冥之黨。」「後漢書班彪傳」。「飛雲霧之○○。」又深廣貌。「管子內業」。「○乎如入於淵。」

杳 達合切。音駮。語多○○。若水之流也。見「說文」。又衆多也。「漢書揚雄傳」。「駢羅列布。鱗以雜○○兮。」「文選顏延之詠史詩」。「賓御紛颯○○。」又○○。馬蹄聲。「漢書禮樂志」。「神之。行旌容。騎○○。」又與啫通。「詩小雅十月之交」。「啫○○背憎。」箋。「啫啫○○。相對談語。」「晉書潘尼傳」。「誹謗啫○○。毀譽縱橫。」「左傳僖十四年」。「詩曰。儻○○背憎。」亦作啫啫。「晉書王濬傳」。「言語啫啫不可聽聞。」又作譁譁。「魏書安定王次子燮傳」。「譁譁朋昏。有虧禮教。」別作蹲踏。「抱朴子漢過」。「蹲踏背憎。即聾從昧。」

神——神

神

升人切。音申。木弊踣也。見「廣韻」。爾雅釋木「木自斃為○」。容齋隨筆「木絕

於申。故申字之訓為自斃。」

神

乘人切。音晨。天○引出萬物者也。見「說文」。易繫辭「陰陽不測之謂○」。詩大雅

雲漢「敬恭明○」。亦作旦。「詩大雅板」昊天曰明。及爾出王。昊天曰旦。及爾游衍。

（按古○字作禮。且即禮字之缺。禮郊特牲。所以交於旦明之義也。鄭注。且當為○。明且當讀明

○。以是知之。）「國語齊語」以約誓於上下庶○。「管子小匡」作薦○。（按庶○猶言

百○。庶字作薦。篆文形近而訛。）「禮祭法」有天下者事百○。「書武成」唯爾有

○。尚克相予。（按有○當作百○。乃草書之誤。）又○妙也。「書大禹謨」乃聖乃○。」

染——染

染

而琰切。音冉。以繪綵爲色。從水染聲。見「說文」。「周禮天官」。「○人掌○帛」。「爾雅釋器」。「一○謂之縑。再○謂之赤。三○謂之纁。」又「荏○柔意。詩小雅巧言」。「荏○柔木。」又「大雅抑」同。箋「柔刃之木荏○然。」又而豔切。讀若冉去聲。汙也。漬也。「書胤征」。「舊○汚俗。咸與維新。」「漢書王莽傳」。「出見男女不異路者。以象刑赭。汙○其衣。」「楚辭七諫沈江」。「曰漸○而不自知兮。」王注「稍漬爲漸。汙變爲○。」「韓愈房公墓碣銘」。「目播耳○。不學以能。」又誣攀株連曰牽○。「後漢書黨錮傳」。「徵考廷尉。其所牽○將相大臣百有餘人。」又「皇甫規傳」。「及黨事大起。天下名賢。多所○逮。」又與冉通。「楚辭九辯」。「漸冉而不自知兮。」（按晉書愍帝紀趙冉寇新豐諸縣。劉聰載記。作趙染。是冉染古通之證。）

柒

咸悉切。音七。俗漆字。水名。「開山圖」。「長安西有渠。謂之○渠。」又木名。「山海經西山經」。「剛山多○木。」又俗寫數目七字作○。（按七字古亦作漆。墨子貴義。夕見漆十士。注。漆。七字假音。今假作柒。藝文類聚。引墨子作七十士。）

桺——押——狎

桺

轄甲切。音洽。檻也。以藏虎兇。見「廣韻」。論語季氏「虎兇出於○」。管子中匡「生縛管仲。而○以予齊」。莊子刻意「有干將之劍者。○而藏之」。又檢○。猶言規矩。「後漢書仲長統傳」。「循常襲故者。是婦女之檢○。鄉曲之常人耳。」注「猶規矩也。亦作檢押。」

「漢書揚雄傳」。「蠶迪檢押。」顏注「檢押。猶隱括也。」

押

乙甲切。音壓。署也。今人言文字○署是也。見「正韻」。魏書崔玄伯傳「尤善草隸行○之書。爲世摹楷」。亦作狎。「北史崔浩傳」。「行狎特見精巧」。又管束也。「唐書百官志」。「朝會。監察御史二人○班」。又與壓通。「杜甫詩」。「故將臺榭○城闔」。又與狎通。「漢書息夫躬傳」。「羽檄重迹而○至」。注「相因而至也。」

狎

胡甲切。音匣。大可習也。見「說文」。「禮曲禮」。「賢者○而敬之」。又輕易也。「書秦誓」。「○悔五常」。左傳昭二十年「水懦弱。民○而玩之」。又更也。「左傳襄二十七年」

「且晉楚○主諸侯之盟也久矣。」疏。「更代主諸侯之盟也。」

疽——疽

疽

七余切。音直。久癰也。見「說文」。「左傳襄十九年」。「荀偃瘡」。「史記吳起傳」。「卒

有病○者。起為吮之。」「淮南子詮言」。「割瘡○。非不痛也。然而為之者。便於身也。」（按管

子法法。作瘡。腫。）「後漢書鮮卑傳」。「中國之困。胸背之瘡○。」又瘡○。人名。衛靈公之幸

臣。「孟子萬章」。「孔子於衛主癰○。」（按說苑至公。作瘡。腫。韓非子難四。作瘡。鉏。史記孔子

世家。作雍渠。）

疽

丁幹切。音且。黃病也。見「說文」。「內經」。「目黃。溺黃。赤安臥者黃○。」又與瘡通。惡瘡

也。

王——壬——王

王

兩方切。音皇。大也。君也。見「廣韻」。「穀梁傳莊三年」。「○者民之所歸往也」。又諸侯

世見曰。○。「詩商頌殷武」。「莫敢不來○」。又凡尊稱皆曰○。「爾雅釋親」。「父之考曰

○父。父之母曰○母」。又佛尊號曰法○。「岑參詩」。「抽簪禮法○」。又○屋。山名。「書

禹貢」。「至於○屋」。又○連。藥名。「廣雅釋草」。「○連。遠志也」。又於放切。皇去聲。

「漢書高帝紀」。「項羽背約而○君○於南鄭」。顏注。「上○字。於放反」。又盛也。「莊子

養生主」。「神雖○不善也」。又同往。「詩大雅板」。「昊天曰明。及爾出○」。傳。「○往

也。」

壬

如林切。又如深切。音任。○位北方也。見「說文」。「爾雅釋歲陽」。「太歲在○曰玄默。月在

○曰終」。『史記律書』。「○之爲言任也。言陽氣任養萬物於下也」。又大也。「詩小雅

賓之初筵」。「百禮既至。有○有林」。又佞也。「書臯陶謨」。「巧言令色孔○」。

壬

他鼎切。音逞。善也。象物出地挺生。徐曰。人在土上○然而立也。見「說文」。又唐丁切。音廷。

莖也。一曰屋梁。又古徵字。見「集韻」。

琢—琢

琢

竹角切。音斲。治玉也。見「說文」。『爾雅釋器』：「雕謂之○。」『史記禮書』：「爲之○磨。」

圭璧以通其意。』『荀子富國』：「詩曰：雕○其章。」（按詩大雅棫樸作敦○。說苑修文引詩作彫○。）

『詩周頌有客』：「敦○其旅。」正義：「敦○皆治玉之名。」敦雕古今字。又直戀切。音傳與琢同。『禮郊特牲』：「大圭不○。美其質也。」注：「當爲琢。」

琢

琢

直戀切。音傳。圭璧上起兆○也。見「說文」。『漢書董仲舒傳』：「良玉不○。」顏注：「○謂琢刻爲文也。」又『東方朔傳』：「陰奉珮○刻鏤之好。以納其心。」又『司馬遷傳』：「雕○曼辭以自飾。」亦作篆。『文選王少頭陀寺碑文』：「敢寓言於雕篆。」

琢

瑕—瑕

瑕

何加切。音遐。玉小赤也。見「說文」。『漢書司馬相如傳』：「赤○駸駸。」又玉玷也。『左

傳宣十五年」瑾瑜匿○。」（按漢書路溫舒傳引傳作匿惡。）又疵○罪釁也。「左傳僖七年」予取予求，不汝疵○也。」又虛脆也。「管子制分」故凡用兵者，攻堅則輒乘○則神。」又相間曰○。「管子法法」令入而不至，謂之○。」又通遐，遠也。「詩邶風泉水」不○有害。」又「二子乘舟」同。又通霞。「漢書揚雄傳」喻青雲之流○兮。」（按文選甘泉賦作流霞。）又與蝦同。「文選張衡南都賦」駸○委蛇。」
瑕「集韻二十九換」○。石之似玉者。」

祇 祇 祇 祇 祇

祇 渠宜切。音岐。本作示。天曰神，地曰○。「書微子」今殷民乃攘竊神○之犧牲牲。「漢書哀帝紀」奉順神○。」又安也。「詩小雅何人斯」壹者之來，俾我○也。」又大也。「易復卦」不遠復，無○悔。」又章移切。音支。適也。但也。「詩小雅何人斯」○攪我心。」又與圻通。「左傳昭十二年」王是以獲沒於○宮。」注「馬融云，圻內遊觀之宮。」

祇 旨夷切。音脂。敬也。見「爾雅釋詁」。「書臯陶謨」。「日嚴○敬六德」又「大禹謨」。「○

承于帝」。「周禮春官大司樂」。「中和○庸孝友」。

柢 都禮切。音邸。根也。見「說文」。「史記鄒陽傳」。「蟠木根」。「爾雅釋器」。「邸謂之○」。

郭注。「根○皆物之邸。邸即底。通名也。」又通作蒂。「三國志蜀書蔣琬傳」。「今魏跨帶九

州。根蒂滋蔓。」

祗 張尼切。音知。禾始熟曰○。見「集韻」。

祗 都黎切。音低。○裯。短衣也。見「說文」。「後漢書獨行羊續傳」。「其資藏惟有布衾○裯

鹽麥數斛而已。」

祇——祇

祇 伊堯切。音玄。本作祇。地反物爲○。見「說文」。「漢書天文志」。「迅雷風○」又「禮樂志」

「○孽伏息」又「龜錯傳」。「○孽滅」又「陸弘傳」。「妄設○言」。

祊 呼延切音訢。關中謂天爲○。見「說文」。又虛延切音軒。官名。唐置薩寶府○。正之官。視從七品。以火教徒任之。

祐——祐——祐——祐

祐 侯古切音戶。福也。見「說文」。詩小雅桑扈「受天之○」。禮禮運「是謂承天之○」。晉書王韶之傳「永介休○」。又訛作祐。後漢書朱祐傳「朱祐。南陽宛人也。」

注「東觀記曰。祐作福。避安帝諱。」劉攽曰「案注引東觀記安帝諱。則此人當名○。前後皆誤矣。」

祐 尤救切音又。神助也。見「集韻」。易大有卦「自天○之」。書太甲「皇天眷○有商」。論衡幸偶「服聖賢之道。講仁義之業。宜蒙福○」。文選任昉南徐州行狀「方憑保○。永翼雍熙」。家語在庀「疇昔予夢見先人。豈或啓○我哉」。漢書佞幸傳「石顯擁○太子。頗有功。」

禘 常隻切。音石。宗廟中藏主石室也。〔左傳莊十四年〕「命我先人典司宗。」疏。〔○字從

示。神之也。〕

裕 他各切。音託。衣衾也。見〔說文〕。又開衣領也。見〔廣韻〕。又廣大也。〔太玄經〕「天

地開闢。宇宙○袒。〕

裸——裸

裸 音貫。與灌通。祭酌鬯以灌地也。〔書洛誥〕「王入大室。」疏。〔以圭瓚酌鬱鬯之酒以獻

尸。尸受祭而灌於地。因奠不飲謂之○。〕〔詩大雅文王〕「○將於京。〕又〔周禮春官典瑞〕

「○圭有瓚。以肆先王。以○賓客。〕疏。〔○皆據祭而言。至於生人飲酒。亦曰○。〕故〔禮記投

壺〕云「奉觴賜灌。〕是生人飲酒爵行。亦曰○也。

裸 郎果切。音卯。赤體。見〔集韻〕。〔孟子〕「雖袒裼○裸於我側。〕〔左傳僖二十三年〕「曹

共公聞其駢脅。欲觀其○。浴薄而觀之。〕〔後漢書申屠蟠傳〕「其不遇也。則○身大笑。被髮

狂歌。」又人曰○蟲。「晉書五行志」○蟲。人類。而人爲之王。」（按又作羸。羸。僕。）

禡——稠——稠

禡 親老切。音倒。與禱通。禱牲馬祭也。見「說文」。「周禮春官甸祝」○牲○馬。皆掌其祝號。」

注。「杜子春云。○禱也。爲馬禱無疾。爲田禱多獲禽牲。」又刀號切。音到。義同。或作驕。見「集韻。」

稠 音儔。牀帳也。漢名帳爲○。見「韻會」。「詩召南嘒彼」。「抱衾與○。」箋。「○牀帳也。」

又都勞切。音刀。衣袂。見「集韻」。「揚子方言」。「汗襦自關而西。謂之祗○。」「後漢書羊續

傳」。「唯有布衾敝祗○。」又直誅切。音廚。禪衣也。見「廣韻。」

稠 陳留切。音儔。多也。見「說文」。「又密也」。「戰國秦策」。「書策○濁」。「東晉補亡詩」。「黍

發○花。」又田聊切。音迢。與調通。「莊子天下」。「可謂○適而上遂矣。」又徒弔切。音羅。

○穀。動搖貌。「漢書揚雄傳」。「天下○穀。」又段作稠。「詩小雅都人士」。「稠直如髮。」

箋「網密也。」

禪

禪

時戰切。音繕。封。見「韻會」。「史記秦始皇紀」：「與魯諸生議封。望祭山川之事。」又

「自序」：「獲符瑞。建封。」（按築土曰封。除地曰。）又代也。○讓。傳與也。「三國志魏

書陳思王植傳」：「受○炎漢。」又「蘇則傳」：「應天受○。」又時連切。音蟬。靜也。佛家以

清靜為宗。故稱○。「傳燈錄」：「○有五。外道○。凡夫○。小乘○。大乘○。最上乘○。」「杜甫詩」

「虛空不離○。」

禪

多寒切。音單。衣不重也。見「說文」。「漢書蓋寬饒傳」：「斷其○衣。令短離地。」又「江充

傳」：「衣紗縠○衣。」「揚子方言」：「汗襦。陳魏宋楚之間。或謂之○襦。」「釋名釋衣服」

「○襦。如襦而無絮也。」「廣雅釋器」：「○襦。謂之襦。按○衣之○。今俗或省作單。」

界——卑

界 必至切。音比。賜也。見「爾雅釋詁」。「書洪範」。「不〇洪範九疇」。「詩衛風于旄」。「彼

姝者子。何以〇之。」。「禮祭統」。「〇之爲言與也。」

卑 逋眉切。音碑。賤也。見「說文」。「易繫辭」。「天尊地〇」。「禮中庸」。「譬如登高。必自〇」。

又與毗通。鮮卑。帶名。「楚辭大招」。「小腰秀頸。若鮮〇只」。「王注」。「鮮〇帶頭」。「按史記

匈奴傳作犀毗。」。「漢書」作胥紕。又人名。「新序義勇」。「中牟人田〇。不從佛肸之叛」。

「漢書古今人表中下」作田果。又與俾通。音彼。「荀子宥坐」。「〇民不迷」。「又與鼻通。

「漢書鄒陽傳」。「封之於有〇」注。「地名」。

盱——盱——盱

盱 倉先切。音干。〇睽。遙視。見「集韻」。「文選張衡南都賦」。「青冥〇睽」注。「遙視闇未明

也。亦作仔眠。〔楚辭九懷通路〕「遠望兮仔眠。」又作阡眠。〔文選陸機詩〕「林薄杳阡眠。」

肝 古旱切。讀若干上聲。目多白也。見〔說文〕。〔白虎通禮樂〕「目陳兵天下富昌。」注「張目也。」

目也。

盱 沉於切。音吁。張目也。見〔說文〕。〔漢書王莽傳〕「○衡厲色。」注「眉上曰衡。○衡舉眉揚目也。」又〔廣雅釋訓〕「睢睢○○。元氣也。」〔莊子寓言〕「而睢睒○○。而誰與居。」

〔文選張衡東京賦〕「睢○跋扈。」亦作眚。○〔李商隱太倉箴〕「桀黠為炭。眚○為鑪。」

注「眚與睢通。」又質朴貌。〔文選王延壽魯靈光殿賦〕「鴻荒朴略。厥狀睢○。」又恂

○。小人喜悅貌。〔漢書地理志〕「恂○且樂。」〔韓詩外傳〕引詩同。

眈 眈

眈——眈

眈 丁合切。音耽。視近而志遠也。見〔說文〕。〔易頤卦〕「虎視○○。」釋文「虎下視貌。」

又樂也。〔書無逸〕「惟○樂之從。」傳。〔過樂之謂○。〕〔禮中庸〕「和樂且○。」〔按詩小雅常棣作漙。爾雅釋詁作妣。說文作熾。音義並同。〕〔三國志魏書齊王芳傳〕「○淫內寵。」又叶持林切。音沈。〔詩衛風氓〕「于嗟女兮。無與士○。」〔叶上桑甚。甚讀平聲。〕〔正字通〕「○與耽別。耳垂之耽從耳。○樂之○從目。」

耽 音同上。耳大垂也。見〔說文〕。〔淮南子墜形〕「夸父○耳在其北方。」注。〔耳垂在肩上。〕

又○○深邃之貌。〔文選張衡西京賦〕「大廈○○。」又〔左思魏都賦〕「○○帝宇。」〔按史記陳涉世家作沈沈。廣韻作歆歆。〕又與耽通。〔漢書敘傳〕「六世○○。其欲激激。」顏注。〔○○威視之貌。〕

盼 — 盼 — 盼 — 盼

盼 匹莧切。讀如攀去聲。目黑白分明也。見〔玉篇〕。〔詩衛風碩人〕「美目○○兮。」又美人動目貌。〔文選宋玉神女賦〕「目若微○。」又顧也。視也。〔宋書謝晦傳〕「同被齒○。」

「魏書昭成子孫元暉傳」亦蒙恩盼。又符分切音汾。隣。天且欲明也。楚辭九懷昭世。進隣。今上丘墟。

盼 胡計切音係。恨視貌。「孟子滕文公」使民〇〇然。「三國魏志許褚傳」馬超問虎侯安在。太祖顧指褚。褚瞋目。〇之。超不敢動。又研計切音詣。又吾禮切詣上聲。義並同。

盼 逋還切音班。賦也。「禮王制」名山大澤不以〇。「儀禮聘禮」〇肉。注。〇猶賦也。又符分切音汾。大首貌。見「廣韻」。又人名。「史記田完世家」威王曰。吾臣有〇子者。使守高唐。則趙人不敢東漁於河。索隱。〇子。田〇也。「按竹書紀年周顯王二十五年。二十七年。均訛作田盼。戰國策魏策。訛作田盼。」

盼 同盼。黑乙切音欣入聲。「文選左思蜀都賦」景福〇響而與作。注。章昭曰。〇響。溼生蟲。蚊類是也。大福之興。如此蟲騰起矣。「杜甫朝獻太清宮賦」〇響而有憑。蕭颯而乍起。「按廣韻五質盼字注。盼響。俗作〇。漢書司馬相如傳揚雄傳。文選左思吳都賦。古文苑劉歆甘泉宮賦。並作盼響。」

眨—眨

眨

側洽切。讀若斬入聲。目動也。見「說文」。皮日休詩「治以顏黎鏡，當中見魚○」。傳

燈錄「殺人不○眼」。

眨

方斂切。音菱。損也。見「說文」。公羊傳隱二年「何以不氏○」。何注「○猶損也」。文

選杜預春秋序「春秋以一字為褒○」。又墜也。「詩大雅召緝」我位孔○。又通

作辨。「禮玉藻」立容辨卑。毋詔。注「辨讀為○。自辨卑。謂譽折也。一又作辯」。周禮秋

官士師「若邦凶荒。則以荒辯之法治之」。注「辯當為○。遭飢荒。則刑罰國事。有所○損」。古作專。「漢書司馬相如傳」此不可以揚名發譽。而適足以專君自損也。顏注「專古○

字」。又扶法切。音乏。「類篇」○。射者所蔽。

字。又扶法切。音乏。「類篇」○。射者所蔽。

贖—贖

贖 歸謂切音貴目無精也見類篇韓愈朝歸詩坐食取其肥無堪等贖

贖 魚怪切音崩生而聾曰國語晉語聾不可使聽

胃 胃 胃

胃 于貴切音謂穀府也見說文釋名釋形體圍也圍受食物也史記貨殖傳

胃 肺簡微耳濁氏連騎注晉灼曰今大官常以十月作沸湯燂羊以末椒薑扮之暴使燥是也又西方宿名禮月令季春之月日在胃史記天官書胃為天倉

胃 直又切音宙裔也嗣也見增韻左傳襄十四年謂我諸戎是四嶽之裔也

又子未冠者之稱書舜典教子晉書潘尼傳莘莘子

胄 直祐切音宙兜豸從冂甲聲見說文禮儒行儒有忠信以為甲史記絳侯世家介之士不拜亦作軸荀子樂論帶甲嬰歌於行路使人心傷又議兵冠帶劍楊注軸與胄同

醒—醒

醒 直貞切。音呈。病酒也。見「說文」。詩小雅節南山「憂心如○」。傳「病酒曰○」。漢書禮樂志「秦尊柘漿析朝○」。注「應劭曰○病酒也」。文選張衡南都賦「其甘不爽。醉而不○」。

醒 桑經切。音星。醉解也。見「說文」。左傳僖二十三年「○以書逐子犯」。漢書蓋寬饒傳「次公○而狂。何必酒也」。楚辭漁父「衆人皆醉我獨○」。林下清錄「歐陽公號醉翁。林中子稱○老」。又夢覺也。「戴表元詩」今日春風吹夢○。又息并切。讀若星上聲。義同。又覺悟也。「賈誼新書先○」。故世主有先○者。有後醒者。有不○者。又○木。亦作○目。「杭俗遺風」大書一人獨說。不用傢伙。惟有○目一塊。紙扇一把。

腥—腥

脰

馳貞切。音呈。肉之精者。見「說文」。「文選枚乘七發」。「飲食則溫淳甘隴。○醢肥厚。」李

注。「○肥肉也。池真切。」

腥

桑經切。音星。豕肉中生小息肉也。見「說文」。「禮內則」。「豕望視而交睫。○。」（按周禮

天官內饗作盲眊。）「史記晉世家」。「犯肉○臊。何足食。」又穢也。「書酒誥」。「○聞在

上。」又肉未熟曰○。「論語鄉黨」。「君賜○。必熟而薦之。」「史記禮書」。「俎上○魚。」

通作胙。見「集韻」。

聽——聽

聽

他定切。音挺。聞也。「書太甲」。「○德惟聰。」又受也。「左傳成十一年」。「鄭伯如晉○

成。」又從也。「左傳昭二十六年」。「姑慈婦○。」又斷也。「禮王制」。「司寇正刑明辟。

以○獄訟。」又任也。「漢書景帝紀」。「民欲徒寬大地者○之。」又「薛宣傳」。「買賣○

任富吏。」又他丁切。音廳。聆也。○受也。中庭曰○事。言受事察訟於是。見「集韻」。毛氏曰。「漢

晉皆作○。六朝以來始加厂。〔三國志魏書曹爽傳注〕。〔魏末傳曰。爽還○事上。與兄弟共議。〕〔晉書謝奕傳〕。〔奕遂搯酒。就○事。引一兵帥共飲。〕 又訛作德。〔文選班固答賓戲〕。〔用納乎聖德。〕（按漢書叙傳作聖○。）

聽 他德切。音忒。○瞽目欲臥貌。見〔集韻。〕

第 一 第

第 大計切。音弟。次第也。見〔集韻。〕〔左傳哀十六年〕。〔子西曰。楚國○。我死。令尹可馬。非勝而誰。〕注。〔用士之次○。〕 又等也。〔史記儒林傳〕。〔其高○可以爲郎中者。太常籍奏。〕〔後漢書梁冀傳〕。〔歲時貢獻。皆先輸上○於冀。〕 又○宅。〔漢書高帝紀〕。〔爲列侯者。賜大○。〕注。〔孟康曰。有甲乙次○。故曰○也。〕又〔王莽傳〕。〔罷就○。〕 又譜○。〔文選杜預春秋左傳序〕。〔參考衆家譜○。爲之釋例。〕 又但也。〔史記陳丞相世家〕。〔陛下○遊雲夢。〕 又通作弟。長弟。猶言次○也。〔國語吳語〕。〔將不長弟以力征。一。二兄弟之國。〕

又「孤敢不順從君命長弟許諾。」

第 蔣兕切。音姊。牀也。見「集韻」。「揚子方言」：「牀，陳楚之間謂之○。」又壯仕切。音滓。牀

簣也。「爾雅釋器」：「簣謂之○。」「左傳襄二十六年」：「牀○之言不踰闕。」「國語晉語」

「牀○之不安邪。」「荀子禮論」：「越席牀○，所以養體也。」又側瑟切。音櫛。義同。

筵——筵

筵 夷然切。音延。竹席也。見「說文」。「周禮春官司几○」：「下士三人。」鄭注：「○亦席也。鋪

陳曰○。藉之曰席。○鋪于下。席鋪于上。」「釋名釋牀帳」：「○，衍也。舒而平之衍衍然也。」

又九尺曰○。「周禮冬官考工記匠人」：「室中度以几。堂上度以○。」鄭注：「几，五尺。○，九尺。」

又通作筵。「墨子節葬」：「几筵壺盥。」注：「筵同○。」又通作席。「史記禮書」：「牀筵

几席，所以養體也。」（按荀子禮論作几○。）

筵 特丁切。音庭。羅絲管也。見「說文」。「正字通」：「○，羅著絲於葶車也。今紡絲錄曰○子。」

（按今俗誤作筵。）又小竹也。「文選東方朔答客難」：「以○撞鐘。」又楚人謂折竹卜曰○筵。「楚辭離騷」：「索瓊茅以○筵兮。」王注：「○小折竹也。」（按漢書揚雄傳：瓊茅晉灼注引離騷作筵筵。）又通作挺。「後漢書方術傳序」：「日者挺專須臾孤虛之術。」注：「挺專折竹卜也。」

芄——芄——芄

芄

巨鳩切。音求。遠荒也。見「說文」。「詩小雅小明」：「我征徂西，至于○野。」傳：「○野，荒遠之地。」又獸薜也。「淮南子修務」：「野蕘有○薜檟櫛，窟虛連比，以象宮室。」又居着切。

音交。藥名。「本草」：「秦○。出秦中，以根作羅紋交糾者佳。」

芄

居由切。音鳩。本作苒。秦芄。藥名。（按芄本作苒，亦作芄。本草又作秦亂。李時珍曰：根作羅紋交糾者佳，則作苒是也。但从九作芄，相沿已久，不妨並存。）

芄

蒲蒙切。音篷。草盛也。見「說文」。「詩衛風載馳」：「○○其麥。」疏：「盛長之貌。」又「小

雅茗之華」。「有○者狐」傳。「○小獸貌」又草名。「山海經」。「成侯之山其草多○」
 苑。胡官切。音丸。○蘭。莞也。見「說文」。「詩衛風○蘭」。「○蘭之支」。「爾雅釋草」。「萑○
 蘭」郭注。「○蘭蔓生。斷之有白汁」。

芊——芊——芊——芊

芊 倉先切。音千。○○。草盛貌。見「說文」。「廣雅釋訓」。「○○。茂也」。「列子力命」。「美哉
 國乎。鬱乎○○」。「文選宋玉高唐賦」。「仰視山嶺。鬱乎○○」又○眠。「謝朓高松賦」
 「○既○眠於廣隰。亦迢遞於孤嶺」。「李紳寒松賦」。「貞枝肅矗。直榦○眠」亦作○緜。「謝
 靈運山居賦」。「孤岸竦秀。長洲○緜」通作仟。「文選謝朓遊東田詩」。「遠樹曖○○」
 李注。「仟與○同」又省作千。「文選潘岳藉田賦」。「碧色肅其千千」又天○草名。「西
 陽雜俎」。「天○。生終南山中。葉如荷而厚」又倉甸切。音舊。○藟。草木相雜貌。見「廣韻」
 又同茜。草名。見「集韻」。

芋 居寒切。音干。蔽。草名。見《集韻》。

芋 王矩切。音羽。又余遼切。音飲。蔬類植物也。《史記項羽紀》「士卒食○粟。」索隱「○蹲鴟也。」又○之大者曰○魁。《漢書翟方進傳》「飯我豆食羹○魁。」《後漢書張衡傳》「藜

荷○渠。」注「即○魁。」又休居切。音吁。「揚子方言」「○大也。」《詩小雅斯干》「君

子攸○。」又芋字之訛。《劉向上荀卿書表》「楚有○子著書。」《通志氏族略四以官為

氏類》「○尹氏。」注「楚有大夫○尹申無字之後。」《按芋姓諸楚所出。芋聲也。故○子○

尹字當作芋。康熙字典芋尹誤入芋字注。此誤之甚者。)

芋 密蟻切。音弭。《漢書藝文志儒家》「○子十八篇。」注「名嬰。七十子之後。」《按史記孟

荀傳。訛作吁子。廣韻十陽羊字注。訛作羊干。注云。戰國時有羊干者。著書顯名。並即芋子之訛。

苦——若

苦 孔五切。音管。大○茶也。見《說文》。《詩唐風采芣》「采○采○首陽之下。」又味也。《詩

邶風谷風「誰謂荼。其甘如薺。」又患也。「漢書賈誼傳」非徒病瘡也。又〇踈鑿。

又快也。見「揚子方言楚人語」。又果五切。音古。惡也。脆也。「周禮冬官考工記」辨其

〇良。「國語齊語」辨其功。〇。「管子小匡」同。「韓非子難一」東夷之陶者。器〇

窳。舜往陶焉。蒼年而器牢。又音怙。楚地名。「史記老子傳」楚〇縣厲鄉曲仁里人也。

又苦故切。音庫。困也。「西溪叢語」今人不善乘船。謂之〇船。北人謂之〇車。又爲若

字之訛。「晏子春秋雜上」金壺中有丹書。曰食魚無反。勿乘驚馬。公曰善哉。知若言。注。〇

字誤。元刻作若言。「文選吳質重答東阿王書」重惠若言。訓以政事。

若 日灼切。音弱。杜〇。香草。見「玉篇」。「楚辭九歌湘夫人」搴汀洲兮杜〇。又順也。「書

堯典」欽〇昊天。又汝也。「儀禮士昏禮」勗帥以敬先妣之嗣。〇則有常。又如

也。「書盤庚」網在綱。有條而不紊。又猶乃也。「國語周語」必有忍也。〇能有濟

也。「又語辭」禮禮器。有所竭情盡慎。致其敬而誠。〇有美而文而誠。〇。又〇而不

定之辭。「左傳襄十二年」夫婦所生。〇而人。妾婦之子。〇而人。又垂貌。「漢書佞幸石

顯傳「印何纒纒綬○○邪。」又海神也。「莊子秋水」望洋向○而歎。又木名。「楚辭天問」○○華何光。」王注「木何能有明赤之光華乎。」又此也。「戰國齊策」聞○○言莫不揮泣奮臂而欲戰。」又般○梵語猶華言智慧也。「晉書曇曇傳」霍揚一錫杖令人跪曰此是波○眼。波○即般○。

苟——筍——筍

苟 古厚切。音狗。草也。見「說文」。又誠也。「論語里仁」志於仁矣。又且也。「漢書

宣帝紀」上下相安莫有○且之意。「晏子春秋雜上」行廉不爲○得。道義不爲○合。

「韓詩外傳」偷合○同。以持祿養交。是謂國賊也。

筍 紀力切。音棘。今作亟。從人。從口。從又。從二。二天地也。徐鍇曰「承天之時。因地之利。口謀之手

執之時不可失。疾之意也。」見「說文」。「儀禮聘禮」燕則上介爲賓。賓爲○敬。鄭注「○敬者。主人所以小敬也。」按爾雅釋詁。亟。速也。釋文「亟或作○。字從从從句。與苟字異。」

〔禮大學〕「湯之盤銘曰。○日新。日日新。又日新。」亦卽此○字。朱氏讀爲苟志於仁矣之苟。與〔儀禮鄭氏〕釋爲小敬。其誤同。推湯之心。以爲人宜亟亟自新。乃一鼓作氣之意。日日新。又日新。則勿使再而衰。三而竭也。倘苟讀如字。則下文無收束。有似歇後語矣。以此知字當讀亟也。〔廣雅釋詁一〕「亟。敬也。」語本〔儀禮〕。

笱 古厚切。音苟。曲竹捕魚○也。見〔說文〕。〔詩邶風谷風〕「毋發我笱。」〔爾雅釋器〕「藝婦之○謂之笱。」〔淮南子兵略〕「羊腸道發○門。一人守險。而千人弗敢過也。」（按後漢書文苑杜篤傳注。引淮南子。作魚○是也。此作發○者。涉下文不爲苟發句而訛。）

茶——茶——茶

茶 鋤加切。讀如坨平聲。本作檟。春蘘葉。可以爲飲。見〔廣韻〕。〔博物志〕「飲眞○令人少眠。」〔太平御覽飲食部茗類〕本草曰。「茗。苦○味甘苦。微寒。少睡去痰渴。消宿食。」又〔華佗食論〕「苦○久食。益意思。」〔蘇軾詩〕「周詩記苦○茗飲出近世。」〔正字通〕引〔魏

了翁集」○之始其字爲荼。陸羽廬全以後。則遂易荼爲○。其字從艸從人從丩。

荼 同都切。音塗。苦菜也。詩邶風谷風。誰謂○苦。爾雅釋草。○。苦菜。又野菅。

白華也。詩鄭風東門。有女如○。又○毒苦也。詩大雅桑柔。民之貪亂。寧爲○。

毒。又穢草也。詩周頌載芟。以薶○蓼。又通舒。玉之上圓下方者。荀子大略。

諸侯御○。又楚地。史記建元以來侯者年表。荆○是徵。按詩魯頌閟宮作荆。

○。又古荼字。爾雅釋木。檀。苦○。郭注。樹小如樅子。冬生葉。可煮作羹飲。

荼 奴結切。音涅。困憊貌。廣韻十七薛。○。疲役貌。按一作薺。莊子齊物論。薺。然疲役。而不知其所歸。可不哀邪。文選謝靈運過始寧墅詩。疲薺慙貞堅。杜甫詩。

疲○竟何人。灑淚巴東峽。唐書白敏中傳。是時居易足病發。宰相李德裕言其衰。荼。

不任事。按莊子原文作薺。從艸從爾。是字當作薺也。康熙字典入艸部五畫。非是。

荼——筌

荃

此緣切。音詮。香草也。見「說文」。楚辭離騷「○不察余之中情。」又通筌。捕魚器也。

「莊子外物」：「○者所以在魚。得魚而忘○。」又且緣切。音銓。與綫同。細布也。「漢書江都

易王非傳」：「繇王閔侯。遣建○葛。」顏注：「○細布也。」

筌

音同上。取魚竹器也。見「廣韻」。文選郭璞江賦「夾滌羅○。」注：「捕魚器。」謝靈

運慧遠法師誄「仰慕洙泗。俯憚冕○。」又「山居賦」：「櫜弋靡用。蹄○誰施。」又迹也。

「文選江淹雜體詩」：「一時排冥○。冷然空中賞。」李注：「冥。理也。○迹也。言理迹雙遺也。」

「滄浪詩話」：「不涉理路。不落言○者。上也。」

蕙——蕙

蕙

以然切。音延。草名。見「廣韻」。又于緣切。音衍。「廣韻三十三線○字注」：「蔓○不斷。」

「文選左思蜀都賦」：「風連○蔓於蘭皋。」

蕙

徒鼎切。音挺。屋梁也。「莊子齊物論」：「舉○與楹。厲與西施。恢憺憺怪。道通為一。」又特

丁切音廷與筵通。漢書東方朔傳。以○撞鐘。注。謂橐○也。韓愈詩。有如寸○撞巨鐘。又通作挺。說苑善說。建天下之鳴鐘而撞之以挺。豈能發其聲乎哉。君問先生。無乃猶以挺撞乎。

綱—絢—絢—綱

綱 古螢切音肩急引也。見說文。又大迴切音駸禪衣也。禮玉藻。禪爲○。注。有衣裳而無裏。又中庸。衣錦尚○。惡其文之著也。

絢 權俱切音勅履頭飾也。見玉篇。爾雅釋器。○謂之救。注。救絲以爲○。後漢書明帝紀。玉佩○履。家語五儀。章甫○履。

絢 許兩切音享綿也。見篇海。

綱 徒東切音同布名亦作箭。後漢書王符傳。箭中女布。又徒弄切音洞鴻○相連貌。漢書揚雄傳。鴻○絳獵。文選羽獵賦。同。亦作鴻洞。淮南子原道。靡濫振

蕩與天地鴻洞。又作虹洞。後漢書馬融傳。虹洞天地固無端涯。別作洪洞。文選王襄四子講德論。洪洞朗天。或作港洞。文選馬融長笛賦。港洞坑谷。

紬—細—紳

紬 陳留切。音儻。大絲繪也。見說文。釋名釋綵帛。抽也。抽引絲端出細緒也。又

敕鳩切。音瘳。與抽同。廣韻十八尤。抽或作。引其端緒也。漢書谷永傳。燕見

○釋。史記曆書。績日分。注。如女工緝之。又自序。史記金匱石室

之書。注。謂綴集之也。文選宋玉高唐賦。大絃而雅聲流。

細 思計切。音塔。微也。見說文。書旅葵。不矜。左傳襄二十九年。其已

甚。民弗堪也。後漢書律曆志。法有脩。又子。猶言分別。北史源思禮傳。為

政當舉大綱。何必太子也。

紳 失人切。音申。大帶也。見說文。禮內則。端鞞。論語子路。子張書諸。

朱注。「○大帶之垂者。」又「鄉黨」東首加朝服拖○。又摺○。謂插笏帶間也。「史記孝武紀」摺○之屬。亦作薦○。「史記五帝紀」薦○先生。」

縛——縛——總

縛 伏藥切。讀如房入聲。束也。見「說文」。「左傳僖六年」許男面○銜璧。又卷也。「左

傳昭二十六年」以幣錦二兩。○一如瑱。又符遇切。與紂同。音附。繩也。見「集韻」。

縛 持亮切。音篆。白鮮色也。見「說文」。又柱戀切。音瑑。束也。「周禮地官羽人」十羽爲審。

百羽爲搏。十搏爲○。注。「○羽數束名也。」又規掾切。緝同。「儀禮聘禮」賄用吏紡。」

注。「紡紡絲爲之。今之○也。」釋文。「○聲類以爲今正絹字。」又重緣切。音椽。卷也。見「集韻」。

總 胡桂切。音慧。細疏布也。見「說文」。「儀禮士冠禮」不屨○屨。注。「屨不灰治曰○。」

「禮檀弓」綌○裳非古也。注。「非時尙輕涼慢禮。」釋名。「釋綌帛○惠也。齊人謂涼

爲惠言服之輕細涼惠也。」

綱——網

綱 古郎切。音岡。維紘繩也。見「說文」。「書盤庚」：「若網在○。有條而不紊。」「詩大雅棫樸」

「○紀四方。」傳：「張之爲○。」疏：「○者。網之大繩。」又「儀禮鄉射禮」：「乃張侯下○。」

注：「○持舌繩也。」又「禮緯含文嘉」：「君爲臣○。父爲子○。夫爲妻○。」

網 文紡切。音岡。本作罔。或作罟。隸省作罔。今相承作○。「書盤庚」見上。「詩邶風新臺」：「魚

○之設。」「莊子胠篋」：「鉤餌○罟罾筍之知多。則魚亂於水矣。」「文選班固西都賦」：「罟

○連紘。」「楚辭招魂」：「○戶朱設。」注：「○戶。綺文縷也。」

肄——肆

肄 羊至切。音易。習也。見「廣韻」。「左傳文四年」：「臣以爲○業及之也。」「漢書叔孫通傳」

「迺令羣臣習。」又勞也。詩邶風谷風「有洗有潰。既詒我。」又餘也。左傳襄二十九年「晉國不恤宗周之闕而夏○是屏。」注「夏○祀也。○餘也是斬而復生之餘也。」又與肆通。「禮玉藻」「肆束及帶。」注「肆讀爲○。○餘也。」

肆

悉漬切。音四。極陳也。見「說文」。「左傳昭十二年」「昔穆王欲○其心。周行天下。」又列也。「書牧誓」「昏棄厥○祀弗答。」又放恣也。「禮表記」「安○日偷。」「漢書敘傳」。「何有踞○於朝。」又死刑陳尸也。「論語子路」「吾力猶能○諸市朝。」又市列曰○。「漢書刑法志」「開市○以通之。」又突也。「詩大雅皇矣」「是伐是○。」又故也。今也。「書大禹謨」「○予以爾衆士。奉辭伐罪。」「詩大雅縣」「○不殄厥愾。」又申也。「左傳僖三十年」「既東封鄭。又欲○其西封。」又棄也。「文選揚雄長楊賦」「故平不○險。安不忘危也。」又古來切。同陔。陔夏樂章名。「禮禮器」「其出也。○夏而送之。」又「玉藻」「行以○夏。」又試夜切。音射。貸也。本作賁。「書舜典」「眚災○赦。」亦作賁赦。「漢書文三王傳」「數蒙聖恩。得見賁赦。」又訛作長。「史記孝武帝紀」「內長文。所以見愛也。」

注。「張晏曰。長文。長文德也。」（按長文即肆赦之訛。肆字脫右旁聿。赦字脫左旁赤。張讀如字。失之。）

迴—迴—迴—迴

迴

戶頂切。音洞。寥遠也。見「增韻」。又「廣韻」。「光也。輝也。」（按廣韻釋訓。炯炯。光也。〇與炯通。）「文選江淹雜體詩」。「罔罔秋月明。〇亦與罔通。」或作洞。俗作迴。非。

迴

胡瓊切。與回同。還。〇猶低徊也。「淮南子原道」。「還。〇川谷之間。」「楚辭九歎怨思」。「下江湘以還。〇」。又胡對切。音潰。曲也。「後漢書光武紀」。「吏雖逗留。〇避。故縱者皆勿問。」「正字通」。「古無〇字。蓋回即雷之古文。水回為回。後人欲別之。加辵。當作迴。」

迴

與回同。「史記鄒陽傳」。「邑號朝歌。曇子〇草。」又胡對切。音潰。「晉書姚弋仲載記」。「屬獻讜言。無所〇避。」「北史李元操傳」。「彈駁公卿。無所〇〇。」又「外戚胡國珍傳」。

「當官正色。無所〇避。」

洞

徒弄切。音洞。過也。見「廣韻」。「史記倉公傳」：「診其脈。○風。」注：「言風洞徹五藏也。」
「淮南子要略」：「通○造化之母。」

速——速

速

古文迹字。見「集韻」。

速

蘇木切。音倅。疾也。見「說文」。荀子賦：「行遠疾○。而不可託訊者與。」文選賈誼鵠鳥賦：「遲○有命焉。識其時。」又召也。「易需卦」：「有不○之客三人來。」後漢書鄭興傳：「昭○禍患。」又與藪通。○鄙陋也。「後漢書蔡邕傳」：「○○方轂。」注：「○○言鄙陋之小人也。詩作藪藪。」又「正韻」：「鹿之足跡曰○○。」石鼓文：「鹿鹿○○。」
「籀文」作速。

逢——逢

逢

皮江切。音龐。姓也。〔孟子離婁〕「○蒙學射於羿。」〔後漢書劉玄傳〕「郡人○安。」注。

「逢字從夆。」〔廣韻四江〕「○。姓也。出北海。」〔左傳〕「齊有○丑父。」

逢

符容切。音蓬。遇也。見〔說文〕。〔史記天官書〕「鬼哭若呼。其人○倍化言。」注。〔○倍。猶

○透。〕〔書洪範〕「子孫其○吉。」又大也。〔禮儒行〕「衣○掖之衣。」又闕○。歲名。

〔爾雅釋天〕「太歲在甲曰闕○。」注。〔言萬物鋒芒欲出。壅遏未通也。〕又通縫。〔禮玉

藻〕「深衣○齊倍要。」又蒲逢切。音蓬。鼓聲。〔詩大雅靈臺〕「鼗鼓○。〕又與縫同。

〔漢書司馬相如傳〕「大漢之德。○蒲原泉。」注。〔○讀若燧。言如燧火之升。〕

達—達

達

渠爲切。音駭。九達道也。見〔說文〕。〔爾雅釋宮〕「九達謂之○。」郭注。〔四道交出。復有

旁道也。〕〔左傳隱十一年〕「及大○弗及。」又〔桓十四年〕「入及大○。」亦作遲。〔淮

南子兵略〕「虛舉之下大遲。自上高丘。人之有所推也。」許注。〔虛舉不鷓風疾飛之下大遲。

復上高丘也。」（按舉當作舉，舉與與同，大遲即大遠，言虛與下大○上高丘，必藉人力推之也。許注誤。）「詩周南兔置」：「施于中○。」亦作廋。「文選鮑昭蕪城賦李注」：「引韓詩作中廋。薛君章句曰：中廋，廋中九交之道也。」又與岐通。「淮南子說林」：「楊子見○路而哭之，爲其可以南，可以北。」

達

唐割切音達。通也。見「玉篇」：「書堯典」：「○四聰。」「左傳昭七年」：「其後必有○人。」

又薦進也。「後漢書黃香傳」：「在位多所薦○。」又宜也。「詩商頌殷武」：「受小國是○。受大國是○。」又以物相將也。「周禮夏官懷方氏」：「○之以旌節。」又暢達也。「詩周頌載芟」：「驛驛其○。」又徧也。「書洛誥」：「則○觀于新邑營。」又夾室也。「禮內則」：「天子之闈，左○五，右○五。」又窗牖也。「禮明堂位」：「刮楹○鄉。」又小羊名。「詩大雅生民」：「先生如○。」又津○，即津通。「水經注河水」：「懸巖之中，多石室焉，室中若有積卷矣，而世罕有津○者。」今相承作津逮，誤。又達喪，即通喪。「禮三年問」：「夫三年之喪，天下之○喪也。」（按中庸作通喪。）

盪——盪

盪

他歷切音踢。今作盪。遠也。見《說文》。《詩大雅抑》。《用○盪方》。《左傳襄十四年》。《豈

敢離○》。《史記周紀》。《離○其王父母弟》。《文選江統徙戎論》。《死亡流散。離○未

鳩》。《又通狄》。《漢書古今人表上中》。《簡○帝譽妃生高》。《師古曰》。《○音吐歷反。即簡狄

也。》

盪

徒浪切音宕。失據而倒也。見《集韻》。《漢書儒林玉式傳》。《式恥之。陽醉○墜》。《顏注。

《○音徒浪反》。《又徒郎切音唐突也》。《文選張衡思玄賦》。《爛漫靡靡。藐以迭○》。《又

與盪同》。《史記倉公傳》。《脈盛者為重陽。重陽者○心主》。《注》。《○者盪也。謂病之蕩心者。猶

刺其心也。》

盪——盪

訐 甸子切。音敏。詭譎也。齊楚謂信曰。○鄭云。誇也。見「說文」。又大也。「詩大雅抑」。「○謨定

命」。又荒烏切。音呼。張口鳴也。「詩大雅生民」。「實覃實○。厥聲載路」。箋。「謂張口嗚呼」。

又火羽切。讀若敏上聲。「詩大雅韓奕」。「川澤○○」。傳。「大也」。又通作芋。「詩小雅

斯干」。「君子攸芋」。傳。「芋。大也」。又況子切。音呼。恂○。樂也。本作盱。「詩鄭風溱洧」。「恂

○且樂」。韓詩外傳「作恂盱」。漢書地理志「亦作恂盱」。

訐 居謂切。音揭。攻人之陰私也。見「玉篇」。「論語陽貨」。「惡○以爲直者」。漢書外戚傳「

「○揚幽昧之過」。後漢書陳元傳「以刺舉爲明。徵○爲直」。又「李雲傳論」。「曷其

綾○摩上。以銜沽成名哉」。又居例切。音屬。持人短也。又相告斥也。見「廣韻」。

訛 訛 訛

訛 于求切。音尤。罪也。見「說文」。又過也。見「玉篇」。「詩邶風綠衣」。「我思古人。俾無○

兮」。傳。「○過也」。

訖

時任切。讀如甚平聲。「揚子方言」：「燕代東齊謂信曰○。」又市在切。音甚。信也。又式

在切。音審。義同。（按與讒慍怙字並同。）又人名。與○見「宋史宗室表」。

訖

呼決切。音血。怒也。見「廣雅釋詁」。又怒呵也。見「玉篇言部」。

訖一訴

訖

許斤切。樂也。與欣字通。「漢書賈山傳」：「天下○○焉。曰將與堯舜之道。三王之功矣。」

又魚巾切。音銀。和敬貌。與閤字通。「漢書萬石君奮傳」：「僮僕○○如也。」顏注：「○○與閤

閤同。」又虛其切。音僖。蒸也。「禮樂記」：「天地○○合。陰陽相得。」注：「○○讀為蒸。猶蒸也。」

疏：「言樂感動天地。使二氣蒸動也。」又許已切。讀如僖上聲。亦喜也。見「集韻」。

訴

蘇故切。音素。告也。見「說文」。又訟也。告○冤枉也。見「玉篇」。「史記龜策傳」：「王有

德義。故來告○。」「漢書成帝紀」：「趨闕告○者不絕。」又「賈山傳」：「亡罪而死刑者。無

所告○。」又「司馬遷傳」：「深幽囹圄之中。誰可告○者。」又毀也。「漢書蕭望之傳」：「數

譖○大臣。」「後漢書王允傳。」「諸事宦官因緣譖○。」「史記諡法解。」「譖○不行曰明。」
又作愬。」「論語子路。」「庸受之愬。」「漢書五行志。」「引作○。亦作迺。」「戰國策魏策。」「衛君跣行告迺於魏。」「或作詡。」「管子版法。」「法不盡理則疏遠微賤者無所告詡。」「
本作訴。」「逸周書諡法。」「譖訴不行曰明。」

誑——詆——誅

誑

雪律切。音戍。誘也。見「說文」。」「漢書韓安國傳。」「列在諸侯。○邪臣浮說。」「宋史岳飛傳。」「淮西之役。俊以前途糧乏。○飛飛不爲止。」

詆

胡戈切。音禾。平也。見「玉篇」。又人名。崇○汝○見「宋史宗室表」。又「正字通」。○與和蘇字並同。」

誅

徒結切。音迭。忘也。見「說文」。」「廣雅釋詁。」「○誤也。」（按文選王褒四子講德論。美玉蘊於砥砮。凡人視之快焉。○與快字同。）又「漢書禮樂志郊祀歌。」「天門開。○蕩蕩。」

注。「如淳曰。○讀如迭。○蕩蕩。天體堅清之狀。」

謂——諱

謂 思計切。音細。今相承作塔。婦稱其夫之辭。「太玄經戾」。「次七。女不女。其心予。覆夫○。」
諱 七入切。音緝。和也。辯也。見「正韻」。又私呂切。音醜。謀也。「世說新語」。「喧譁少智○。」

謔——謔——謔

謔 渠記切。同忌。「石匏子傷讒」。「妒才智之在己前。○富貴之在其上。」（按○字。廣韻集韻。並居之切。音姬。非也。○即忌之古文。書多方。上不忘于凶德。說文言部引周書。作○。是其證。）
謔 九件切。音塞。「廣雅釋詁」。「○吃也。」注。「口吃難於言也。」「一切經音義九」。「通俗文曰。言不通利。謂之○吃。」又「玉篇言部」。「○難也。」又直言貌。「後漢書魯丕傳」。「廣納○。以開四聰。」「楚辭離騷」。「余固知○○之爲患兮。忍而不能舍也。」又○謬。

忠鯁也。〔後漢書陳忠傳〕「忠臣盡○諤之節。」又與蹇通。〔晉書王豹傳〕「王臣○○。」〔按易蹇卦作蹇蹇。〕〔三國志吳書王蕃傳〕「黃中通理。知天知物。處朝忠○。斯社稷之重鎮。大吳之龍逢也。」

晔 蒲角切。音霍。大呼自勉也。見〔說文〕。〔漢書東方朔傳〕「上令倡監榜舍人。舍人不勝痛呼○。」注。〔痛切而叫呼也。〕又蒲衰切。音袍。又簿皓切。袍上聲。義並同。〔按漢書灌夫傳。一身盡痛。若有擊者。諱服謝罪。史記作呼服。並即呼○。〕

諂—諂

諂 丑琰切。說上聲。諛也。徐曰。陷也。一曰。面從曰諛。佞言曰○。〔易繫辭〕「君子上交○○。」〔左傳襄三年〕「稱其讐不爲○。」〔史記平準書〕「○諛取容。」〔漢書鄒陽傳〕「今人主沈於○諛之辭。」〔莊子漁父〕「希意道言謂之○。」〔荀子修身〕「以不善先人者謂之○。」楊注。〔○○之言陷也。〕〔管子五輔〕「淫聲○耳。淫觀○目。耳目之所好○心。」〔按

○古文作調。禮少儀。爲人臣下者。有頌而無調。
他刀切。音叨。疑也。見「爾雅釋詁」。「左傳昭二十六年」。「天道不〇。不貳其命。」又「哀

十七年」。「天命不〇」。「逸周書鄠謀」。「帝命不〇」。

諛——謏

諛 雲俱切。音兪。諂也。見「說文」。「書冏命」。「僕臣〇。厥后自聖。」「史記叔孫通傳」。「先

生何言之〇也。」「莊子漁父」。「不擇是非而言謂之〇。」「荀子修身」。「以不善和人者
謂之〇。」又兪戍切。兪去聲。義同。「莊子天地」。「孝子不〇其親。」又訛作腴。「史記灌

夫傳」。「夫爲人剛直使酒。不好面〇。」考證。「面腴蓋面〇也。或傳寫之訛。」（按漢書。作面

〇。）

謏 先了切。音篠。小也。誘也。見「說文」。「禮學記」。「足以〇聞。不足以動衆。」「正字通」

「稗官小史曰〇說。」又先奏切。叟去聲。「廣韻五十候」。「謏〇。怒言也。」又作諛。「集

韻五十候。「謫設私言。」又訛作諛。「集韻三十二覃謫字注」「謫諛私言。」（按諛即
○之訛字。）

諛——諛

諛 神至切。音示。行之迹也。見「說文」。「爾雅釋詁」。「○靜也。」疏。「人死將葬。誅列其行
而作之也。」「禮檀弓」。「死○周道也。」「周禮春官太史」。「小喪賜○。」「史記司馬相
如傳」。「續昭夏崇號○略可道者七十有二君。」「漢書敘傳」。「使存有顯號。亡有美○。不
亦優瘁。」

諛 伊昔切。音益。笑貌。見「說文」。又馨激切。音闕。笑聲。或作蔽。見「集韻」。「正字通」
「○俗用為誅行之諛。非。」

謫——謫

謫

陟格切音摘與譴同責也見廣雅釋詁又咎也罪也過也左傳成十七年國子

○我史記申屠嘉傳議以○罰侵削諸侯漢書武帝紀發○戍屯五原老

子善言無瑕柳宗元懲咎賦惟罪大而寵厚兮宜夫重仍乎禍○又變氣

也左傳昭三十一年日始有○○揚子方言怒也注相責怒

謫

尸羊切音商度也見正韻荀子儒效德而定次量能而授官注興商同

本或作譎按儒效又云明主譎德而序位譎德即德韓詩外傳五決德而定次漢書董仲

舒傳錄德而定位此又循譎之音而遞變也

調—譚

調

郎干切音蘭詆也見說文漢書文三王傳王陽病抵置辭顏注誣也

又谷永傳滿○誣天顏注滿○謂欺罔也唐書郎餘令傳作謾○音義同

又戲言也宋史竇稱傳閨門敦睦人無○語又逸言也漢書藝文志儒家

言十篇。」顏注。「說者引孔子家語云。孔穿所造。」（按○或作調。）見「說文。」「家語後序。」「孔穿著儒家十二篇。名曰調言。」又魯旱切。音蘭上聲。又郎盱切。音蘭去聲。義並同。見「廣韻集韻韻會。」

調 古詔字。丑琰切。音峴上聲。諛也。見「說文。」「禮少儀。」「爲人臣下者。有頌而無○。」「漢書嚴安傳。」「法嚴令苛。○諛者衆。」又「息夫躬傳。」「夫議政者苦其○諛。傾險。辯慧深刻也。」

部一 部

郃 土來切。音胎。國名。炎帝之後。姜姓所封。帝魯元妃○氏女也。生棄。爲后稷。復封於○。見「說文。」「詩大雅生民。」「卽有○家室。」亦作繫。「史記周紀。」「后稷名棄。其母有繫氏女。曰姜原。」「漢書郊祀志。」「后稷封繫。」注。「繫讀如○。今陝西西安府武功縣五丈原。卽其地也。」
郃 侯閣切。音合。左馮翊○陽縣。見「說文。」「史記吳王濞傳。」「封以爲○陽侯。」索隱。「地

理志馮翊縣名在○水之陽音合。(按漢書作合陽) 亦作洽。詩大雅大明「在洽之陽」注「洽水名在同州○陽縣今流已絕故去水加邑也」。又人名。三國志魏書張○傳「張○字儁又河間鄭人也」。(按○字右旁應從冫與劉卻同特字書不收卻字故附列於此。)

隸——隸——隸

隸

羊至切音易習也。今作隸。史記叔孫通傳「迺合羣臣習○」。索隱「○亦習也音異」。(按漢書作隸) 又餘也。揚子方言「烈楨餘也秦晉之間曰○」。(按集韻引方言作隸)

隸

徒亥切音殆及也。本作迨或作遠。見集韻。又徒耐切音代。詩豳風鷓鴣「迨天之未陰雨」。說文「引詩作○」。

隸

郎計切音麗附著也。見說文。後漢書馮異傳「部分諸將各有配○」。又賤者之

稱「左傳隱五年」。「卓○之事」。「三國志魏書鄧艾傳」。「子孫爲民○」。「莊子秋水」。「不賤門○」。又○人所習之書。曰○書。「漢書藝文志」。「是時始造○書矣。起於官獄多事。苟趨省易。施之於徒○也。」又官名。「漢書百官表」。「司○校尉」。又人名。「後漢書律曆志」。「○首作數。」

睢——睢

睢 七余切。音疽。鳥名。王○也。見「玉篇」。「詩周南關○」。「關關○鳩」。傳「王○也。鳥摯而有別」。本作鴟。「爾雅釋鳥」。「鴟鳩。王鴟」。郭注「鴟類。今江東呼之爲鴟。好在江渚山邊食魚」。毛詩傳曰「鳥摯而有別」。文選張衡東京賦「鴟鳩麗黃。關關嚶嚶」。又與趨通。「玉篇下佳部」。「○。七余切。次○。行難也」。文心雕龍附會「此易所譬無謂膚。其行次○者也」。按易夬。作次且。三國志蜀書張裔傳。作趨起。又人名。唐○。戰國魏人。「史記魏世家」。「魏人有唐○者」。又范○。「史記范○傳」。「范○者。魏人也。字叔」。又「穰侯

傳」魏人范。自謂張祿先生。」通鑑周赧王四十五年。」初魏人范。」注「胡三省曰。雖音雖。」按唐○戰國魏策。作唐且。范○韓非子外儲說。作范且。又宰折○春秋魯人。南子人間。」魯哀公欲西益宅。史爭之。以為西益宅不祥。乃以問其傅宰折。曰。子以為何如。按太平御覽居處部。引作曼折曜。又○陽。縣名。唐張巡許遠守此城。以抗安祿山者。

睚

香萃切。讀若催去聲。恚○。仰目怒貌。史記伯夷傳。」暴戾恚○。正義。」言盜跖凶暴惡戾。恚性怒白目也。」又放縱也。史記李斯傳。」有天下而不恚○。命之曰以天下為桎梏。」索隱。」○音呼季反。」又「故能犖然獨行恚○之心。而莫之敢逆。」漢書五行志。」貪欲恚○。務立威勝。」後漢書西羌傳論。」建號稱制。恚○於北地。」又曰睚切。音偉。天○。星名。見史記天官書。」又苦圭切。音奎。與睚同。漢書五行志。」萬衆○。驚怪連日。」注。」○○。仰目視貌。」按韓愈鄆州谿堂詩。萬目睚睚。○○。即睚睚也。集韻。○○。或作睚。故與睚通。

須一須

須

錫俞切。音需。面毛也。見「說文」。「易賁卦」：「賁其○。」注：「○之爲物，上附者也。」今作鬚。「漢書高帝紀」：「美○髻。」「後漢書東平憲王蒼傳」：「爲人美○頤。」又待也。「易歸妹卦」：「歸妹以○。」「三國志魏書趙儼傳」：「觀聽者必謂我願望有所○待也。」又與顛通。「左傳成十二年」：「日云莫矣，寡君○矣。」（按爾雅釋詁：顛待也。）又斯○。猶言○與也。「禮樂記」：「禮樂不可斯○去身。」又○留。停待也。「後漢書清河孝王慶傳」：「選儒之恩，知非國典，且復○留。」注：「東觀記」：「○留作宿留。」（按作宿留是也。宿音先就切。留音力救切。）又○女。星名。見「史記天官書婺女注」。又○句。國名。「春秋僖二十二年」：「公伐邾，取○句。」「公羊傳」作○胸。又密○。國名。「左傳定四年」：「分唐叔以密○之鼓。」又與需通。「舊唐書鄭珣瑜傳」：「軍○期會爲急。」「孫子作戰注」：「陳皞曰：聚斂賦役以應軍○。如此則財竭，人人無不困也。」「杜甫詩」：「軍○遠算縉。」又「巴人困軍○。」（按卽軍需）又與窶通。「後漢書郡國志」：「南郡務歸。」注：「縣北一百里有屈平故宅，宅東北六十里有女○廟。」（按楚辭離騷：女媧之嬋媛兮。注：女媧，屈原姊。）

湏

莫佩切。同沫。〔易豐卦〕「日中見沫。」注。「微昧之明也。」古文沫作○。又呼對切。通類。灑面也。見〔說文〕。又與醜通。〔禮內則〕「面垢。燂潘請醜。足垢。燂湯請洗。」

餘—餘

餘

羊諸切。音余。賸也。見〔廣韻〕。〔詩秦風權輿〕「今也每食無○。」又多也。羨也。〔孟子滕文公〕「則農有○粟。女有○布。」又殘也。〔莊子讓王〕「道之真以治身。其緒○以為國家。」釋文司馬云。「緒者。殘也。謂殘○也。」又零數約計之辭。〔古詩〕「織練日一疋。織素五丈○。」晉書孝友傳序「自○羣士。咸標懿德。」〔史記游俠傳〕「其○庸人不可勝言。」又僕御之稱。〔說苑貴德〕「憎其人者。惡其○胥。」亦作胥餘。〔記纂淵海〕引尚書大傳曰。「憎人者。惡其胥○。」〔按今本大傳。訛作胥○。韓詩外傳三作骨○。〕又舟名。〔左傳昭十七年〕「楚大敗吳師。獲其乘舟○皇。」或省作余。〔周禮地官委人〕「凡其余聚以待頒賜。」鄭注。「余當為○。」

餽

如甚切音桂。大熟也。見「玉篇」。「家語致思」。「孔子之楚。有漁者獻魚焉。夫子再拜受之。使弟子掃地將以享祭。曰。吾聞諸。惜其腐。○而欲以務施者。仁人之偶也。惡有受仁人之饋。而無祭者乎。」（辭源詛餘。見腐餘條。）又諸叶切。音捻。餅也。「雲溪友議李白新題仙娥驛詩」。「商山食店太悠悠。陳豔餽饌古○頭。」○頭。即捻頭也。（按古以寒具爲捻頭。一名環餅。見正字通。）

髡——髡

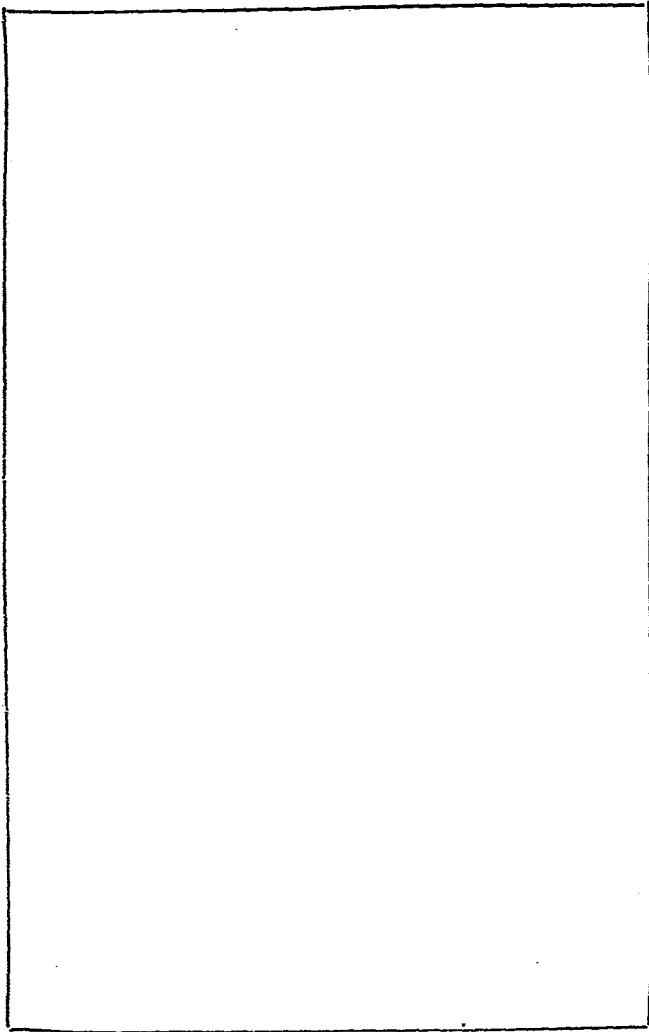
髡

居六切。音掬。見「集韻」。與鬻同。「玉篇」亂髮也。

髡

苦昆切。唐韻。「集韻韻會正韻」枯昆切。並音坤。「說文」鬻髮也。從髟兀聲。或從元。

「周禮秋官掌戮」。「髡者使守積。」注。「王之同族不宮之者髡頭而已。」又人名淳于○。齊之辨士。見「孟子注。」又樹禿曰○。又去骨切音窟。又五忽切音兀。義並同。



正

形

一八〇

民國二十五年三月三十日再版

甲種出版物

基本知識
叢書之一

字類辨正

定價一元八角

著者 朱起鳳

發行者 中國文化服務社

本書翻印
有必印
著作必究

發行所 中國文化服務社

上海河南路交通路十一號

代表人 唐堅吾

上海河南路交通路十一號

各省各大書局均有經售

25-9047

215

